EPSON

Windows からの印刷

Macintosh からの印刷

用紙について

消耗品の交換

プリンタのメンテナンス

操作パネルの使い方

困ったときには

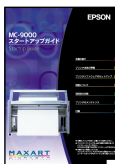
付録

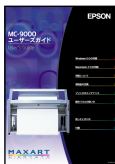
4012868-01

取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。

開梱と据置作業を行われる方へ

プリンタの搬入後、梱包箱から取り出して据え置くまでの作業について説明しています。作業を安全に行うために、必ず本書の手順に従ってください。

スタートアップガイド

プリンタ本体の準備、プリンタドライバのインストール、印刷の手順などプリンタを使用するための情報が記載されています。
本製品を安全にご使用いただくための注意事項、およびサービスサポートのご案内が記載されています。製品の設置およびご使用の前に、必ずご一読ください。

ユーザーズガイド （本書）

プリンタの機能、操作方法など本プリンタを使用していく上で必要となる情報が詳しく記載されている説明書です。ご使用の目的に応じて、必要な章をお読みください。
また、各種トラブルの解決方法なども記載されています。「印刷できない」などのトラブルでインフォメーションセンターなどにお問い合わせいただく前に、お読みください。

本書の構成

詳しいもくじは次ページにあります

Windowsでお使いの方のみお読みください。 Win

Macintoshでお使いの方のみお読みください。 Mac

もくじ

6.操作パネルの使い方

7.困ったときは

付録

本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。マークが付いている記述は、必ずお読みください。なお、それぞれのマークには次のような意味があります。

マーク	意味
⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたい(操作)を示しています。
	補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。
用語[*1]	用語の説明を、欄外に記載していることを示しています。
	関連した内容の参照ページを示しています。

Windowsの表記について

Microsoft® Windows® 95 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® 98 Operating System 日本語版
Microsoft® WindowsNT® Operating System Version4.0日本語版
Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows 2000と表記しています。また、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、Windows 2000を総称する場合は「Windows」、複数のWindowsを併記する場合は、「Windows95/98/NT4.0」のようにWindowsの表記を省略することがあります。

掲載している画面について

お使いの機種により表示される画面が異なる場合があります。

1

Windowsからの印刷

ここでは、Windowsで印刷する場合の手順や、プリンタドライバの詳細な内容などについて説明しています。

印刷の設定と実行

プリンタドライバのインストールが終了すると、印刷できるようになります。ここでは、基本的な印刷の方法について説明します。

ポイント

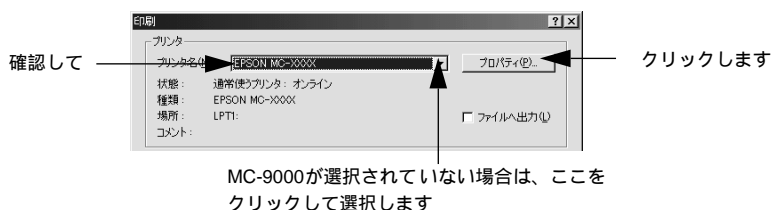
プリンタドライバの設定画面の開きかたは、各アプリケーションソフトによって異なります。詳細は、各ソフトウェアの取扱説明書を参照してください。

1. **印刷データを作成します。**
アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

2. **プリンタの準備をします。**
- プリンタの電源をオンにします。
- 印刷する用紙をセットします。

本書「用紙について」109 ページ

3. **印刷を実行します。**
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［印刷］（または［プリント］）を指定します。

4. **MC-9000が選択されていることを確認し、［プロパティ］ボタンをクリックします。**
プリンタドライバの設定画面が表示されます。

5. **［基本設定］ダイアログの各項目を設定します。**
- セットした用紙に合わせて、［用紙種類］を選択します。
- 通常は、［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

本書「基本設定」17 ページ

- モード設定のプリセットメニューを利用して印刷品質を向上させることもできますが、独自に詳細な設定を登録して利用することもできます。

本書「高度な印刷設定について」21 ページ

6 ［用紙設定］タブをクリックし、各項目を設定して、［OK］ボタンをクリックします。

- セットした用紙に合わせて、［給紙方法］と［用紙サイズ］を選択します。
- 通常は、印刷する前に［用紙設定］ダイアログの各項目を設定しておくことをお勧めします。詳しくは、以下のページを参照してください。

本書「用紙設定」27 ページ

ポイント

- **［レイアウト］タブをクリックすると、拡大 / 縮小印刷を設定できます。必要に応じて設定してください。**
  本書「レイアウト」31 ページ
- **［ユーティリティ］タブをクリックすると、本機で使用できるユーティリティソフトを実行できます。必要に応じてご使用ください。**
  本書「ユーティリティ」32 ページ

7 アプリケーションソフトの［印刷］ダイアログなどで［O K］ボタンをクリックして印刷を実行します。

画面上にプログレスメータ[*1] が表示され（EPSON プリンタウィンドウ !3 がインストールされている場合）、印刷が始まります。
Windows95/98 の場合は、スプールマネージャ[*2] も同時に起動します。

本書「印刷を実行すると」次ページ

*1 プログレスメータ：印刷の進行状況やインク残量などを表示するダイアログボックス。

*2 スプールマネージャ：印刷データを一時的に蓄えるアプリケーションソフト。スプールマネージャが印刷処理を実行するため、印刷中でもコンピュータは別の作業をすることが可能となる。

電源ランプの点滅が点灯に変わり、プリンタの動作音がしなくなれば印刷は終了です。

ポイント

正常に印刷できなかった場合は、お問い合わせいただく前に以下のページを参照してください。
本書「困ったときは」173 ページ

印刷を実行すると

Win

印刷を実行するとスプールマネージャ（Windows95/98）が起動します。EPSONプリンタウィンドウ!3がインストールされていると、プログレスメータが表示されます。

● スプールマネージャ（Windows95/98）

印刷データは、スプールマネージャに蓄えられ、そこからプリンタに出力されます。これによって、印刷実行中も別の作業をすることができます。
印刷を実行すると、タスクバー上に［EPSON MC-9000］ボタンが表示されます。このボタンをクリックするとスプールマネージャが表示されます。

①印刷ジョブ一覧

印刷中のデータの名称、用紙サイズ、状態、進行状況、印刷実行日時が表示されます。

②[削除]

印刷を中止して削除します。削除する印刷データをクリックしてから、このボタンをクリックします。印刷データが選択されていない場合は、一番上の印刷データが削除されます。

③[一時停止/再開]

印刷を一時停止/再開します。停止する印刷データをクリックしてからこのボタンをクリックします。

④[再印刷]

現在印刷中のページを再印刷します。

⑤[ヘルプ]

ヘルプ情報を表示します。このボタンをクリックするとスプールマネージャの詳細を参照できます。

● プログレスメータ

EPSONプリンタウィンドウ!3がインストールされている場合は、印刷を実行するとプログレスメータが表示されます。プログレスメータは印刷の進行状況（コンピュータの処理状況）を表示するダイアログです。

①印刷データ情報

印刷しているファイルの名称と出力ページ数および印刷中のページを表示します。

②状態表示

アイコンによって現在の状態を表示します。

③進行状況

印刷の進行状況（コンピュータの処理状況）をグラフィックで表示します。

④印刷制御ボタン

印刷を制御するボタンです。

［印刷中止］：印刷を中止して削除します。
［一時停止］：印刷を一時停止します。クリックすると、［印刷再開］に変わります。
［印刷再開］：印刷を再開します。

⑤インク残量

インク残量の目安を表示します。

☞ 本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」36 ページ

⑥［ワンポイントアドバイス］

プリンタを使用する上でのポイントとなるアドバイス情報の表示/非表示を切り替えます。［詳しくは］ボタンをクリックすると、操作方法などのさらに詳しい情報が表示されます。

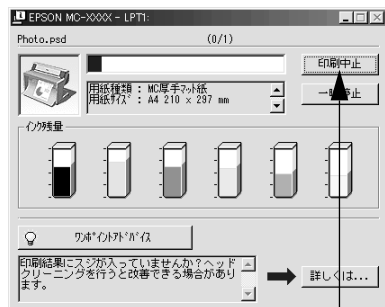
プログレスメータは、EPSONプリンタウィンドウ!3がインストールされていないと表示されません。
☞本書「EPSONプリンタウィンドウ!3」34 ページ

印刷の中止方法

印刷を中止する方法を説明します。

Win

● プログレスメータでの中止方法

1 プログレスメータの［印刷中止］ボタンをクリックします。

● プログレスメータが表示されていないときは

プログレスメータが表示されていないときは、以下の手順で中止してください。

Windows95/98

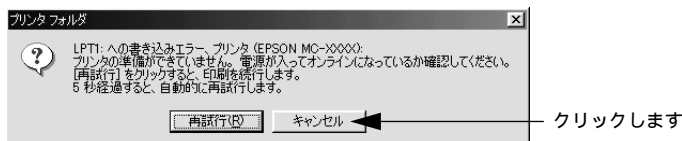
1 **プリンタの電源をオフにします。**
印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。印刷中の用紙は以下の処理がされます。

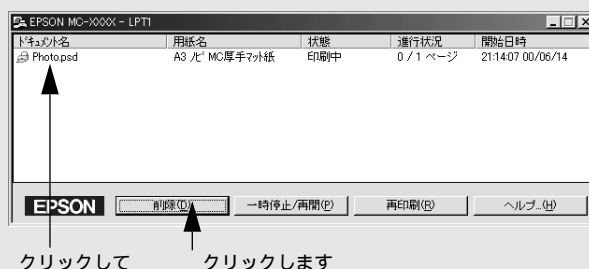
- ロール紙自動カット　：用紙サイズ分紙送りをしてからカットされます。
- ロール紙カッターOFF：用紙サイズ分紙送りされます。「キリトリセン=ON」の場合は切り取り線を印刷します。
- 単票紙　：排紙されます。

ポイント

プリンタの電源をオフにすることで、プリンタに残っている印刷途中のデータがクリアされます。必ずプリンタの電源をオフにしてください。

2 ［キャンセル］ボタンをクリックします。

以下の画面が表示されるまでに、少し時間がかかります。

ポイント

［キャンセル］ボタンをクリックした後に、以下の画面が表示された場合は、印刷を中止する印刷データをクリックし、［削除］ボタンをクリックしてください。

WindowsNT4.0/2000

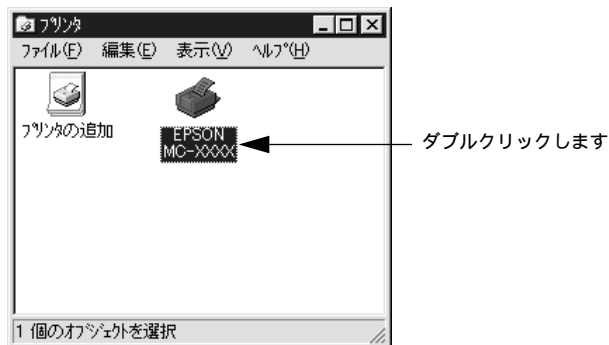
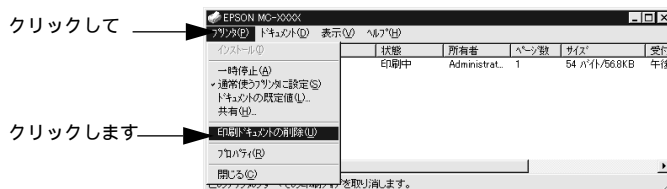
1 プリンタの電源をオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。印刷中の用紙は以下の処理がされます。

- ロール紙自動カット　：用紙サイズ分紙送りをしてからカットされます。
- ロール紙カッターOFF：用紙サイズ分紙送りされます。「キリトリセン=ON」の場合は切り取り線を印刷します。
- 単票紙　：排紙されます。

ポイント

プリンタの電源をオフにすることで、プリンタに残っている印刷途中のデータがクリアされます。必ずプリンタの電源をオフにしてください。

2 **[プリンタ]フォルダを開き、[MC-9000]アイコンをダブルクリックします。**
［プリンタ］フォルダは、画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックして開きます。

3 **［プリンタ］メニュー内の［印刷ドキュメントの削除］（Windows NT4.0）/［すべてのドキュメントの取り消し］（Windows 2000）をクリックします。**

- **プリンタへのデータ転送が終了している場合、上記画面に印刷データは表示されません。その場合は、プリンタの電源をオフにするだけで印刷は正常に中止されます。**
- **特定の印刷データだけを削除する場合は、印刷データを選択し、[ドキュメント]メニューの[キャンセル]をクリックします。**

プリンタドライバの設定項目について

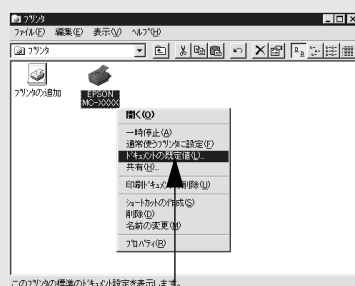
プリンタドライバの設定項目は、いくつかのメニュー（ダイアログボックス）に分かれています。ここではそれらのメニューの関係と項目の概要を説明しています。

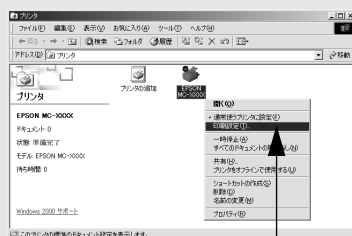
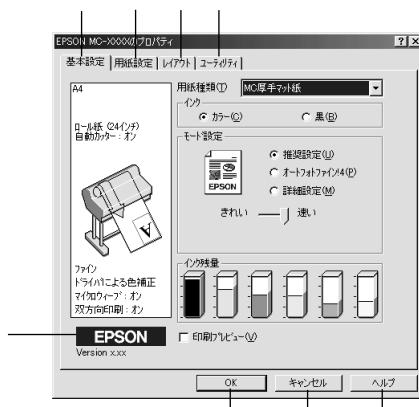
プリンタドライバの設定は、[プリンタ]フォルダ*のプリンタアイコンを右クリックして表示されるメニューからも開くことができます。ここでの設定は、アプリケーションソフトなどでプリンタドライバを設定する際の初期値（デフォルト値）となります。もっともよく使う設定をしておくと、印刷の際に設定する必要がなくなり便利です。

* [プリンタ]フォルダは、[スタート]ボタンをクリックして[設定]-[プリンタ]をクリックすると開きます。

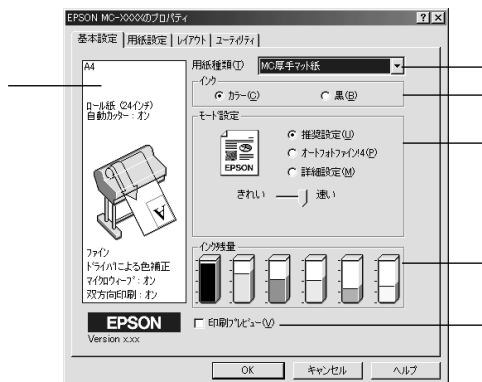
Windows95/98の場合［プロパティ］

クリックします

WindowsNT4.0の場合［ドキュメントの既定値］

クリックします

Windows2000の場合［印刷設定］

クリックします

① [基本設定]...................17 ページ
② [用紙設定]...................27 ページ
③ [レイアウト]..............31 ページ
④ [ユーティリティ] ......32 ページ
⑤ [OK]
設定の内容を保存して、設定を終了します。
⑥ [キャンセル]
設定の変更内容を保存せずに、設定を終了します。
⑦ [ヘルプ]
プリンタドライバのヘルプを開きます。
⑧ バージョン情報
プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

基本設定

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

①用紙種類

印刷する用紙の種類を、リストボックスの中から選択します。

②インク

インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。［黒］を選択するとモノクロ印刷になります。

③モード設定

印刷モードを選択します。選択するモードによって画面が変わります。モードによって設定できる項目については次ページを参照してください。

推奨設定	：	用紙種類、インク、用紙サイズを設定するだけで、自動的に最適な設定で印刷します。
オートフォトファイン!4	：	エプソン独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し､印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。［インク］が［カラー］の場合のみ選択できます。
詳細設定	：	印刷に関する項目を手動で設定できます。

④インク残量

EPSONプリンタウィンドウ!3がインストールされている場合に､各色のインク残量の目安を表示します。

本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」36 ページ

⑤印刷プレビュー

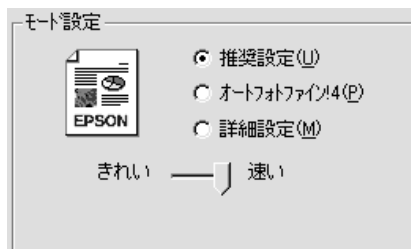
チェックすると、印刷実行時に［印刷プレビュー］ダイアログが表示され、印刷が行われる前に印刷内容を確認することができます。

本書「［印刷プレビュー］ダイアログ」20 ページ

⑥現在の設定

現在設定されている内容が表示されます。

● [モード設定] での設定項目

基本設定画面の［モード設定］での設定項目は次のようになります。

[推奨設定] 選択時

［きれい］/［速い］のどちらかを選択します。
［用紙種類］によっては、［きれい］/［速い］を選択できないものもあります。

きれい ：印刷品質を重視した設定で印刷します。
速い ：印刷速度を重視した設定で印刷します。

[オートフォトファイン!4] 選択時

プリセットメニューのリストボックスと、デジタルカメラのチェックボックスが表示されます。

リストボックスからは次の設定を選択できます。

標準 ：標準的な色調に補正して印刷します。
人物 ：人物の写真に対する最適な補正をして印刷します。
風景 ：風景の写真に対する最適な補正をして印刷します。
ソフトフォーカス ：ソフトフォーカスレンズを使って撮影した写真と同様になる補正をして印刷します。
セピア ：セピア調の色調に調整して印刷します。

［デジタルカメラ］をチェックするとデジタルカメラで撮影した写真データに最適な補正をして印刷します。

- **オートフォトファイン!4は1677万色(24bit)の色情報を持った画像データに対して、もっとも有効に機能します。256色などの少ない色情報の画像データには、有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。**
- **エプソン製デジタルカメラまたはスキャナなどでオートフォトファイン機能を使用して取り込んだ画像を印刷する場合、プリンタのオートフォトファイン!4は使用しないでください。**

[詳細設定]選択時

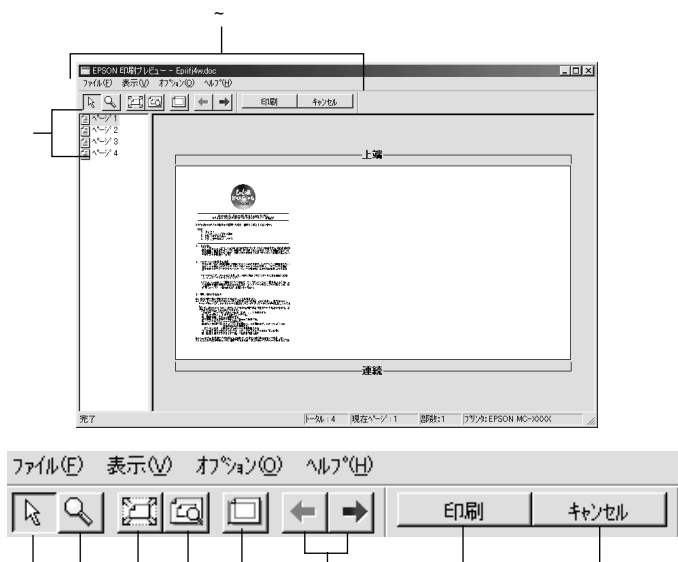
プリセットメニューのリストボックスと、[設定変更]ボタンが表示されます。

リストボックスから次の設定を選択できます。

ワープロ/グラフ ：ワープロなどで作成したカラーのデータを印刷する場合に選択します。
ICM ：WindowsのICM（Image Color Maching）を使用して、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。
sRGB ：sRGBに対応した機器とカラーマッチングをして印刷します。ICM同様、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。

[設定変更]ボタンをクリックすると、[手動設定]ダイアログが開き、詳細な印刷設定を行うことができます。
本書「高度な印刷設定について」21ページ

● [印刷プレビュー]ダイアログ

[基本設定] ダイアログの [印刷プレビュー] をチェックすると、印刷を開始する前に次の [印刷プレビュー] ダイアログが表示され、印刷内容を確認することができます。

① :本機では使用できません。

② :表示している画像の拡大/縮小表示ができます。拡大する場合は、ボタンをクリックしてから拡大したいところへカーソルを移動させマウスをクリックします。縮小したい場合は、マウスの右ボタンをクリックします。

③ :画面のサイズいっぱいに拡大して表示します。

④ :最大の倍率で拡大して表示します。

⑤ :印刷データの余白境界線をグレーのラインで示します。実際の印刷結果には印刷されません。クリックすると表示は消えます。

⑥ :表示するページを切り替えます。

⑦ [印刷] :印刷を実行します。

⑧ [キャンセル] :印刷を中止して、[印刷プレビュー] ダイアログ、[印刷] ダイアログともに閉じます。

⑨ ﾍﾟｰｼﾞ 1 ﾍﾟｰｼﾞ 2 ﾍﾟｰｼﾞ 3 ﾍﾟｰｼﾞ 4 :印刷するページ/印刷しないページを切り替えることができます。対象のページをクリックして選択してから、[オプション] メニューをクリックして、「印刷する/しない」を切り替えてください。

高度な印刷設定について

ここでは、高度な印刷設定（手動設定）の設定方法や設定項目について説明します。

● [手動設定]ダイアログ

[手動設定] ダイアログは、[基本設定] ダイアログの [詳細設定] モードを選択し、[設定変更] ボタンをクリックして開きます。ここでは、設定項目の詳細について説明します。

ポイント

[用紙種類] [印刷品質] など設定の組み合わせで、選択できる項目が変わります。

①用紙種類

印刷する用紙の種類を、リストボックスの中から選択します。

②インク

インクの種類を [カラー] と [黒] から選択します。[黒] を選択すると、モノクロ印刷になります。

③印刷品質

印刷の品質を、リストボックスの中から選択します。
[用紙種類] で選択している用紙によって、リストボックスに表示される項目が異なります。

ドラフト	：インク消費量をセーブしながら高速に印刷します。レイアウト確認などの試し印刷に向いています。
ファイン	：360dpiの解像度で印刷します。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良い印刷です。
スーパーファイン	：720dpiの解像度で印刷します。印刷時間は少しかかりますが、高品質な印刷結果が得られます。
フォト	：1440dpiの解像度で印刷します。印刷むらのない写真品質の印刷結果が得られます。

④マイクロウィーブ

行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現できる機能です。

スーパー　：用紙種類で［普通紙］を選択した場合に、よりきれいに印刷したいときにこのチェックボックスをチェックします。

⑤双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷するので、高速に印刷できます。ただし、印刷品質は多少低下する場合があります。

⑥左右反転

左右を反転させて印刷する場合は、このチェックボックスをチェックします。

⑦カラー調整

カラー調整の方法を選択します。
［ドライバによる色補正］、［オートフォトファイン!4］を選択した場合、画面の下部で、細かい設定を行います。

ドライバによる色補正　：画面下部にリストボックスとスライドバーが表示され、色補正に関する設定が行えます。
本書「［ドライバによる色補正］を選択した場合」23 ページ

オートフォトファイン!4　：エプソン独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
画面下部にオートフォトファイン!4の設定項目が表示され、色補正に関する設定が行えます。
本書「［オートフォトファイン!4］を選択した場合」25 ページ

色補正なし　：ドライバでは色補正を行いません。ICM用プロファイル[*1]を作成する際の、基準色を印刷するときに選択します。通常は選択しないでください。

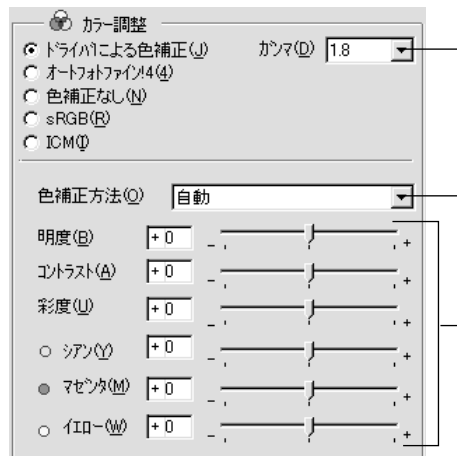
sRGB　：sRGBに対応した機器とカラーマッチングをして印刷します。ICM同様、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。

ICM　：WindowsのICM（Image Color Maching）を使用して、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。

*1　プロファイル：
色補正データ。

[ドライバによる色補正]を選択した場合

[カラー調整]で[ドライバによる色補正]を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、各種の設定が行えるようになります。

①ガンマ

[ガンマ]は、画像の中間調部分の階調についての入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位です。[ガンマ]値を変更することで、画像の暗い部分(シャドウ)や明るい部分(ハイライト)に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさを調整することができます。

1.5:ガンマ値1.8に比べて柔らかい感じの画像を印刷します。
1.8:本製品での印刷に合った調整が行われます。
2.2:sRGBに対応した機器とカラーマッチングをして印刷する場合に選択してください。[カラー調整]で[sRGB]を選択した場合と同様の処理を行います。

②色補正方法

自動 :文書内のオブジェクト[*1]に対して最適な色処理をします。通常はこの設定でご使用ください。
自然な色あい :自然な発色状態になるように色処理をします。
あざやかな色あい :彩度(あざやかさ)を上げ、色味を強くする処理をします。

*1 オブジェクト:色補正を行う際に対象となるもの。

③スライドバー

明度　：画像全体の明るさを調整します。標準を0として、−25〜+25%の間で、マイナス（−）方向には暗く、プラス（+）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。

コントラスト　：画像の明暗比を調整します。標準を0として、−25〜+25%の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。

彩度　：画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を0として、−25〜+25%の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。

シアン/マゼンタ/イエロー：
それぞれの強さを調整します。標準を0として、−25〜+25%の間で調整します。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。

	<−>◄── 0	──►<+>
シアン	**赤みを強くします。**	**青緑(シアン)を強くします。**
マゼンタ	**緑色を強くします。**	**赤紫(マゼンタ)を強くします。**
イエロー	**青色を強くします。**	**黄色(イエロー)を強くします。**

[オートフォトファイン!4]を選択した場合

[カラー調整］で［オートフォトファイン!4］を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、各種の設定が行えるようになります。

①色調

標準	：標準的な色調に補正して印刷します。
硬調	：メリハリのある色調に補正して印刷します。
鮮やか	：彩度を上げ、あざやかな色調に補正して印刷します。
セピア	：印刷データの色を、セピア調の色調になるよう調整して印刷します。
モノクロ	：印刷データの色を、白黒になるよう調整して印刷します。
色調補正なし	：色調の補正を行いません。

②効果

シャープネス	：画像の輪郭を強調して印刷します。
ソフトフォーカス	：ソフトフォーカスレンズを使って撮影した写真と同様になる補正をして印刷します。
キャンバス	：キャンバス地（布地）に描いたような効果を加えて印刷します。
和紙	：和紙に描いたような効果を加えて印刷します。
なし	：効果を加えずに印刷します。

③デジタルカメラ用補正

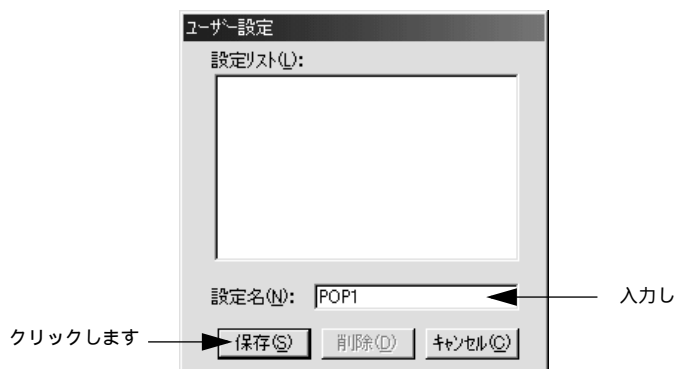
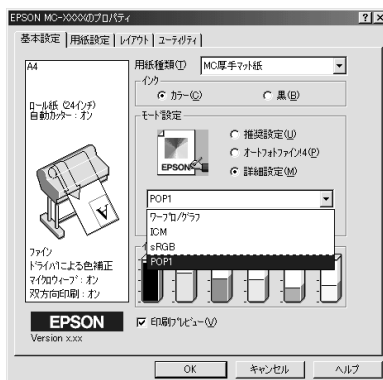
チェックすると、デジタルカメラで撮影した写真データに最適な補正をして印刷します。

- **オートフォトファイン !4 は 1677 万色（24bit）の色情報を持った画像データに対してもっとも有効に機能します。256色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。**
- **エプソン製デジタルカメラまたはスキャナなどでオートフォトファイン機能を使用して取り込んだ画像を印刷する場合、プリンタドライバのオートフォトファイン!4は使用しないでください。**

● ユーザー設定の登録方法

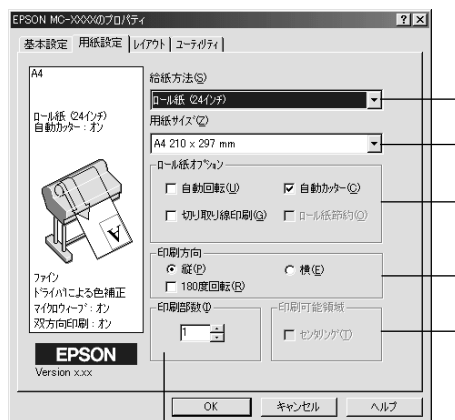
ここでは、［手動設定］ダイアログでの設定を登録する方法、また、以前に登録した設定を削除する方法を説明します。最大登録数は10個です。

1 **［手動設定］ダイアログで各項目を設定し、［保存 /削除］ボタンをクリックします。**

2 **「設定名」に任意の名称（既存の名称以外の名称）を入力し、［保存］ボタンをクリックします。**

これで［基本設定］のリストボックスに設定が加えられました。

ポイント

- **設定を削除する場合は、［設定リスト］から削除するリストをクリックして選択し、［削除］ボタンをクリックします。**
- **プリセットメニューは削除できません。**

用紙設定

プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログでは、使用すると用紙に関わる設定を行います。

①給紙方法

印刷する用紙の種類をリストボックスの中から選択します。

ロール紙 （44インチ）	：	44インチ幅のロール紙に印刷するときに選択します。
ロール紙（36インチ）	：	36インチ幅のロール紙に印刷するときに選択します。
ロール紙（24インチ）	：	24インチ幅のロール紙に印刷するときに選択します。
ロール紙（22インチ）	：	22インチ幅のロール紙に印刷するときに選択します。
ロール紙長尺モード	：	用紙の上下余白（マージン）を0mmにして長尺紙として印刷するときに選択します。
単票紙	：	単票紙に印刷するときに選択します。

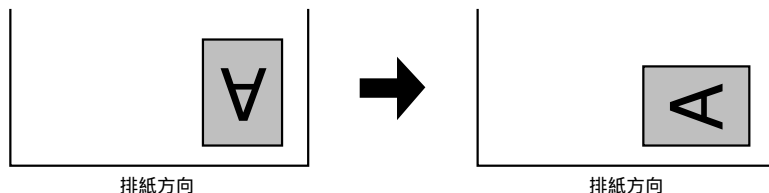
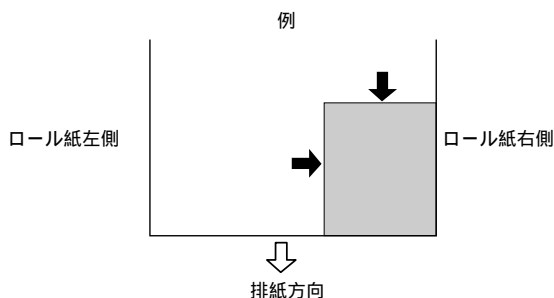
②用紙サイズ

作成した印刷データの用紙サイズをリストボックスの中から選択します。
[ユーザー定義サイズ]を選択すると定形外の用紙サイズを登録することができます。

☞ 本書「用紙サイズの登録/変更」29 ページ

③ロール紙オプション

「給紙方法」でロール紙を選択すると、ロール紙への印刷方法を設定できます。

自動回転　：縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に90度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します。[ロール紙長尺モード] を選択した場合は設定できません。ロール紙を無駄なく使いたいときにチェックします。

自動カッター　：印刷終了後にロール紙を自動的にカットします。
切り取り線印刷　：用紙の右側と下側に切り取り線（実線）を印刷します。

ロール紙節約　：[給紙方法] で [ロール紙長尺モード] を選択した場合に選択可能になります。印刷データの最後を印刷すると、その位置から数行分、用紙を送り出し、動作を停止します。

④印刷方向

印刷データの印刷方向を選択します。

縦　：印刷データをそのまま印刷します。
横　：印刷データを90度回転して印刷します。
180度回転印刷　：印刷データを 180 度回転し、印刷データの下端から印刷します。

⑤印刷部数

印刷する部数を入力します。最大9999枚まで入力できます。

⑥印刷可能領域

[給紙方法]で [単票紙]を選択した場合に、印刷する領域(位置)を選択します。

センタリング　：上下の余白を14mm、左右の余白を3mmの設定で印刷します。物理的な印刷領域は狭くなります。

● 用紙サイズの登録/変更

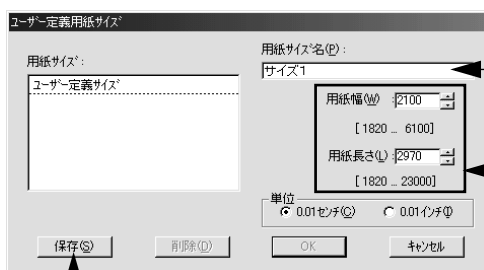
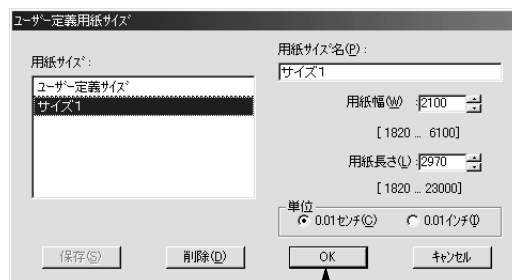
［用紙サイズ］リストにあらかじめ用意されていない用紙サイズを［ユーザー定義サイズ］として独自に登録することができます。最大登録数は100個です。

ポイント

プリンタにセットできる最小用紙サイズはA3ですが、印刷領域としてA3未満の用紙を登録することが可能です。

1 プリンタドライバの［基本設定］ダイアログを開き、［用紙サイズ］リストから［ユーザー定義サイズ］を選択します。

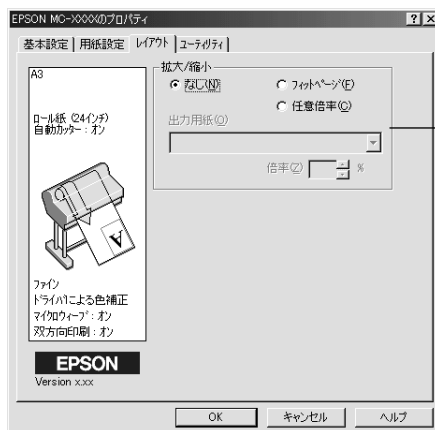
2 登録名を［用紙サイズ名］に入力し、登録したい［用紙幅］と［用紙長さ］を入力してから、［保存］ボタンをクリックします。

- 数値の単位は、[0.1ミリ] または [0.01インチ] のどちらかを選択できます。
- 削除する場合は、リストからサイズ名をクリックして選択し、[削除] ボタンをクリックします。
- 指定できる用紙サイズの範囲は次の通りです。
  用紙幅　：18.20～111.80cm（7.17～44.02インチ）
  用紙長さ*：18.20～230.00cm（7.17～90.55インチ）
  *WindowsNT4.0/2000の場合は、1500.00cm（590.55インチ）まで

3 ［OK］ボタンをクリックします。

これで、定義した用紙サイズが［用紙サイズ］メニューから選択できるようになります。

レイアウト

Win

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

①拡大/縮小

拡大/縮小印刷を設定します。［用紙設定］ダイアログで［ロール紙長尺モード］を選択したときは設定できません。

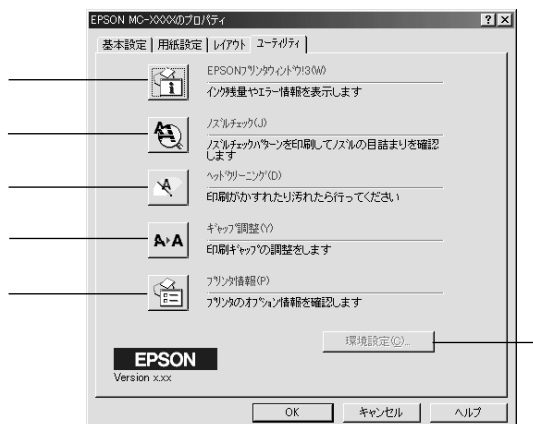
なし	：	拡大/縮小して印刷しません。等倍（100%）で印刷します。
フィットページ	：	プリンタにセットした用紙を［出力用紙］で設定することで、自動的に倍率を設定し印刷します。
任意倍率	：	［倍率］ボックスで10%～650%の倍率を指定して印刷します。

ポイント

- **拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データに比べ変わることがあります。**
- **特定のアプリケーションソフトと用紙サイズの組み合わせによっては、拡大/縮小の設定範囲が変わることがあります。**

ユーティリティ

Win

プリンタドライバの［ユーティ リティ］ダイアログでは、本機で使用できるユーティリティソフトを実行できます。

①EPSONプリンタウィンドウ!3

プリンタの状態を監視する「EPSONプリンタウィンドウ!3」を起動します。EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールしていない場合は、機能しません。

②ノズルチェック

プリントヘッドのノズルの目詰まりを確認するパターンを印刷します。

③ヘッドクリーニング

印刷がかすれたり、すき間があくようになったらプリントヘッドをクリーニングします。

④ギャップ調整

双方向印刷時に縦の罫線がずれたり、ピントがぼけたような印刷結果になる場合に調整します。

⑤プリンタ情報

色の再現性を向上させるためにプリンタID情報を取得する場合にクリックします。EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールしている場合は、自動的に取得されるため実行する必要はありません。

⑥環境設定

印刷速度やプログレスメータ表示、EPSONプリンタポートに関する設定をします。このボタンは［プリンタ］フォルダからプリンタドライバ設定画面を開いた場合に有効になります。

☞ 本書「環境設定」33 ページ

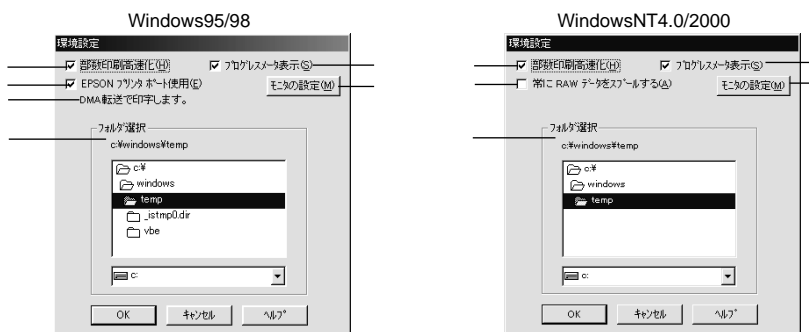
ポイント

ユーティリティの詳細は以下のページをご覧ください。
☞本書「ユーティリティの使い方」39 ページ

● 環境設定

プリンタドライバの［環境設定］ダイアログでは、プリンタの動作環境を設定できます。

Windows95/98

WindowsNT4.0/2000

［環境設定］ダイアログを開く場合は、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバの設定画面を開き、［ユーティリティ］タブの［環境設定］ボタンをクリックします。
☞本書「プリンタドライバの設定項目について」15 ページ

①部数印刷高速化

1部目の印刷処理データをハードディスクに保存し、2部目以降は、そのデータを使用することで印刷速度を高速化します。チェックしないとハードディスクの使用量が減ります。通常はチェックして使用してください。

②プログレスメータ表示

印刷実行時に印刷の進行状況を表示します。EPSONプリンタウィンドウ!3がインストールされていない場合、機能しません。

③EPSONプリンタポート使用（DOS/V機のWindows95/98のみ）

EPSONプリンタポートドライバを使用して、印刷を高速化します。通常はチェックして使用してください。パラレルケーブル接続時に有効な機能です。

④DMA転送（DOS/V機のWindows95/98のみ）

DMA転送の状態を表示します。パラレルケーブル接続時に有効な機能です。
☞ 本書「印刷を高速化するには」46 ページ

⑤フォルダ選択

スプールファイルや部数印刷高速化機能を使用する際に、一時的にデータを保存するフォルダを選択できます。通常は、設定の必要はありません。
ハードディスクドライブのパーティションが1つだけの場合は表示されません。

⑥［モニタの設定］

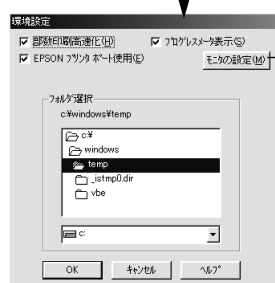
EPSONプリンタウィンドウ!3のモニタ設定画面を開きます。
☞ 本書「モニタの設定」37 ページ

⑦常にRAWデータをスプールする（WindowsNT4.0/2000のみ）

チェックすると、アプリケーションによっては高速に印刷できる場合があります。

EPSONプリンタウィンドウ!3

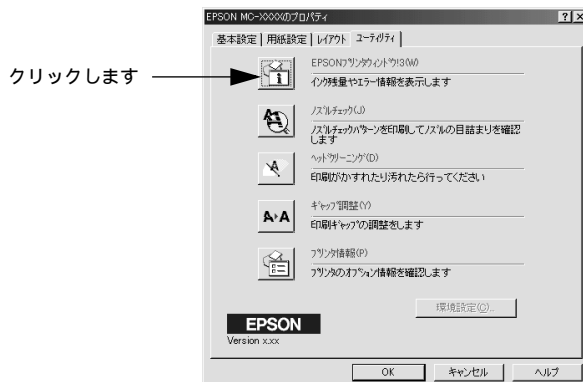
● EPSONプリンタウィンドウ!3とは

EPSONプリンタウィンドウ!3は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、［プリンタ詳細］ウィンドウを開きます。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればエラーメッセージを表示して対処方法を知ることができます。また、プリンタドライバの設定画面やWindowsのタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。

● プリンタの状態を確かめるには

EPSONプリンタウィンドウ!3でプリンタの状態を確かめるために、2通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。

☞ 本書「[プリンタ詳細］ウィンドウ」次ページ

[方法1]

プリンタドライバのプロパティ画面を開き、［ユーティリティ］の［EPSONプリンタウィンドウ!3］ボタンをクリックします。

[方法2]

［モニタの設定］ダイアログで［呼び出しアイコン］を選択すると、WindowsのタスクバーにEPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから［EPSON MC-9000］をクリックします。

☞ 本書「[モニタの設定］ダイアログ」38 ページ

または

Win

[プリンタ詳細]ウィンドウ

EPSONプリンタウィンドウ!3の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。

①プリンタ

プリンタの状態がグラフィックで表示されます。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法が表示されます。

③[閉じる]

ウィンドウを閉じるときに［閉じる］ボタンをクリックします。

④インク残量

インクカートリッジのインク残量の目安が表示されます。

● 対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3の［プリンタ詳細］ウィンドウにエラーメッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

①[対処方法]

インクがなくなったり、何らかの問題が起こった場合に表示されます。
［対処方法］ボタンをクリックすると対処方法が順を追って表示されます。

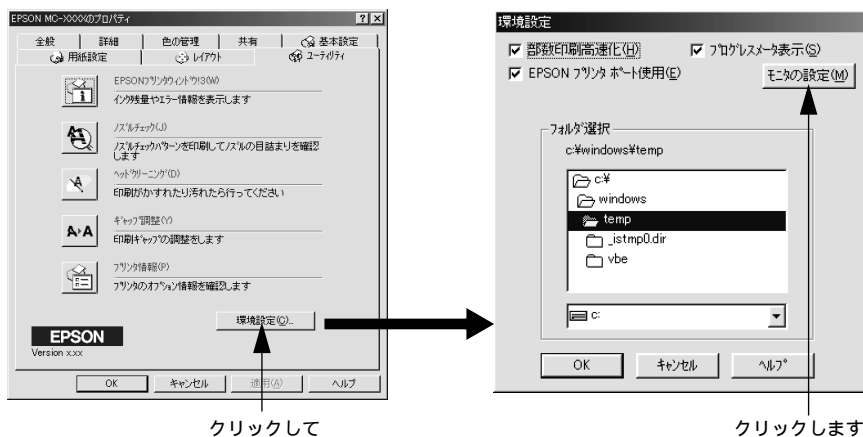
②[閉じる]

［閉じる］ボタンをクリックすると、ウィンドウを閉じることができます。
メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

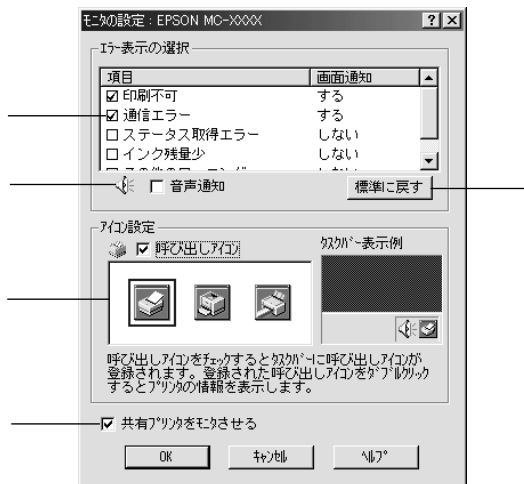
● モニタの設定

EPSONプリンタウィンドウ!3のモニタ機能を設定します。どのような場合にエラー表示するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。
［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2通りあります。

［方法1］

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［環境設定］ボタンをクリックします。続いて［環境設定］ダイアログの［モニタの設定］ボタンをクリックします。

［方法2］

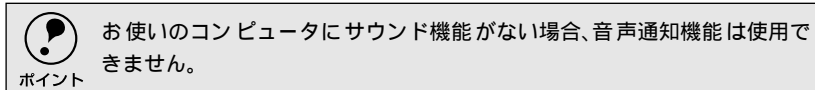
［モニタの設定］ダイアログで［呼び出しアイコン］を選択すると、Windowsのタスクバーに EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンが表示されます。このアイコンを右クリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。

［モニタの設定］ダイアログ

①エラー表示の選択

プリンタがどのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。通知が必要な項目をチェックします。

②音声通知

チェックボックスをチェックすると、エラー発生時に音声でも通知します。

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③［標準に戻す］

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すには、［標準に戻す］ボタンをクリックします。

④アイコン設定

［呼び出しアイコン］をチェックすると、EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンがタスクバーに表示されます。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせて選択できます。
タスクバーに表示されたアイコンを右クリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

⑤共有プリンタをモニタさせる

チェックすると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。

☞ 本書「Windowsでのプリンタの共有」55 ページ

ユーティリティの使い方

Windowsプリンタドライバのユーティリティでは、プリンタの状態を確認したりメンテナンス用の「ノズルチェックパターン印刷」、「ヘッドクリーニング」、「ギャップ調整」、「プリンタ情報」の取得などの機能を実行できます。

● ノズルチェックパターン印刷

ノズルチェックパターン印刷とは、プリントヘッド[*1]のノズル[*2]が目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間があく場合は、ヘッドクリーニングを実行して、目詰まりを除去してください。

*1 プリントヘッド：用紙にインクを吹き付けて印刷する部分。外部からはみえない位置にある。

*2 ノズル：インクを吐出するための、非常に小さな孔（あな）。

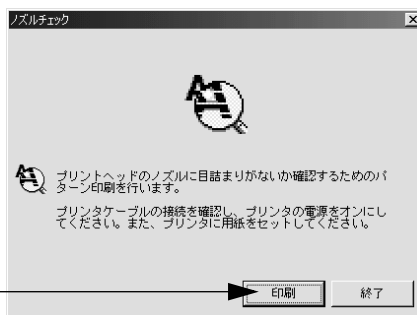
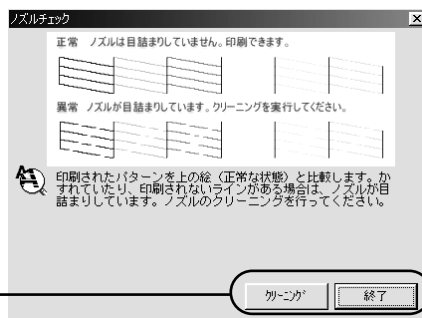
ポイント

- **ノズルチェックパターン印刷は、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。**
  ☞ 本書「ノズルチェックパターン印刷」148 ページ
- **インクランプが点灯中は実行できません。**

1. **プリンタに用紙をセットします。**

2. **プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。**
   ☞ 本書「ユーティリティ」32 ページ

3. **［ノズルチェック］ボタンをクリックします。**

4. **［印刷］ボタンをクリックします。**
   ノズルチェックパターンが印刷されます。

5 印刷されたノズルチェックパターンの線がかすれたり消えたりしていないかを確認して、問題がない場合は［終了］ボタンを、問題があった場合は［クリーニング］ボタンをクリックします。

ポイント

ノズルチェックパターン印刷直後に、印刷またはクリーニングを行う場合は、ノズルチェックパターン印刷が完全に終了していることを確認してから実行してください。

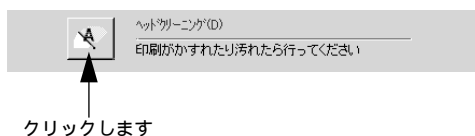
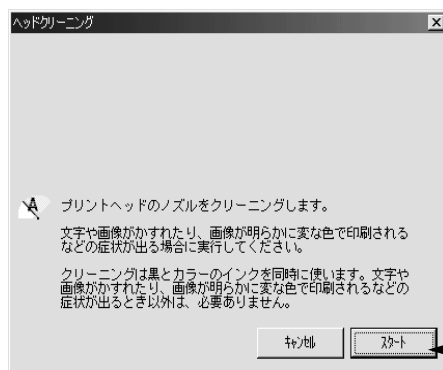
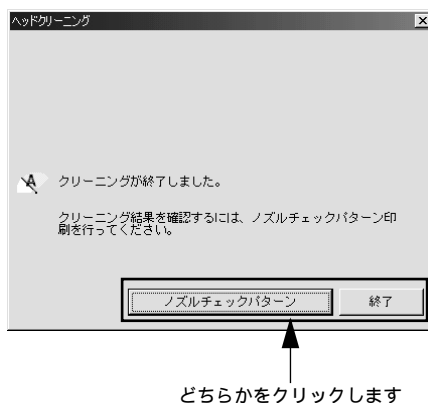
● ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間があくようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

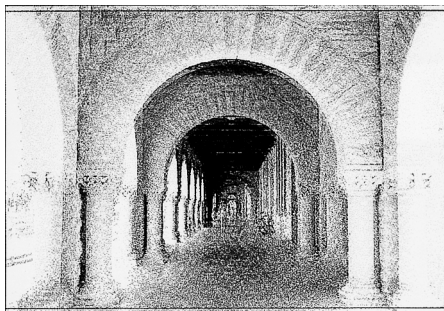
ポイント

- **ヘッドクリーニングはすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。**
- **厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。パネルメッセージに従って用紙を取り除き、用紙セットレバーを下げると自動的にクリーニングを開始します。**
- **ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。**
- **ヘッドクリーニングは、インクエンドランプが点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。**
  本書「インクカートリッジの交換」136 ページ
- **ヘッドクリーニングは、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。**
  本書「ヘッドクリーニング」150 ページ

1 **プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。**

2 **［ヘッドクリーニング］ボタンをクリックします。**

3 **［スタート］ボタンをクリックします。**
プリンタの電源ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1分間続きます。
電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

4 **［ノズルチェックパターン］ボタンをクリックし、印刷結果を確認します。終了する場合は［終了］ボタンをクリックします。**
本書「ノズルチェックパターン印刷」39 ページ

● ギャップ調整

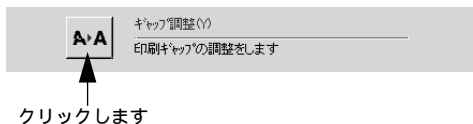
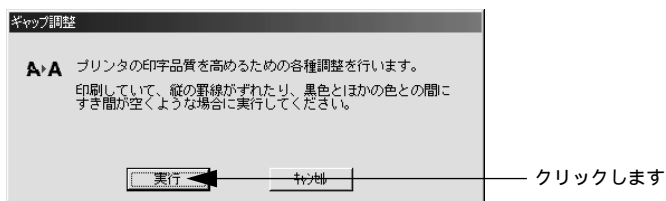
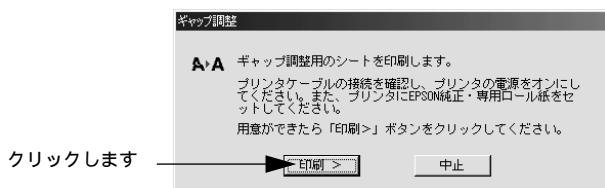
双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。ギャップ調整を行うためには、MC厚手マット紙ロールが必要です。

印刷結果ピントがぼけたようになる

ポイント

- ギャップ調整は必ず44インチ幅のMC厚手マット紙ロールをセットして行ってください。
- すべての調整パターン印刷には約7分かかります。ロール紙を約50cm使用します。
- ギャップ調整は、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。
  本書「ギャップ調整」151ページ

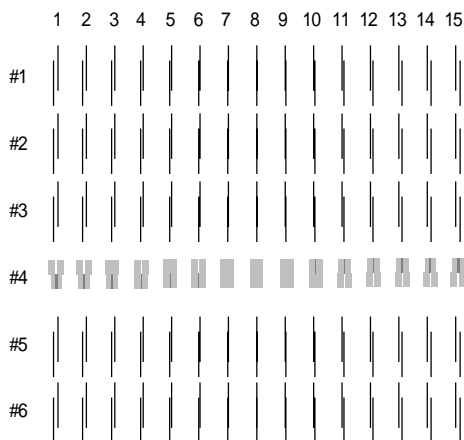
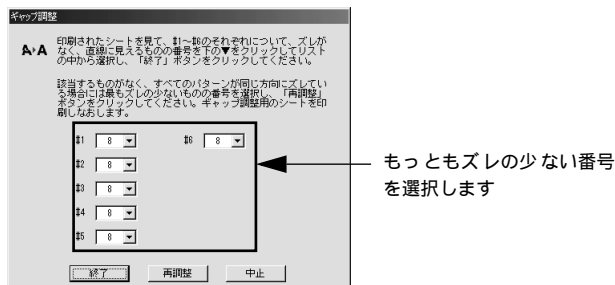
1 **プリンタにMC厚手マット紙ロールをセットし、［用紙選択］スイッチを押して［ロール紙自動カット］を選択します。**

2 **プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。**
本書「ユーティリティ」32 ページ

3 **［ギャップ調整］ボタンをクリックします。**

4 **［実行］ボタンをクリックします。**

5 **［続行>］ボタンをクリックします。**
ギャップ調整用のシートが印刷されます。

6 **印刷されたシートの中から、＃1～＃6の各パターンごとにズレの少ない直線に見える番号あるいは中央の線がめだたない長方形の番号（1～15）を探します。**

＜印刷例＞
このようなパターンが用紙幅いっぱいに 6 個印刷されます。調整は用紙の中心にある 3 番目または 4 番目のパターンを使って行います。

7 **各パターンごとにリストの中からもっともズレの少ない番号を選択します。**

ポイント

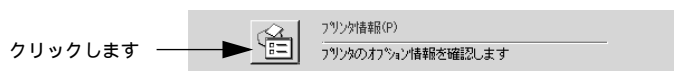
すべての直線がズレていたり、すべての長方形に中央の線がめだつような場合は、もっともズレの少ない番号を選択して［再調整］ボタンをクリックして6へ戻ります。

8 **［終了］ボタンをクリックすると、ギャップ調整は終了です。**

● プリンタ情報

色の再現性を向上させるために、プリンタのID情報を取得します。プリンタ情報はEPSONプリンタウィンドウ!3をインストールしている場合、自動的に取得されます。手動の場合も、一度設定すれば設定し直す必要はありません。
EPSONプリンタウィンドウ!3をインストールしていない場合や双方向通信ができない状況下の場合は、以下の手順で情報を取得してください。

1. **プリンタドライバのプロパティ画面で［ユーティリティ］タブをクリックします。**

2. **［プリンタ情報］ボタンをクリックします。**

クリックします

3. **［現在の状態］を確認します。**

状態①：「情報印刷実行後、オプション情報を入力してください。」
→次のステップに進みます。
状態②：「オプション情報は既に設定されています。入力の必要はありません。」
→［OK］ボタンをクリックして設定を終了します。

確認します

4. **プリンタに用紙をセットして［情報印刷実行］ボタンをクリックします。**
プリンタ IDが印刷されます。

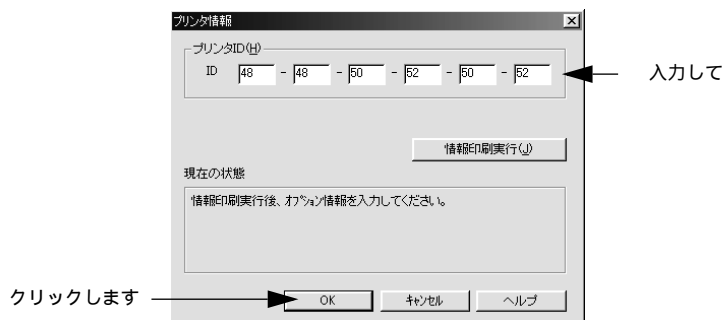
印刷例

```
Printer ID : 48-48-50-52-50-52
```

Win

5 **印刷されたプリンタIDを半角文字で入力し、[OK] ボタンをクリックします。**
これで、プリンタ ID 情報が取得できました。

印刷を高速化するには

Win

本機をパラレルケーブルで接続している場合は、データの転送方法に「DMA転送」を使用することで、印刷を高速化することができます。DMA転送の設定はWindows95/98/NT4.0でのみ可能です。Windows 2000では設定できません。

● DMA転送とは

通常、印刷データは、コンピュータの頭脳であるCPU（Central Processing Unit）を通してプリンタへ送られます。しかし、CPUは同時にいくつもの処理を行っているため、この方法ではCPUに負担がかかり効率的にプリンタへデータが送られません。

ECP[*1]コントローラチップが搭載されたコンピュータの場合は、印刷データの流れを変更することでCPUを介することなく印刷データをプリンタへ直接送ることができます。これにより、効率的にプリンタへ印刷データが送られ、結果として印刷速度が向上することになります。このような、データ転送の形式をDMA（Direct Memory Access）転送と呼びます。

*1 ECP（Extended Capability Port）：パラレルポートの拡張仕様の一つ。

● DMA転送を設定する前に

プリンタドライバでDMA転送を行う前に以下の項目の確認、設定が必要です。

①パラレルケーブルでプリンタとコンピュータを接続していますか？

②Windows95/98/NT4.0を使用していますか？

③ご利用のコンピュータはDOS/V機でECPコントローラチップが搭載されていますか？

ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

④ご利用のコンピュータでDMA転送が可能ですか？

ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータメーカーにお問い合わせください。

⑤BIOS[*2]セットアップでパラレルポートの設定が「ECP」または「ENHANCED」になっていますか？

ご利用のコンピュータの取扱説明書を参照いただきBIOSの設定をしてください。BIOS設定は、本機のプリンタドライバを一旦削除してから行ってください。設定後再度プリンタドライバをインストールしてください。

*2 BIOS（Basic Input/Output System）：パソコンを動作させるための基本手なプログラム群のこと。

● DMA転送の設定（Windows95/98）

1 画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 ［MC-9000］アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［ユーティリティ］タブをクリックし、［環境設定］ボタンをクリックします。

Win

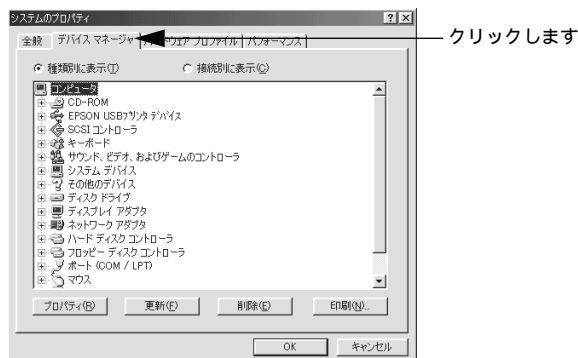
❹ DMA転送の状態を確認し、［OK］ボタンをクリックします。

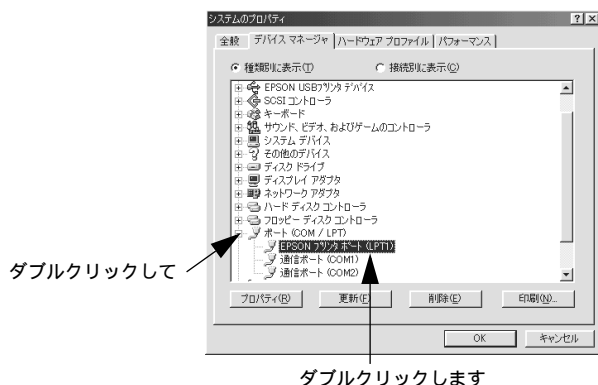
表示	内容
「DMA転送で印字します。」	すでにDMA転送が指定されています。[OK]ボタンをクリックして設定を終了してください。
「DMA転送の設定を行なうと､より高速な出力が可能になります。」	次の❺に進みます。
何も表示されない場合	DMA転送できません。

ポイント

- 上記ステップで何も表示されない場合、コンピュータのBIOS設定でパラレルポートを「ECP」または「ENHANCED」に設定すると、「DMA転送」による印字が可能になる場合があります。各コンピュータメーカーにDMA転送が可能かどうかお問い合わせの上、BIOSのパラレルポート設定を行ってください。
- BIOSのパラレルポート設定を行う場合は、本機のプリンタドライバを削除してから設定し、再度プリンタドライバをインストールしてください。

❺ 画面左上の［マイコンピュータ］を右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

❻ ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

7 **［ポート（COM&LPT)］アイコンをダブルクリックし、本機が接続されているポートをダブルクリックします。**

プリンタの接続先を変更していない場合は「LPT1」を選択します。

8 **［リソース］タブをクリックし、［自動設定を使う］のチェックボックスをクリックしてチェックを外します。**

自動設定時に設定されている I/O ポートアドレスが、次のステップで必要になります。メモ用紙などに控えてください。

9 **［基にする設定］または［設定の登録名］のリストボックスの中から、自動設定時に設定されていたI/Oポートアドレスが変更されずに「DMA」「IRQ」（割込み要求）の設定が表示される基本設定を探します。**

⑩ ［OK］ボタンをクリックします。

これで、データの転送方法が「DMA 転送」に変更されました。

ポイント

- **BIOSの設定を変更した場合は､プリンタドライバを削除した後､再度インストールしてください｡**
- **一部のコンピュータでは､上記の設定をしたにもかかわらず､DMA 転送がご利用になれない場合があります｡お使いのコンピュータメーカーにDMA転送が可能かどうかお問い合わせください｡**

● DMA転送の設定（WindowsNT4.0）

WindowsNT4.0をご利用の場合は、BIOSのパラレルポートの設定を「ECP」モードに設定した上で、本機のプリンタドライバをインストールすることによりDMA転送をご利用いただくことができます。

DMA転送を使用しない場合の設定方法

本機のプリンタドライバをインストールすると自動的にDMA転送が設定されます。DMA転送を使用しない場合は、以下の手順に従ってください。

① ［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

② ［MC-9000］アイコンを右クリックし､表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックし、［ポートの構成］ボタンをクリックします。

4 ［LPT1］タブをクリックします。

［DMA を使用する］のチェックボックスをクリックして外すと、DMA 転送を行いません。

拡張スロットにLPTが装着されている場合のみ、LPT2,LPT3が表示されます。LPT2,LPT3の構成情報には、拡張ボードで設定されているI/Oアドレスが表示されます。IRQ,DMAは、拡張ボードの設定を手動で設定する必要があります。設定方法は、[リソースの設定]の[IRQ][DMA]をダブルクリックするか、[IRQ][DMA]をクリックして、[設定の変更]ボタンをクリックして設定してください。

プリンタ接続先の設定

Win

プリンタを接続しているコンピュータ側のポート[*1]を変更します。ここでは、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。

*1 ポート：
プリンタなどの周辺機器とコンピュータを接続するためのコネクタのソケット。

ポイント

- プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能設定を確認してください。
- ここで設定した内容が、アプリケーションソフトなどからプリンタドライバの設定画面を開いた場合の初期設定値になります。

1 画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2 ［EPSONMC-9000］アイコンをクリックして選択し、［ファイル］メニュー内の［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］タブをクリックし、設定を変更して［OK］ボタンをクリックします。
これで接続先の設定は終了です。

①印刷先のポート

プリンタを接続したポート（インターフェイス）を選択します。パラレルケーブルをコンピュータのプリンタポートに接続した場合は、LPT1のままでお使いください。

PRN　：EPSON PCシリーズ/NEC PC-9800シリーズ標準の14ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。このPRNが表示されない場合はLPT1を選択します。
LPT　：プリンタポートです。DOS/Vシリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中のLPT1を選択します。
EPUSBx：USBポートです。Windows98をご利用で本機をUSB変換ケーブルで接続した場合に選択します。EPSONプリンタ用のUSBデバイスドライバがインストールされているときのみ表示されます（最後のxには数字が表示されます）。
USBx　：USBポートです（Windows 2000の場合）。
FILE　：印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

ポイント

USB変換ケーブルをパラレルケーブルに変更した場合は、印刷先のポートを［LPT1］に変更してください。

②ポートの追加

新しいポートやネットワークパスを指定するときにクリックします。

③ポートの削除

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

④印刷に使用するドライバ

プリンタドライバの種類が表示されます。お使いの機種が選択されていることを確認してください。通常は、設定を変更しないでください。

⑤ドライバの追加

プリンタドライバを、追加するときにクリックします。

⑥プリンタポートの割り当て

ポートをネットワークドライブに割り当てるときにクリックします。

⑦プリンタポートの解除

ネットワークドライブに割り当てたポートを削除するときにクリックします。

⑧タイムアウト設定

タイムアウトの［未選択時］、［送信の再試行時］の時間を設定します。

未選択時　：プリンタが印刷できる状態になるまで待つ時間を設定します。ここで指定した時間を経過してもプリンタが印刷できる状態にならないと、エラーが表示されます。

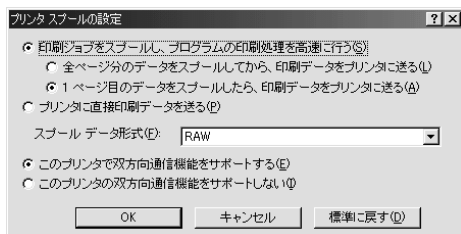
送信の再試行時　：プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。ここで指定した時間を経過してもプリンタがデータを受信できないと、エラーが表示されます。

- **ポートによってはこのタイムアウト時間は変更できません。**
- **通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合やネットワークなど複数のコンピュータで共有している場合、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に［送信の再試行時］を長く設定してください。**

Win

⑨スプール[*1]の設定

*1 スプール：
プリンタ出力などで印刷出力データを一時的にディスクに保存してからプリンタに送信する出力の方法。

印刷データのスプール方法の設定を変更する場合にクリックします。通常は変更する必要はありません。

印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う：
　印刷データのスプール方法には、2つの方法がありますがどちらを選択しても、印刷速度は変わりません。
プリンタに直接印刷データを送る：
　印刷データをスプールせずに、直接プリンタに送ります。
スプールデータ形式：
　通常は変更しないでください。
このプリンタで双方向通信機能をサポートする：
　プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使うように指定します。
　EPSONプリンタウィンドウ!3は、双方向通信機能により動作可能なユーティリティのため、使用する際は必ず「サポートする」をクリックしてください。
このプリンタで双方向通信機能をサポートしない：
　プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使わないように指定します。

⑩ポートの設定

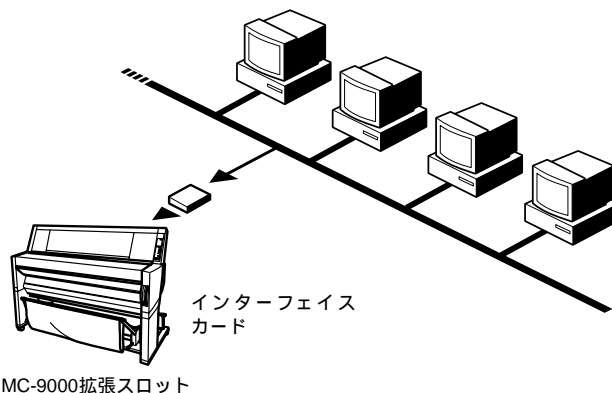
通常は設定を変更する必要はありません。
MS-DOSの印刷ジョブをスプール：
　MS-DOSアプリケーションの印刷データをWindowsにてスプールします。ただし、本機はMS-DOSには対応していません。
印刷前にポートの状態をチェック：
　印刷先のポートが印刷可能な状態かどうかを、印刷を行う前にチェックします。

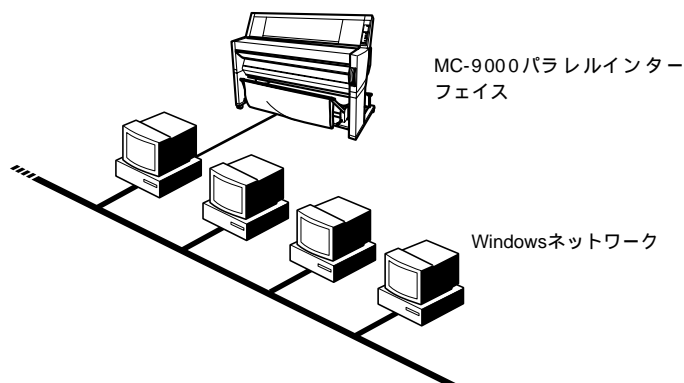
Windowsでのプリンタの共有

ネットワーク環境でプリンタを共有する方法について説明します。

● ネットワーク接続の形態

本機は、以下の方法によりネットワーク上での共有が可能です。

オプションのインターフェイスカードによる共有

本機の拡張スロットに、オプションのインターフェイスカードを装着することにより、異なるネットワーク環境の混在や特定のネットワーク上で本機を共有することができます。詳細については、オプションのインターフェイスカードの取扱説明書を参照してください。

ピアトゥピアによる共有

Windowsでは、コンピュータに接続されたプリンタをネットワークプリンタ（共有プリンタ）として使用できます。このようにインターフェイスカードやネットワークサーバーを使用することなくプリンタを共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。ピアトゥピア接続環境の構築については、お使いのコンピュータの取扱説明書またはWindowsの取扱説明書を参照してください。

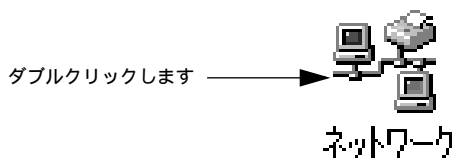
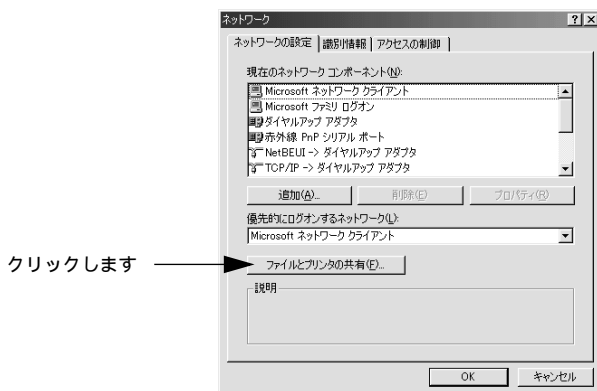
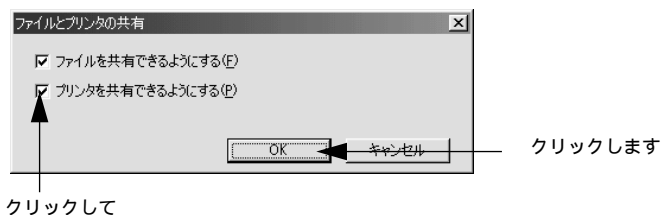
● ピアトウピア接続時のプリントサーバの設定

以下の設定方法は、すでにWindowsのピアトゥピア環境が構築されていること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。
ピアトゥピア接続では、共有するプリンタを接続するコンピュータがサーバ[*1]の役割をします。ここでは、そのコンピュータをプリントサーバと呼びます。

*1 サーバ：
ネットワーク環境下において、クライアントにサービスを提供する機能を持つハードウェアやソフトウェア。

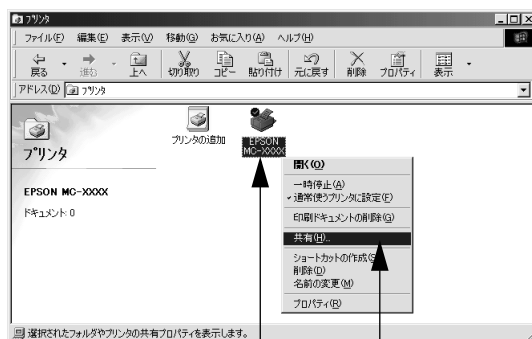
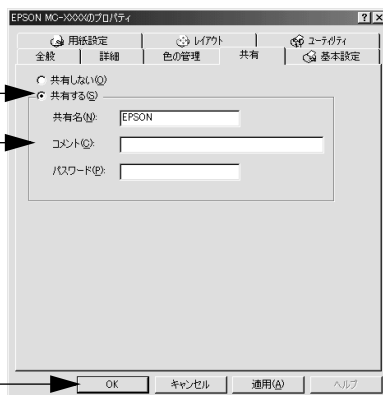
Windows95/98

1 **画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**

3 **［ファイルとプリンタの共有］ボタンをクリックします。**

4 **［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをチェックし、［OK］ボタンをクリックします。**

5 ネットワークの設定画面で［OK］ボタンをクリックします。

- **WindowsのCD-ROMを要求する画面が表示された場合はWindowsのCD-ROMをコンピュータにセットし、[OK] ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。**
- **再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、6の手順から設定してください。**

6 コントロールパネルで［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。

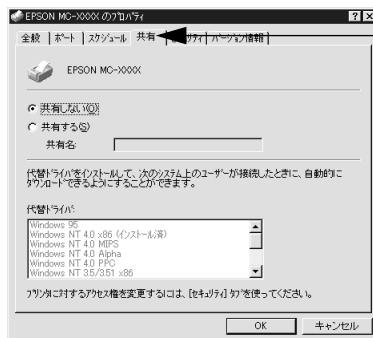
7 ［MC-9000］アイコンを右クリックして、表示されたメニュー内の［共有］をクリックします。

8 ［共有する］をクリックして、必要に応じて各項目を入力し、［OK］ボタンをクリックします。

これでプリントサーバ側の設定は終了です。

ポイント

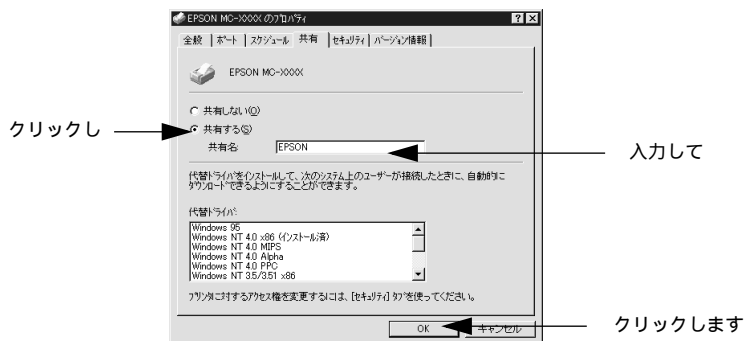
- エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や -（ハイフン）を使用しないでください。
  × MC□9000　MC-9000
  ○ MC_9000　または MC9000など
- 共有プリンタをクライアント側からモニタさせる場合には、EPSON プリンタウィンドウ!3のモニタ機能の設定で［共有プリンタをモニタさせる］をチェックしてください。
  本書「モニタの設定」37 ページ

WindowsNT4.0/2000

1. 画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。

2. ［MC-9000］アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

3. ［共有］タブをクリックします。

4 **［共有する］をクリックし、共有名を入力して、［OK］ボタンをクリックします。**

これで、プリントサーバ側の設定は終了です。

ポイント

- **WindowsNT4.0/2000 の場合、[代替ドライバ]のリストボックスは選択しないでください。**
- **共有プリンタをクライアント側からモニタさせる場合には、EPSONプリンタウィンドウ!3のモニタ機能の設定で[共有プリンタ をモニタさせる]をチェックしてください。**
  本書「モニタの設定」37 ページ

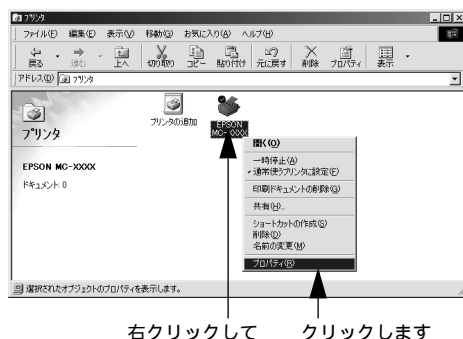
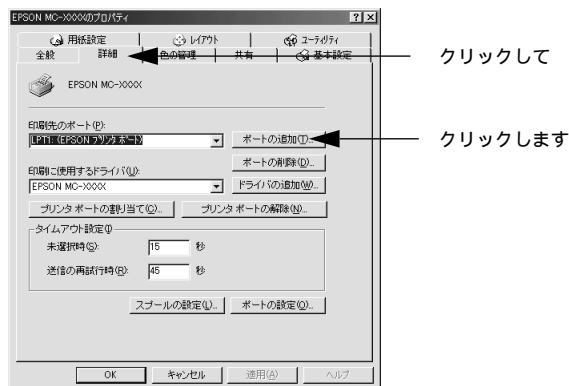
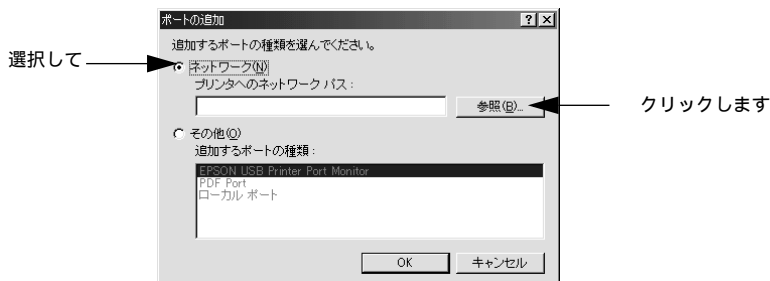
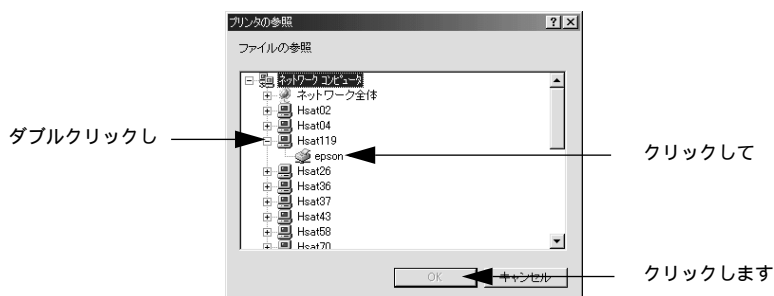
● クライアント側の設定

ここでは、共有するプリンタを利用するコンピュータをクライアントと呼びます。

Windows95/98

1 **画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。**

2 **［MC-9000］アイコンを右クリックし、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。**

①右クリックして　②クリックします

3 **［詳細］タブをクリックして、［ポートの追加］ボタンをクリックします。**

4 **［ネットワーク］のラジオボタンを選択してから、［参照］ボタンをクリックします。**
ご利用の環境のネットワーク構成図が表示されます。

5 **共有するMC-9000を接続しているコンピュータをダブルクリックし、［epson］をクリックして、［OK］ボタンをクリックします。**
プリントサーバ側の設定で共有名［epson］以外に設定している場合があります。プリントサーバ側の設定を確認してください。

6 ［OK］ボタンをクリックします。

［プリンタへのネットワークパス］の欄に［￥￥共有プリンタを接続しているコンピュータ名（プリントサーバ）￥共有プリンタ名］が入力されます。

7 ［印刷先のポート］が 6 で設定されたポートになっていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。

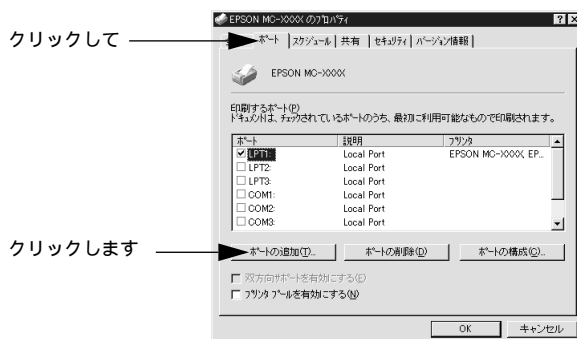
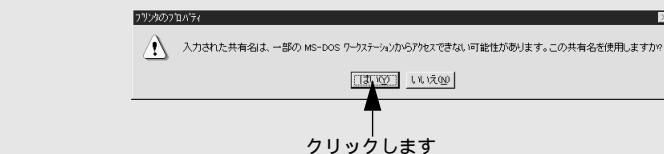
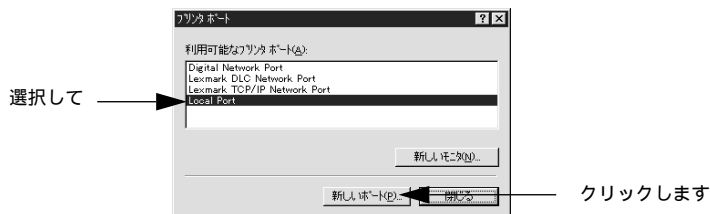
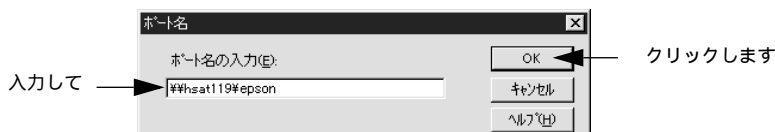
以上で設定は終了です。

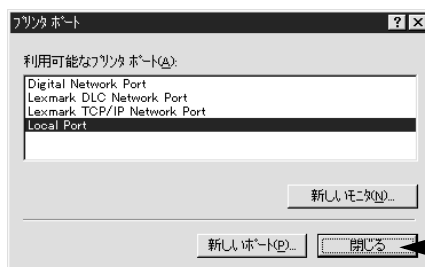
WindowsNT4.0/2000

> ポイント
> **以降の手順は、ローカルマシンの管理者権限のあるユーザー（Administrator）でログオンする必要があります。**

1 画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

2 ［MC-9000］アイコンを右クリックして、表示されたメニューの［プロパティ］をクリックします。

3 ［ポート］タブをクリックして、［ポートの追加］ボタンをクリックします。

ポイント
下記の画面の表示がされたら、[はい]ボタンを クリックして、次のステップに進んでください。

4 ［Local Port］を選択して［新しいポート］ボタンをクリックします。

5 **プリンタを共有しているコンピュータ名と共有されているプリンタの共有名を、以下の書式で入力し、［OK］ボタンをクリックします。**
すべての文字は半角文字で入力します。書式や名称が正しくないと次のステップに進めません。
￥￥目的のプリンタが接続されているコンピュータ名￥共有プリンタ名

WindowsNT4.0では[ネットワークコンピュータ]アイコンをダブルクリックして開くとコンピュータ名を確認することができます。Windows 2000では[マイネットワーク]をダブルクリックし、さらに[近くのコンピュータ]をダブルクリックするとコンピュータ名を確認することができます。各コンピュータのアイコンにつけられている名前がコンピュータ名です。目的のコンピュータ名のアイコンをダブルクリックして開くと共有プリンタ名を確認することができます。ダブルクリックして開いた画面内のプリンタアイコンにつけられている名称が共有プリンタ名です。

6 ［閉じる］ボタンをクリックします。

7 「印刷するポート」の一覧に設定した名前が表示され、チェックボックスがチェックされていることを確認して、［OK］ボタンをクリックします。
以上でクライアント側の設定は終了です。

プリンタドライバの削除

Win

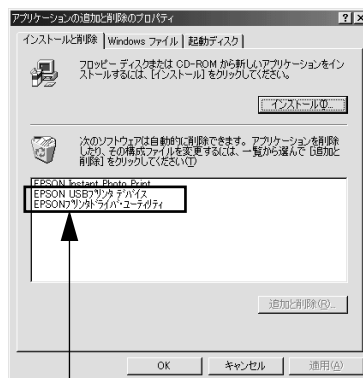
プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行う場合は、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）してください。
※以下の説明では、Windows98の画面を使用しています。

1. **プリンタの電源をオフにし、インターフェイスケーブルを取り外します。**

2. **画面左下の［スタート］ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

3. **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**

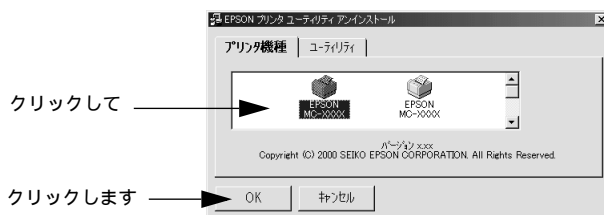
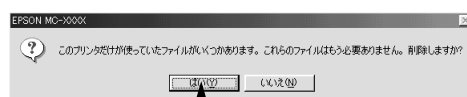
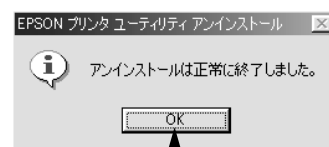
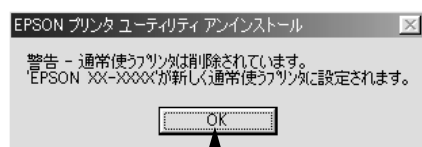
ダブルクリックします

4. **削除するドライバを選択してダブルクリックします。**
   - プリンタドライバ、EPSONプリンタウィンドウ!3を削除する場合
     ［EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ］をダブルクリックします。
     ☞ 5へ進みます。
   - USBデバイスドライバを削除する場合
     ［EPSON USBプリンタデバイス］をダブルクリックします。
     ☞ 8へ進みます。

削除するドライバをダブルクリックします

ポイント

- **［EPSON USBプリンタデバイス］はWindows98でUSB変換ケーブルをご利用の場合のみ表示されます。**
- **USBデバイスドライバを削除する場合は、先にプリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3を削除してください。**

プリンタドライバの削除

5 ［MC-9000］アイコンをクリックし［OK］ボタンをクリックします。

6 ［はい］ボタンをクリックします。

7 ［OK］ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバの削除（アンインストール）は終了です。
プリンタドライバを再インストールする場合はコンピュータを再起動させてください。

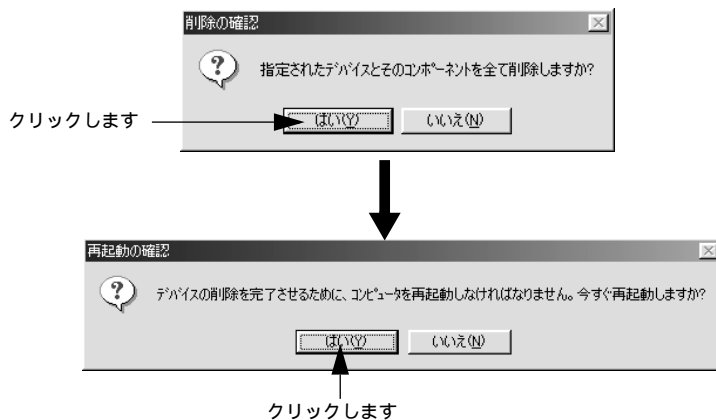
プリンタドライバは、EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットしたときに自動的に表示される画面からも削除することができます。

USBデバイスドライバの削除

USBデバイスドライバは、Windows98でUSB変換ケーブルをご利用の場合にのみ必要なドライバです。

ポイント

USBデバイスドライバを削除する場合は、先にプリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3を削除してください。

8 **［はい］をクリックします。**
コンピュータが再起動します。これで USB デバイスドライバの削除は終了です。

ポイント

USB デバイスドライバを正常に削除できない場合は、「プリンタソフトウェアCD-ROM」の[WIN9X] フォルダに登録されている[EPUSBN.EXE]を実行してください。実行後は、画面の指示に従って操作を進めます。

2

Macintoshからの印刷

ここでは、Macintoshで印刷する手順や、プリンタドライバの詳細な内容について説明しています。

印刷の設定と実行

プリンタドライバのインストールが終了すると、印刷できるようになります。
ここでは、基本的な印刷の方法について説明します。

Mac

ポイント

セレクタで、MC-9000は選択されていますか？選択されていない場合は、セレクタを開いてMC-9000を選択してください。
スタートアップガイド「プリンタドライバのインストール」54 ページ

1 印刷データを作成します。
アプリケーションソフトなどで印刷データを作成します。

2 プリンタの準備をします。
- プリンタの電源をオンにします。
- 印刷する用紙をセットします。
本書「用紙について」109 ページ
- 用紙に合わせてプリンタの［用紙選択］スイッチで用紙種類を選択します。

3 用紙を設定します。
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［用紙設定］（または［プリンタ設定］）を指定します。

4 各項目を設定します。
各項目については、以下のページを参照するか、? ボタンをクリックしてヘルプをご覧ください。
本書「［用紙設定］ダイアログ」72 ページ

ポイント

アプリケーションソフトによっては、独自の［用紙設定］ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

5 ［OK］ボタンをクリックして、終了します。
次に、用紙種類などの設定をして印刷を実行します。

6 印刷を実行します。
アプリケーションソフトの［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を指定します。

7 各項目を設定します。

［印刷］ダイアログボックスの［印刷部数］や［用紙種類］などを確認します。通常は［印刷］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

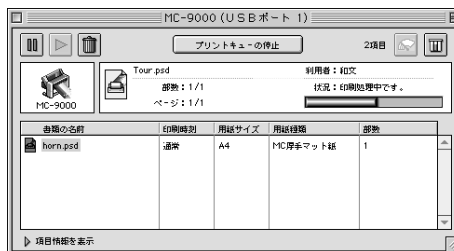
☞ 本書「［印刷］ダイアログ」76 ページ

☞ 本書「高度な印刷設定について」81 ページ

アプリケーションソフトによっては、独自の［印刷］ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

8 ［印刷］ボタンをクリックして、印刷を実行します。

セレクタで［バックグラウンドプリント］を［入］に設定していた場合は、画面上に EPSON Monitor3 の画面が表示され、印刷が始まります。

☞ 本書「バックグラウンドプリントについて」101 ページ

電源ランプの点滅が点灯に変わり、プリンタの動作音がしなくなれば印刷は終了です。

正常に印刷できなかった場合は、お問い合わせいただく前に以下のページを参照してください。

☞本書「困ったときは」173 ページ

印刷の中止方法

印刷を中止する方法を説明します。

● バックグラウンドプリント使用時の場合

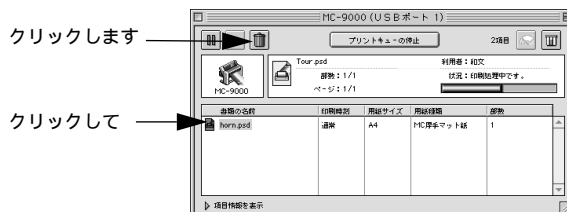
1 プリンタの電源をオフにします。

印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。
印刷中の用紙は以下の処理がされます。

- ロール紙自動カット　：用紙サイズ分紙送りをしてからカットされます。
- ロール紙カッターOFF　：用紙サイズ分紙送りされます。［キリトリセン＝ON］の場合は切り取り線を印刷します。
- 単票紙　：排紙されます。

2 アプリケーションメニューから［EPSON Monitor3］を選択します。

3 印刷中の印刷文章をクリックし、［ごみ箱］ボタンをクリックします。

画面に印刷キャンセルに関するダイアログが表示される場合は、画面の表示に従ってください。これで印刷が正常に中止されます。

● バックグラウンドプリント未使用の場合

1 プリンタの電源をオフにします。
印刷途中であっても、プリンタの電源をオフにします。
印刷中の用紙は以下の処理がされます。

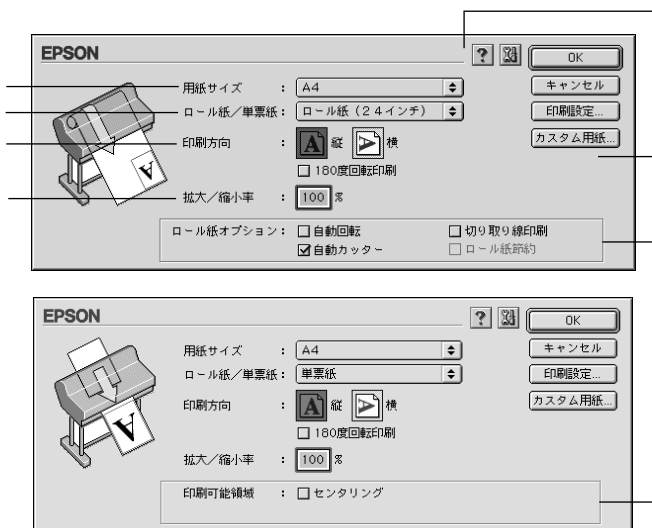
- ロール紙自動カット　　：用紙サイズ分紙送りをしてからカットされます。
- ロール紙カッターOFF ：用紙サイズ分紙送りされます。［キリトリセン＝ON］の場合は切り取り線を印刷します。
- 単票紙　　　　　　　　：排紙されます。

2 コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（.）キーを押します。
これで印刷が正常に中止されます。

プリントを中止するときは、⌘（コマンド）キーを押しながら .（ピリオド）キーを押してください。

[用紙設定]ダイアログ

[用紙設定] ダイアログでは、使用する用紙に関わる設定を行います。

Mac

①用紙サイズ

作成した印刷データの用紙のサイズをポップアップメニュー[*1]の中から選択します。

メニュー以外の用紙サイズを使用する場合は、⑦の中の［カスタム用紙］ボタンをクリックして用紙サイズを登録してください。

*1 ポップアップメニュー：
▼マークのある枠内をクリックすることにより、複数の選択肢が表示されるメニュー。

②ロール紙/単票紙

印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。

ロール紙（44インチ）：44インチ幅のロール紙に印刷するときに選択します。
ロール紙（36インチ）：36インチ幅のロール紙に印刷するときに選択します。
ロール紙（24インチ）：24インチ幅のロール紙に印刷するときに選択します。
ロール紙（22インチ）：22インチ幅のロール紙に印刷するときに選択します。
ロール紙 長尺モード ：用紙の上下余白（マージン）を0mmにして長尺紙として印刷するときに選択します。
単票紙 ：単票紙に印刷するときに選択します。

③印刷方向

印刷データの印刷方向を選択します。

縦 ：印刷データをそのまま印刷します。
横 ：印刷データを90度回転して印刷します。
180度回転印刷 ：印刷データを180度回転し、印刷データの下端から印刷します。

④拡大/縮小率

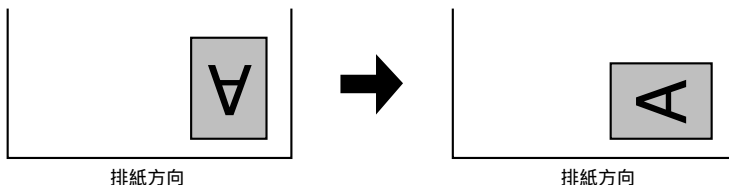
拡大/縮小印刷を設定します。拡大/縮小率は25～400%まで1%単位で設定できます。[ロール紙/単票紙]で[ロール紙長尺モード]を選択したときは、設定できません。

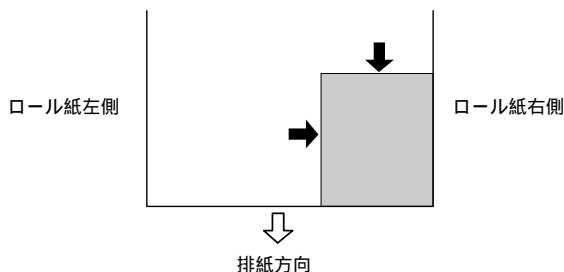
ポイント

- 拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データに比べ変わることがあります。
- 特定のアプリケーションソフトと用紙サイズの組み合わせによっては、拡大/縮小の設定範囲が変わることがあります。

⑤ロール紙オプション

[ロール紙/単票紙]でロール紙を選択すると、ロール紙への印刷方法を設定できます。

自動回転　　　　：縦長の印刷データが、ロール紙の紙幅に納まる場合に90度回転させてロール紙に横長にレイアウトして出力します（②で[ロール紙長尺モード]を選択した場合は設定できません）。ロール紙を無駄なく使いたいときにチェックしてください。

自動カッター　　：印刷終了時にロール紙を自動的にカットします。
切り取り線印刷　：用紙の右側と下側に切り取り線（実線）を印刷します。

〈例〉

ロール紙節約　　：[ロール紙/単票紙]で[ロール紙長尺モード]を選択した場合に選択可能になります。
印刷データの最後を印刷すると、その位置から数行分、用紙を送り出し、動作を停止します。

⑥印刷可能領域

[ロール紙/単票紙]で[単票紙]を選択した場合に、印刷する領域を選択します。

センタリング　　：上下の余白を14mm、左右の余白を3mmの設定で印刷します。物理的な印刷領域は狭くなります。

⑦各種ボタン

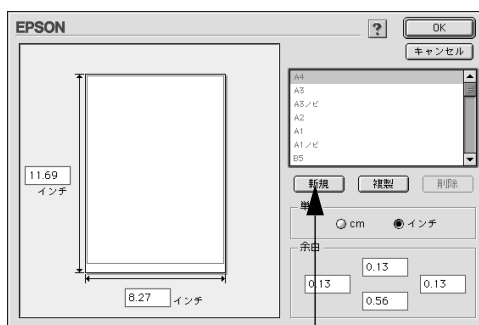
[OK]　：変更した設定を有効にして設定を終了します。
[キャンセル]　：変更した設定を無効にして設定を終了します。
[印刷設定]　：印刷オプションが設定できます。印刷する直前に印刷ダイアログでも同様の項目が設定できます。
本書「[印刷] ダイアログ」76 ページ
[カスタム用紙]　：[用紙サイズ登録] ダイアログが表示され、用紙サイズを登録できます。
本書「用紙サイズの登録/変更」74 ページ
?　：ヘルプ情報を表示します。
　：各種ユーティリティを実行するユーティリティダイアログを表示します。
本書「ユーティリティの使い方」92 ページ

● 用紙サイズの登録/変更

用紙サイズ登録ダイアログでは、新しい用紙サイズを登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更できます。

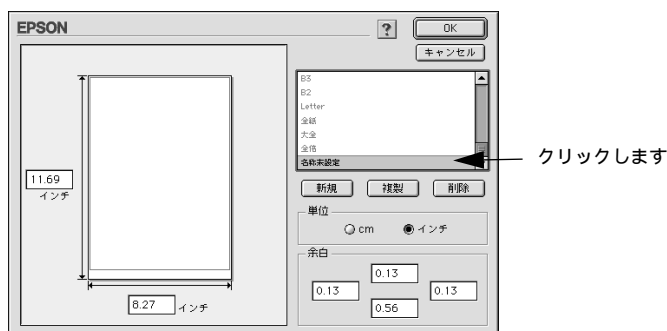
ポイント
プリンタにセットできる最小用紙サイズはA3ですが、印刷領域サイズとしてA3未満の用紙を登録することが可能です。

1 **[用紙設定] ダイアログの [カスタム用紙] ボタンをクリックします。**

2 **[新規] ボタンをクリックします。**
右のリストに [名称未設定] と表示されます。
以前に登録した内容を変更するときは、右のリストの用紙サイズ名をクリックします。

ポイント

- **登録できる用紙サイズは100までです。**
- **用紙サイズ名を指定してから[削除]ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。**
- **用紙サイズ名を指定してから[複製]ボタンをクリックすると、指定した用紙サイズを別の用紙サイズ名で登録できます。**

3 **リストに表示された［名称未設定］をダブルクリックし、用紙サイズ名を入力します。**

必要に応じて、新しい用紙サイズ名を入力します。

4 **画面左側の枠内に用紙サイズを入力します。**

登録する用紙幅と用紙長をインチ単位で入力します。

画面右側の「単位」のラジオボタン[*1] でcm単位に変更することもできます。

指定できる用紙サイズの範囲は次の通りです。

用紙幅：18.19 ～ 111.81cm（7.16～ 44.02 インチ）

用紙長：18.19 ～ 230.12cm（7.16～ 90.60 インチ）

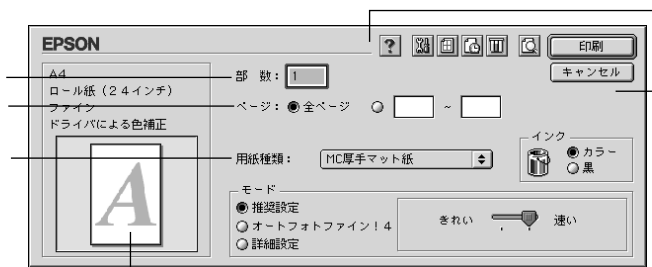
*1 ラジオボタン：2つまたはそれ以外の選択肢の中から1つだけを選択するための画面上のボタン。選択されている項目はで表示される。

5 **必要に応じて、画面右側の［余白］で、上下左右の余白（マージン）を設定します。**

6 **［OK］ボタンを押すと、新しい用紙サイズが登録されます。**

[印刷]ダイアログ

[印刷]ダイアログでは、印刷実行時の各種機能を設定できます。

①部数

印刷する部数を入力します。最大9999まで入力できます。

②ページ

印刷するページを指定します。[全ページ]を選択すると、文書の全ページを印刷します。印刷するページを指定するときは、右側のラジオボタンをクリックしてページ指定ボックスに指定ページを入力します。

③用紙種類

印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。

④インク

インクの種類を［カラー］と［黒］から選択します。[黒]を選択するとモノクロ印刷になります。

⑤モード

印刷モードを選択します。選択するモードによって画面が変わります。モードによって設定できる項目については以下のページを参照してください。

本書「[モード]での設定項目」78 ページ

推奨設定	：	用紙種類、インク、用紙サイズを設定するだけで、自動的に最適な設定で印刷します。
オートフォトファイン!4	：	エプソン独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。[インク]が［カラー］の場合のみ選択できます。
詳細設定	：	印刷に関する項目を手動で設定できます。

⑥現在の設定

現在設定されている内容が確認できます。

⑦各種ボタン

［印刷］/［プレビュー］/［ファイル保存］：

このボタンは、ボタン左側のアイコンをクリックすると、［印刷］→［プレビュー］→［ファイル保存］の順序で変わります。

［印刷］　　　：設定した内容で印刷を開始します。
［プレビュー］　：印刷イメージを表示する［プレビュー］ダイアログを開きます。

本書「[プレビュー］ダイアログ」80 ページ

［ファイル保存］：設定した内容に、ファイル名を付けて保存します。
［キャンセル］　：設定した内容を無効にして、印刷を中止します。
（アイコン）/（アイコン）/（アイコン）：クリックするとアイコンの形が変わり、左側のボタンの名称も変わります。
アイコンとボタンの関係は次の通りです。
（アイコン）：［印刷］
（アイコン）：［プレビュー］
（アイコン）：［ファイル保存］
（アイコン）：インク残量を表示するダイアログボックスを表示します。
（アイコン）：バックグラウンドプリントなどを設定するダイアログを表示します。

本書「バックグラウンドプリントについて」101 ページ

（アイコン）：［レイアウト設定］ダイアログを表示します。

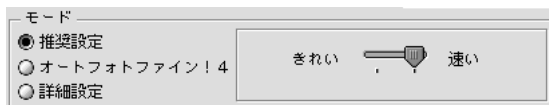
本書「[レイアウト設定］ダイアログ」79 ページ

（アイコン）：「EPSONプリンタウィンドウ」や「ヘッドクリーニング」などの各種ユーティリティを実行するためのダイアログを表示します。

本書「ユーティリティの使い方」92 ページ

?：ヘルプ情報を表示します。

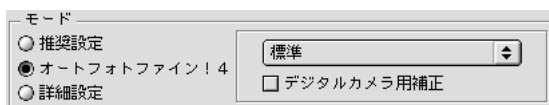
● [モード]での設定項目

[基本設定]ダイアログの[モード]での設定項目は次のようになります。

[推奨設定]選択時

[きれい]/[速い]のどちらかを選択します。
[用紙種類]によっては、[きれい]/[速い]を選択できないものもあります。

きれい　：印刷品質を重視した設定で印刷します。
速い　　：印刷速度を重視した設定で印刷します。

[オートフォトファイン!4]選択時

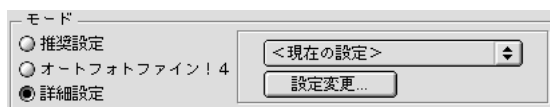
プリセットのポップアップメニューと、デジタルカメラ用補正のチェックボックスが表示されます。

リストボックスからは次の設定を選択できます。

標準　：標準的な色調に補正して印刷します。
人物　：人物の写真に対する最適な補正をして印刷します。
風景　：風景の写真に対する最適な補正をして印刷します。
ソフトフォーカス　：ソフトフォーカスレンズを使って撮影した写真と同様になる補正をして印刷します。
セピア　：セピア調の色調に調整して印刷します。

[デジタルカメラ用補正]をチェックすると、デジタルカメラで撮影した写真データに最適な補正をして印刷します。

- **オートフォトファイン !4は1677万色(24bit)の色情報を持った画像データに対して、もっとも有効に機能します。256色などの少ない色情報の画像データには、有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。**
- **エプソン製デジタルカメラまたはスキャナなどでオートフォトファイン機能を使用して取り込んだ画像を印刷する場合、プリンタのオートフォトファイン!4は使用しないでください。**

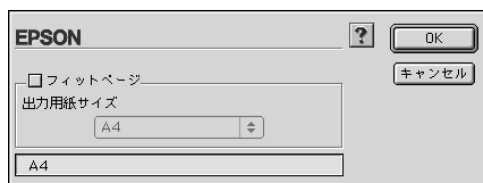
[詳細設定]選択時

プリセットのポップアップメニューと、［設定変更］ボタンが表示されます。

ポップアップメニューから次の設定を選択できます。

高精細　：1440×720dpiの解像度で印刷したいときに選択します。
ワープロ/グラフ　：ワープロなどで作成したカラーのデータを印刷する場合に選択します。
ColorSync　：ColorSyncを使用して、画面上の表示にもっとも近い色で印刷します。
本書「ColorSyncについて」99 ページ

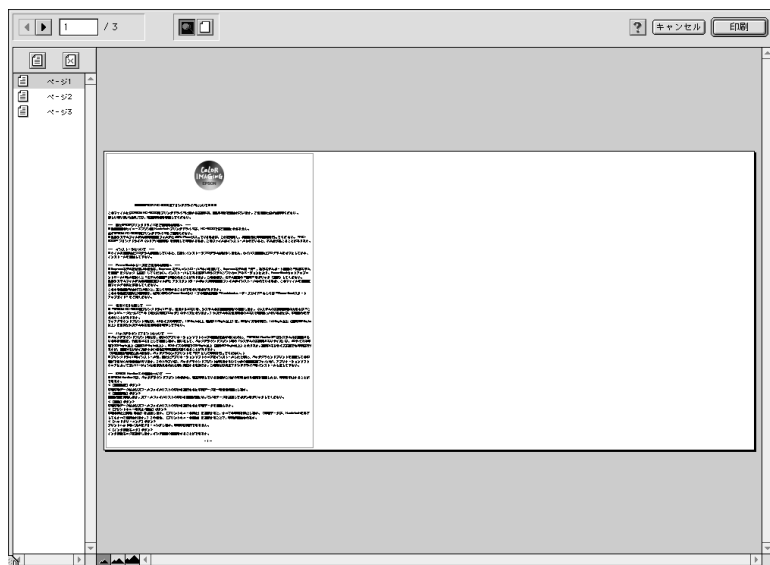
［設定変更］ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開き、高度な印刷設定を行うことができます。
本書「高度な印刷設定について」81 ページ

● [レイアウト設定]ダイアログ

［印刷］ダイアログで をクリックすると［レイアウト設定］ダイアログが開きます。

［フィットページ］をクリックしてチェックを付け、［出力用紙サイズ］でプリンタにセットした用紙の用紙サイズを選択すると、自動的に倍率を設定し印刷します。

- **[用紙設定]で[ロール紙長尺モード]選択時は、設定できません。**
- **拡大/縮小印刷をすると、カラーの色合いが元データに比べ変わることがあります。**

● [プレビュー]ダイアログ

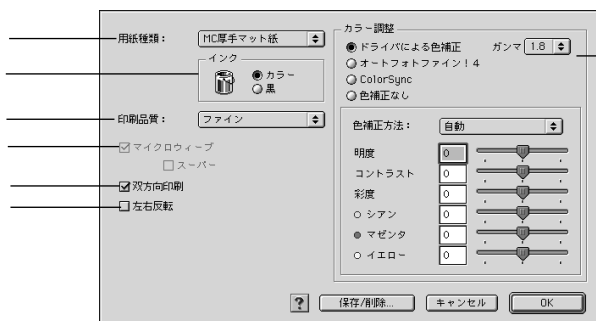
[印刷] ダイアログの を選択して印刷を実行すると、印刷イメージを表示する[プレビュー] ダイアログが開きます。

印刷 ： 設定した内容で印刷を開始するボタンです。
キャンセル ： 設定した内容を無効にして、印刷を中止するボタンです。
? ： ヘルプ情報を表示するボタンです。
： 表示するページを切り替えるボタンです。
： プレビュー表示の拡大/縮小を行います。縮小するときは [option] キーを押しながらクリックします。
： プレビュー画面上に、印刷可能領域を示す枠を表示するかしないかを切り替えます。
この枠の外側にある印刷内容は印刷されません。
： プレビュー画面左側のページ番号をクリックして選択し、本項目をクリックすると、そのページ番号に×が付きます。印刷を実行すると、そのページは印刷されなくなります。
： で×を付けたページをクリックして選択し、本項目をクリックすると、×が消え、印刷されるようになります。
： 印刷データ（1ページ単位）の全体を表示します。
： 印刷結果と同等のサイズで表示します。
： 印刷データを2倍に拡大して表示します。

高度な印刷設定について

ここでは、高度な印刷設定（詳細設定）の設定方法や設定項目について説明します。

Mac

● [詳細設定]ダイアログ

［印刷］ダイアログで［詳細設定］を選択して［設定変更］をクリックすると［詳細設定］ダイアログが開きます。ここでは、設定項目の詳細について説明します。

ポイント

ダイアログ内の各項目は、「用紙種類」「インク」「印刷品質」の組み合わせで選択できる項目が変わります。設定を変更できない項目は、薄いグレーで表示されます。

①用紙種類

印刷する用紙の種類を、ポップアップメニューの中から選択します。

②インク

インクの種類を［カラー］と［黒］からを選択します。［黒］を選択すると、モノクロ印刷になります。

③印刷品質

印刷の品質を、ポップアップメニューの中から選択します。

ドラフト	：	インク消費量をセーブしながら高速に印刷します。レイアウト確認などの試し印刷に向いています。
ファイン	：	360dpiの解像度で印刷します。印刷スピード、品質、ランニングコストのバランスが良い印刷です。
スーパーファイン	：	720dpiの解像度で印刷します。印刷時間は少しかかりますが、高品質な印刷結果が得られます。
フォト	：	1440dpiの解像度で印刷します。印刷むらのない写真品質の印刷結果が得られます。

④マイクロウィーブ

行ごとのムラを少なくする機能です。

スーパー	：	用紙種類で「普通紙」を選択した場合に、よりきれいに印刷したいときにこのチェックボックスをチェックします。

⑤双方向印刷

プリントヘッドが左右どちらに移動するときでも印刷するので、高速に印刷できます。ただし、印刷品質が多少低下する場合があります。

⑥左右反転

左右を反転させて印刷する場合は、このチェックボックスをチェックします。

⑦カラー調整

カラー調整の方法を選択します。
[ドライバによる色補正]、[オートフォトファイン!4] を選択した場合、画面の下部で、細かい設定を行います。

ドライバによる色補正　：画面下部にポップアップメニューとスライドバーが表示され、色補正に関する設定が行えます。
本書「[ドライバによる色補正] を選択した場合」82 ページ

オートフォトファイン!4　：エプソン独自の画像補正技術オートフォトファイン!4を使用し、印刷データ内の画像を高画質化して印刷します。
画面下部にオートフォトファイン!4の設定項目が表示され、色補正に関する設定が行えます。
本書「[オートフォトファイン!4] を選択した場合」84 ページ

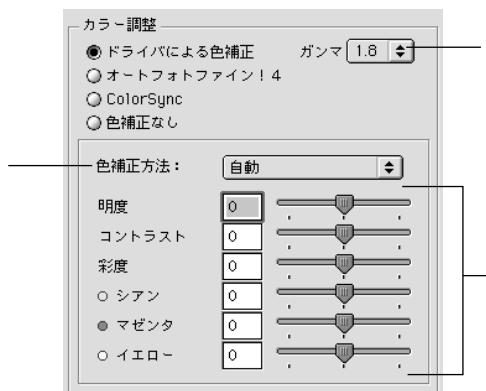
ColorSync　：ColorSyncによるカラーマッチングを行います。
本書「[ColorSync] を選択した場合」85 ページ

色補正なし　：ドライバでは色補正を行いません。ColorSync用プロファイル[*1]を作成する際の、基準色を印刷するときに選択します。通常は選択しないでください。

*1　プロファイル：
色補正データ。

[ドライバによる色補正]を選択した場合

[カラー調整] で [ドライバによる色補正] を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、各種の設定が行えるようになります。

①ガンマ

［ガンマ］は、画像の中間調部分の階調についての入力値と出力値の関係を表すときに使用する単位です。［ガンマ］値を変更することで、画像の暗い部分（シャドウ）や明るい部分（ハイライト）に大きな影響を与えずに、その中間部分の明るさを調整することができます。

1.5　：ガンマ値1.8に比べ柔らかい感じの画像を印刷します。
1.8　：本製品での印刷に合った調整が行われます。
2.2　：sRGBに対応した機器とカラーマッチングをして印刷する場合に選択してください。

②色補正方法

自動　:文書内のオブジェクト[*1]に対して最適な色処理をします。通常はこの設定でご使用ください。
自然な色あい　:自然な発色状態になるように色処理をします。
あざやかな色あい　:彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする処理をします。

*1　オブジェクト：
色補正を行う際に対象となるもの。写真たグラフ、文書などの個々の要素を指す。

③各スライドバー

明度　：画像全体の明るさを調整します。標準を0として、－25～＋25%の間で、マイナス（－）方向には暗く、プラス（＋）方向には明るくなります。全体的に暗い画像や明るい画像に対して有効です。
コントラスト　：画像の明暗比を調整します。標準を0として、－25～＋25%の間で調整します。コントラストを上げると、明るい部分はより明るく、暗い部分はより暗くなります。逆にコントラストを落とすと、画像の明暗の差が少なくなります。
彩度　：画像の彩度（色のあざやかさ）を調整します。標準を0として、－25～＋25%の間で調整します。彩度を上げると、色味が強くなります。彩度を落とすと、色味がなくなり、無彩色化されてグレーに近くなります。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。
シアン/マゼンタ/イエロー　：それぞれの強さを調整します。標準を0として、－25～＋25%の間で調整します。［インク］で［黒］を選択した場合は調整できません。

	<－>◀――― 0	―――▶<＋>
シアン	赤みを強くします。	青緑(シアン)を強くします。
マゼンタ	緑色を強くします。	赤紫(マゼンタ)を強くします。
イエロー	青色を強くします。	黄色(イエロー)を強くします。

[オートフォトファイン!4]を選択した場合

［カラー調整］で［オートフォトファイン!4］を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、各種の設定が行えるようになります。

①色調

色調補正なし　：色調の補正を行いません。
標準　　　　　：標準的な色調に補正して印刷します。
硬調　　　　　：メリハリのある色調に補正して印刷します。
あざやか　　　：彩度を上げ、あざやかな色調に補正して印刷します。
セピア　　　　：印刷データの色を、セピア調の色調になるよう調整して印刷します。
モノクロ　　　：印刷データの色を、白黒になるよう調整して印刷します。

②効果

効果なし　　　　：効果を加えずに印刷します。
シャープネス　　：画像の輪郭を強調して印刷します。
ソフトフォーカス：ソフトフォーカスレンズを使って撮影した写真と同様になる補正をして印刷します。
キャンバス　　　：キャンバス地（布地）に描いたような効果を加えて印刷します。
和紙　　　　　　：和紙に描いたような効果を加えて印刷します。

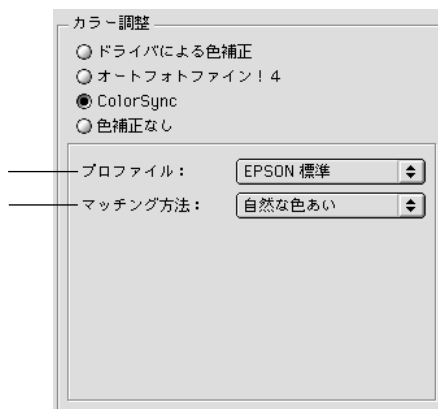
③デジタルカメラ用補正

チェックすると、デジタルカメラで撮影した写真データに最適な補正をして印刷します。

- **オートフォトファイン!4は1677万色(24bit)の色情報を持った画像データに対してもっとも有効に機能します。256色などの少ない色情報の画像データには有効に機能しません。アプリケーションソフトなどで色数を増やしてから印刷してください。**
- **エプソン製デジタルカメラまたはスキャナなどでオートフォトファイン機能を使用して取り込んだ画像を印刷する場合、プリンタドライバのオートフォトファイン!4は使用しないでください。**

Mac

[ColorSync]を選択した場合

［カラー調整］で［ColorSync］を選択すると、画面下部の表示が次のようになり、「プロファイル」と「マッチング方法」が選択できます。

①プロファイル

通常は、［EPSON標準］を選択してください。

EPSON標準　：本機からの印刷用に最適化されたプロファイルです。

その他　：通常は選択することはできません。アプリケーションソフトなどによってはプロファイルが添付されているものがあり、それらをインストールした場合にのみ、選択可能となります。
通常の印刷では、［EPSON標準］以外を選択する必要はありません。

②マッチング方法

自然な色あい　：自然な発色状態になるように処理をします。写真などの印刷に適しています。

あざやかな色あい　：画面の彩度（あざやかさ）を上げ、色味を強くする色処理を行います。グラフや図表などの印刷に適しています。

特定色マッチ　：特定色（例えばコーポレートカラーなど）を印刷する際に選択します。それぞれの特定色、できる限り正しく印刷されるような色処理を行います。

［ColorSync］の設定は、カラー印刷の場合のみ選択できます。
本書「ColorSyncについて」99 ページ

● ユーザー設定の登録方法

ここでは、［詳細設定］ダイアログでの設定を登録する方法、また、以前に登録した設定を削除する方法を説明します。

1 ［詳細設定］ダイアログで各項目を設定し、［保存/削除］ボタンをクリックします。

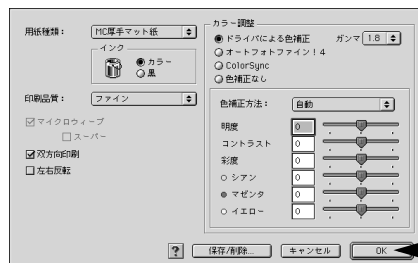
各項目の内容は以下のページを参照するか、? ボタンをクリックします。

本書「［詳細設定］ダイアログ」81 ページ

2 ［ユーザー設定名］に任意の名称を入力し、［登録］ボタンをクリックします。

これで［印刷］ダイアログのリストボックスに設定が加えられました。

- **最大10個の設定を保存できます。**
- **設定を削除する場合は､｢設定リスト｣から削除するリストをクリックして選択し､[削除]ボタンをクリックします。**
- **ここで保存した内容は､印刷ダイアログで[詳細設定]を指定したときに､ポップアップメニューから呼び出すことができるようになります。**

3 ［OK］ボタンをクリックします。

クリックします

EPSONプリンタウィンドウ

EPSONプリンタウィンドウとは、プリンタの状態を確認して、エラーメッセージやインク残量などを画面上に表示するユーティリティです。

エラーメッセージ（プリンタのエラー）は、EPSONプリンタウィンドウの画面を開いていなくても、エラーが発生すると自動的に画面上に表示されます。インク残量を確認するとき以外は、プリンタウィンドウの画面を開いている必要はありません。

● インク残量を確認するには

インク残量を確認するために、3通りの方法で［インク残量］モニタを開くことができます。

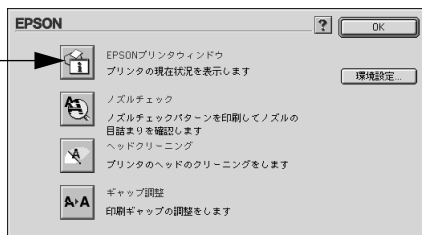
［方法1］

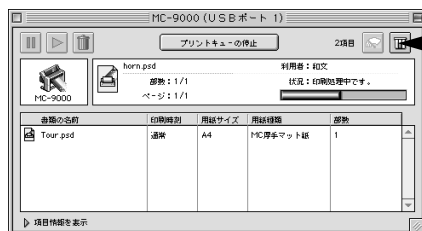
［印刷］ダイアログを開いてボタンをクリックします。

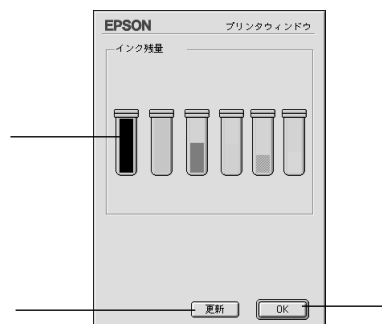
クリックします

［方法2］

［印刷］ダイアログまたは［用紙設定］ダイアログの ボタンをクリックして［ユーティリティ］ダイアログを開きます。［ユーティリティ］ダイアログの アイコンをクリックします。

クリックします

［方法3］

バックグラウンドプリントを［入］に設定してあると、印刷実行時に［EPSON Monitor3］が起動します。［EPSON Monitor3］のボタンをクリックします。

クリックします

インク残量モニタ

①インク残量

インクカートリッジのインク残量の目安を表示します。

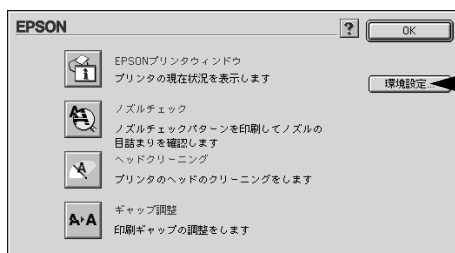
②[更新]

最新のプリンタの状態を取得して画面を更新します。

③[OK]

EPSONプリンタウィンドウを終了します。

● モニタの設定

EPSONプリンタウィンドウのモニタ機能を設定します。エラーの通知方法や、印刷実行前に確認する項目などを設定することができます。
モニタの設定を行うために、[環境設定] ダイアログを開きます。
[ユーティリティ] ダイアログを開いて、[環境設定] ボタンをクリックします。

[環境設定] ダイアログ

①エラー通知

プリンタで発生したエラーの通知方法を選択します。

②警告通知

警告の通知方法を選択します。

③スプールファイル保存フォルダ

印刷データを一時的に保存しておくためのフォルダを変更する場合は [選択] ボタンをクリックしてください。

④コピー印刷ファイル保存フォルダ

同じ印刷データを複数枚印刷する際に、一時的に印刷データを保存しておくためのフォルダを変更する場合は、[選択] ボタンをクリックしてください。

⑤印刷データをハードディスクに保存した後、プリンタへ送信する

印刷データを一旦ハードディスクに保存してから、プリンタに送信します。同じデータを複数部印刷する場合に印刷速度が向上することがあります。また、動作の遅いMacintoshでご使用いただくと、印字中一時的にプリントヘッドが停止するようなことが回避され、印字品質の低下を防ぐことができます。

⑥印刷前にエラーを確認する

印刷を実行する前に、プリンタでエラーが発生していないかどうかを確認する場合は、チェックしてください。

⑦印刷前にインクニアエンドを確認する

印刷を実行する前に、インク残量が少ないかどうか確認する場合は、チェックしてください。

⑧[初期状態に戻す]

設定値を初期の状態に戻します。

⑨[OK]

環境設定を保存して終了します。

ユーティリティの使い方

Macintoshプリンタドライバのユーティリティでは、プリンタの状態を確認したりメンテナンス用の「ノズルチェックパターン印刷」、「ヘッドクリーニング」、「ギャップ調整」などの機能を実行できます。

Mac

● ノズルチェックパターン印刷

ノズルチェックパターン印刷とは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間があく場合は、ヘッドクリーニングをしてください。

ポイント

ノズルチェックパターン印刷は、プリンタの操作パネルからも行えます。
☞本書「ノズルチェックパターン印刷」148 ページ

1 プリンタに用紙をセットします。

2 ［印刷］ダイアログで 　ボタンをクリックします。
［ユーティリティ］ダイアログが開きます。

3 ［ノズルチェック］ボタンをクリックします。

4 ［実行］ボタンをクリックします。
ノズルチェックパターンが印刷されます。

5 **印刷されたノズルチェックパターンの線がかすれたり消えたりしていないかを確認して、問題がない場合は［終了］ボタンを、問題があった場合は［クリーニング］ボタンをクリックします。**

ノズルチェックパターン印刷直後に、印刷またはクリーニングを行う場合は、ノズルチェックパターン印刷が完全に終了していることを確認してから実行してください。

● ヘッドクリーニング

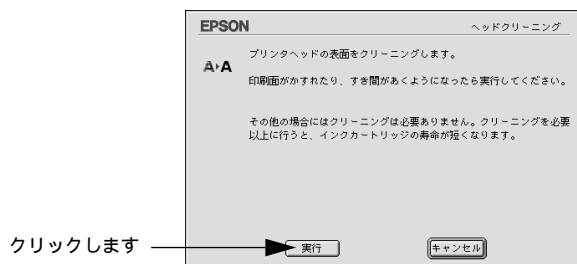
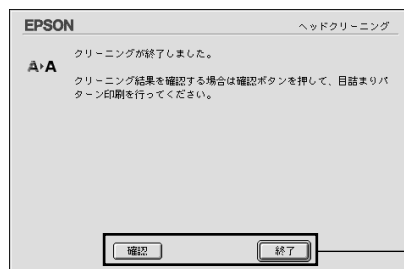
Mac

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間があくようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

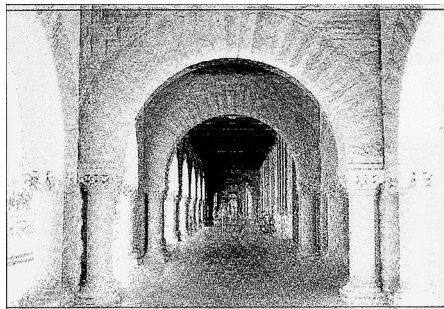
- **ヘッドクリーニングはすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。**
- **厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。パネルメッセージに従って用紙を取り除き、用紙セットレバーを下げると自動的にクリーニングを開始します。**
- **ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。**
- **ヘッドクリーニングは、インクエンドランプが点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。**
  ☞ 本書「インクカートリッジの交換」136 ページ
- **ヘッドクリーニングは、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。**
  ☞ 本書「ヘッドクリーニング」150 ページ

1 **［印刷］ダイアログで ボタンをクリックします。**
［ユーティリティ］ダイアログが開きます。

2 **［ヘッドクリーニング］ボタンをクリックします。**

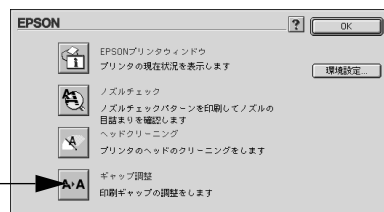
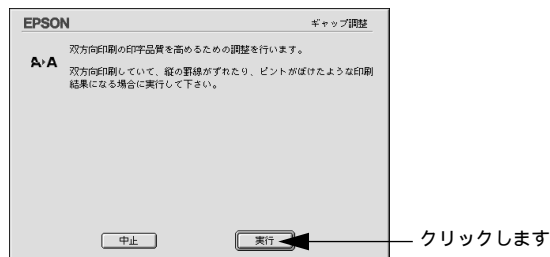
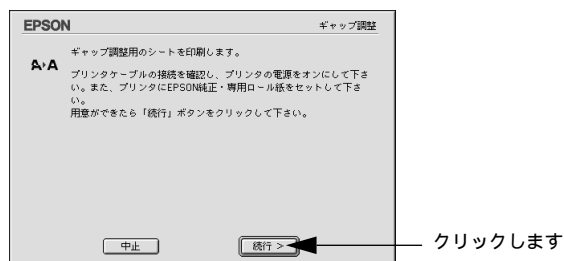
3 **［実行］ボタンをクリックします。**
プリンタの印刷可ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1 分間続きます。
電源ランプの点滅が点灯に変わったら、ヘッドクリーニングは終了です。

4 **［確認］ボタンをクリックし、印刷結果を確認します。終了する場合は、［終了］ボタンをクリックします。**
本書「ノズルチェックパターン印刷」92 ページ

● ギャップ調整

双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。

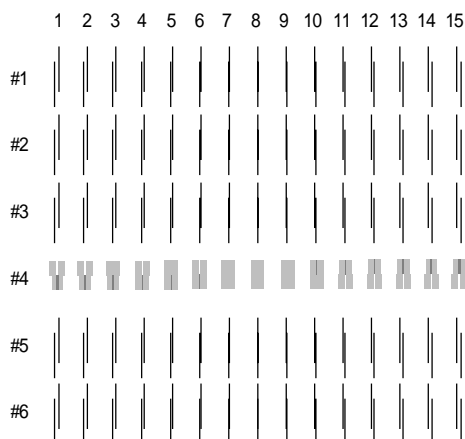
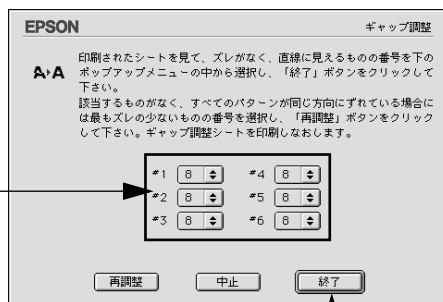
印刷結果がピントがぼけたようになる

- **ギャップ調整は必ず44インチ幅のMC厚手マット紙ロールをセットして作業を行ってください。**
- **すべての調整パターン印刷には約7分かかります。ロール紙を約50cm使用します。**
- **ギャップ調整は、プリンタの操作パネルからの操作でも行えます。**
  ☞ 本書「ギャップ調整」151ページ

1 **プリンタにMC厚手マット紙ロールをセットし、［用紙選択］スイッチを押して［ロール紙自動カット］を選択します。**

2 **［印刷］ダイアログで ボタンをクリックします。**
［ユーティリティ］ダイアログが開きます。

3 **［ギャップ調整］ボタンをクリックします。**

4 **［実行］ボタンをクリックします。**

5 **［続行>］ボタンをクリックします。**
ギャップ調整用のシートが印刷されます。

6 **印刷されたシートの中から、＃1〜＃6の各パターンごとにズレの少ない直線に見える番号あるいは中央の線がめだたない長方形の番号（1〜15）を探します。**
＜印刷例＞
このようなパターンが用紙幅いっぱいに 6個印刷されます。調整は用紙の中心にある 3番目または 4 番目のパターンを使って行います。

7 各パターンごとにリストの中からもっともズレの少ない番号を選択します。

ポイント

すべての直線がズレていたり、すべての長方形に中央の線がめだつような場合は、もっともズレの少ない番号を選択して[再調整]ボタンをクリックして6へ戻ります。

8 [終了] ボタンをクリックすると、ギャップ調整は終了です。

ColorSyncについて

本機のプリンタドライバはColorSyncに対応しています。

● ColorSyncとは

スキャナ、ディスプレイ、プリンタの色の表現は、それぞれのメーカー・モデルごとに異なるため、原画とディスプレイ表示、および印刷結果の色を一致させることは非常に困難でした。
例えば、ディスプレイには赤っぽく表示するディスプレイもあれば、逆に青っぽく表示するディスプレイもあります。これに対してプリンタは、ディスプレイの表示色に合わせて印刷しているわけではないのでディスプレイ上に表示される色と、プリンタから印刷される色との間で食い違いが生じてしまうわけです。
これに対応して、機器間のカラーマッチング（色合わせ）を行い、原画とディスプレイ表示、および印刷結果を一致させるための方法の一つがColorSyncと呼ばれるものです。

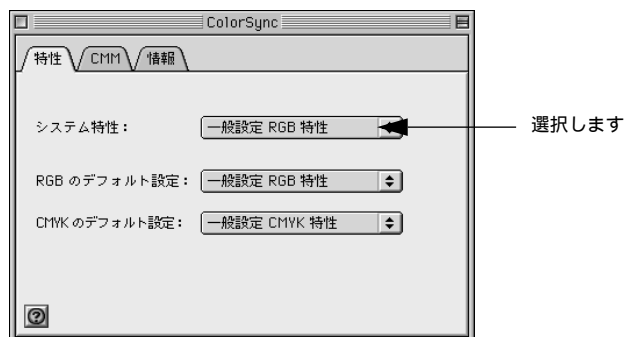
原画と印刷結果の色合わせを行うためには、画像入力機器・画像取り込みアプリケーションソフトがColorSyncに対応している必要があります。スキャナなどから画像を取り込む際にColorSyncの指定ができる場合は、指定してください。

● ColorSyncを使用するときの準備作業

ColorSyncを使用する場合は、以下の手順により、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。
以下はバージョン2.6.1のColorSyncを使用した場合の例です。バージョンによっては操作が異なります。

コントロールパネル内の［ColorSync］アイコンをダブルクリックします。

Mac

2 **ご使用のディスプレイタイプが選択されているかを確認します。選択されていない場合は、［システム特性］のポップアップメニューから選択します。**

ディスプレイタイプがポップアップメニューの中にない場合は、最適なシステム特性について、ディスプレイメーカーへお問い合わせください。

以上で準備作業は終了です。

実際に ColorSync のカラーマッチングを使用して印刷をする場合は、プリンタドライバの［詳細設定］ダイアログで［ColorSync］を選択して印刷を実行してください。

本書「［詳細設定］ダイアログ」81 ページ

ポイント

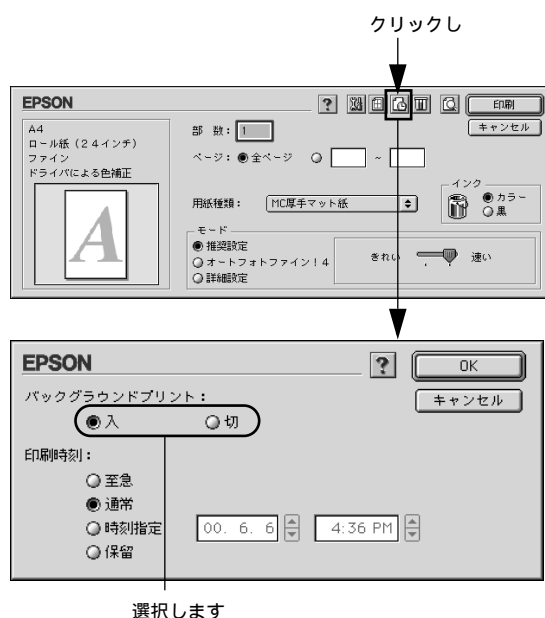
- **ColorSync を使用して色合わせを行う場合は、RGB の画像データを使用してください。CMYK、Labなどのデータでは、正しく色合わせを行うことができません。**
- **ColorSync を使用して印刷したにもかかわらず、ディスプレイ上の色合いと印刷結果が異なる場合は、ディスプレイ調整（モニタキャリブレーション）が正しく行われていないか、ディスプレイの経年変化（劣化）により、色表示にズレが生じています。このような場合は、印刷した結果に合わせるようにディスプレイの調整（モニタキャリブレーション）を行ってください。**
- **一部のアプリケーションソフトウェアでは、ソフトウェア上でColorSyncの設定が行えます（Adobe PageMaker6.5J、Photoshop4.0J以降、Illustrator7.0J以降など）。ソフトウェア上でColorSyncの設定を行う場合は、プリンタドライバでは［ColorSync］を選択せず、［色補正なし］を指定してください。**

バックグラウンドプリントについて

本機のプリンタドライバは印刷時にEPSON Monitor3を経由することで、印刷作業をバックグラウンドで行い、Macintoshをほかの作業に使えるようにします。

● バックグラウンドプリントを使用するには

バックグラウンドプリントの設定は、セレクタで［バックグラウンドプリント］を［入］にします。

また［印刷］ダイアログからも、バックグラウンドプリントの設定をすることができます。

ポイント

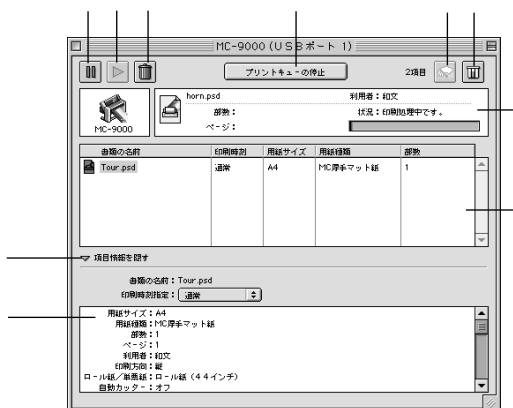
バックグラウンドプリントを行う場合、Macintoshによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷に時間がかかる場合があります。

● EPSON Monitor3の機能

Mac

EPSON Monitor3は、バックグラウンドプリントのほかに、現在印刷している書類やこれから印刷される書類を確認したり、印刷を中止することができます。
EPSON Monitor3は、印刷中に画面右上のアプリケーションメニューから「EPSON Monitor3」を選択すると、ウインドウが前面に表示されます。

印刷していないときは、機能拡張フォルダにある［EPSON Monitor3］アイコンをダブルクリックすることで開くことができます。

① ボタン

印刷中の書類、または印刷待ちの書類を保留状態にします。

② ボタン

保留状態を解除します。

③ ボタン

印刷中の書類、または印刷待ちの書類を削除します。

④プリントキューの開始/停止

すべての印刷を停止します（印刷データは、Macintoshを終了してもすべて保持されます)。この場合、［プリントキューの開始］を選択することで、印刷が開始されます。

⑤ ボタン

プリントヘッドのノズルをクリーニングします。印刷中は実行することはできません。

⑥ ボタン

インク残量モニタを表示します。インク残量の確認をすることができます。

⑦状態表示部

印刷中の書類の名称や進行状況などを表示します。

⑧スプールファイルリスト

印刷待ちの書類を表示します。

⑨項目情報を隠す/表示

項目情報（画面下部の表示）の表示/非表示を切り替えます。

⑩項目情報

状態表示部またはスプールファイルリストから選択した書類の名称やプリンタドライバの設定状況などを表示します。[印刷時刻指定] では、[至急] [通常] [保留] [印刷時刻指定] を選択でき、印刷の順番を指定することができます。

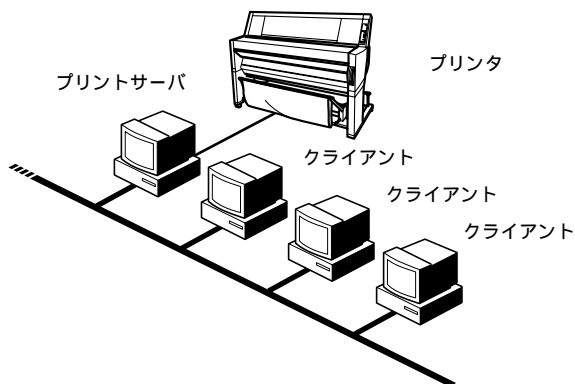
至急　　　　：プリントキュー[*1]内の他の印刷データより優先して印刷します。
通常　　　　：プリントキューに記憶された順番に印刷します。
印刷時刻指定：印刷を実行する日時を指定することができます。
保留　　　　：印刷データをプリントキューに記憶された状態のままにして、印刷しません。

*1 プリントキュー：印刷データを一時的に記憶しておくソフトウェア。

Mac

Macintoshでのプリンタの共有

ネットワーク環境でプリンタを共有する方法について説明します。

ネットワーク環境が整っている場合は、本機をネットワークプリンタ（共有プリンタ）としてお使いいただくことができます。このように、インターフェイスカードやネットワークサーバを使用することなくプリンタを共有する接続形態を「ピアトゥピア接続」と呼びます。

ポイント

以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築され、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にある場合です。

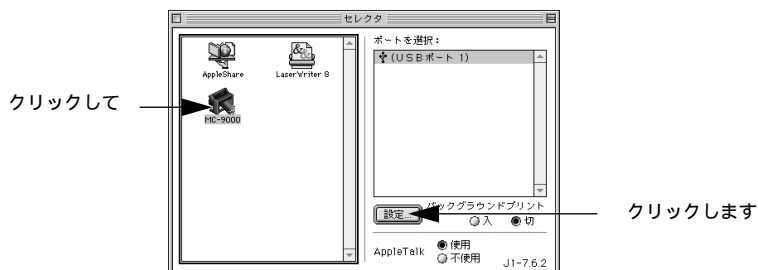
● プリントサーバ側の設定

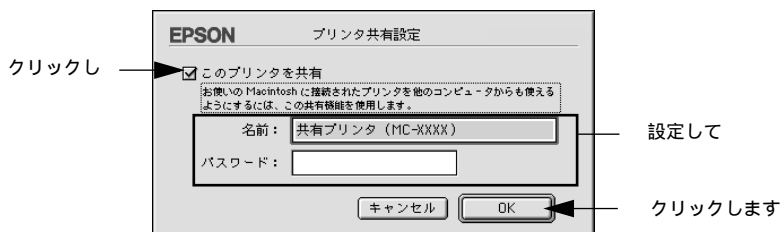
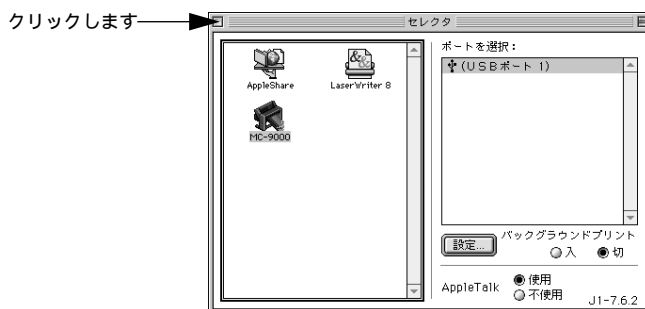
ピアトゥピア接続では、共有するプリンタを接続するコンピュータがサーバの役割をします。ここでは、そのコンピュータをプリントサーバと呼びます。

1. **画面左上のアップルメニューから［セレクタ］をクリックして選択します。**
2. **［MC-9000］アイコンをクリックしてから［設定］ボタンをクリックします。**

ポイント

［AppleTalk］の設定が［使用］になっていることを確認してください。

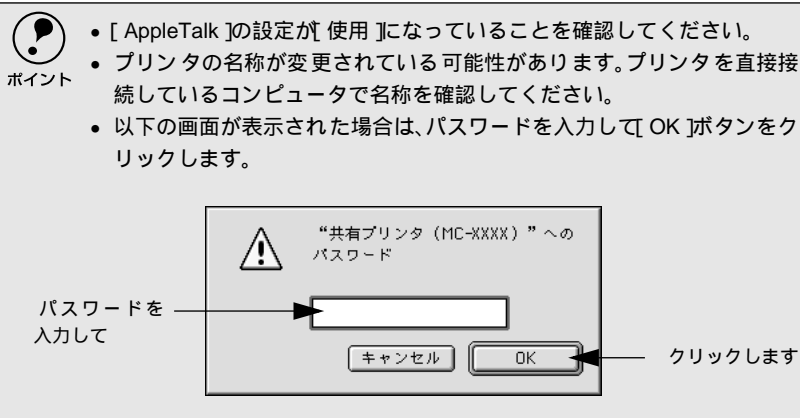
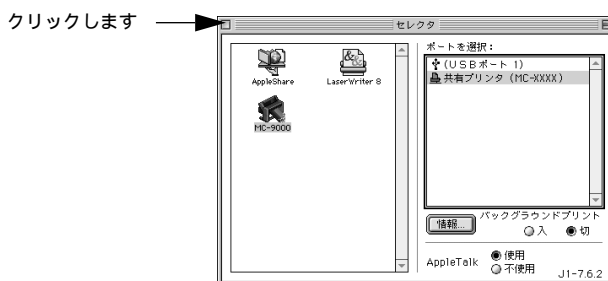
Mac

3 [このプリンタを共有]のチェックボックスをクリックして、[OK]ボタンをクリックします。

共有名は、ネットワーク上で表示される名称です。パスワードを入力すると、ほかのコンピュータから共有プリンタに接続する際にパスワードの入力が必要になります。

4 画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

● クライアント側の設定

1 画面左上のアップルメニューから[セレクタ]をクリックして選択します。

2 ［MC-9000］アイコンをクリックして、[ポートを選択]の一覧に表示された共有プリンタの名前をクリックして選択します。

ポイント

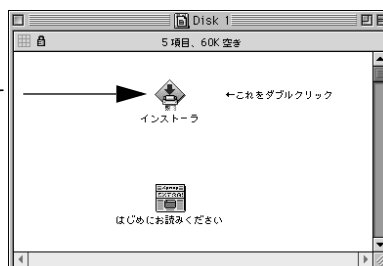
- [AppleTalk]の設定が[使用]になっていることを確認してください。
- プリンタの名称が変更されている可能性があります。プリンタを直接接続しているコンピュータで名称を確認してください。
- 以下の画面が表示された場合は、パスワードを入力して[OK]ボタンをクリックします。

3 画面左上のクローズボックスをクリックして画面を閉じると設定は終了です。

セレクタで[情報]ボタンをクリックすると、プリンタを接続しているMacintosh にはインストールされているフォントのうち、お使いのMacintoshにインストールされていないフォントが表示されます。
印刷するデータによってはフォントが置き換わり、レイアウトなど見た目が変わることがあります。解消するためには、置き換わってしまったフォントをご利用のコンピュータにインストールする必要があります。

プリンタドライバの削除

プリンタドライバのバージョンアップや再インストールを行う場合は、まずインストールされているドライバを削除（アンインストール）してください。

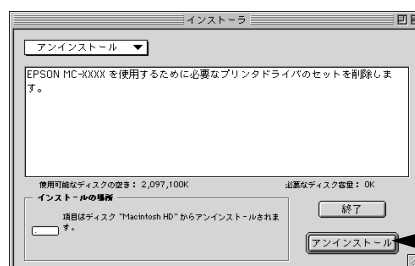
Mac

1. **Macintoshを起動し、「EPSONプリンタソフトウェアCD-ROM」をセットします。**

2. **［プリンタドライバのインストール］フォルダをダブルクリックし、［インストーラ］アイコンをダブルクリックします。**
インストーラが起動します。

3. **開始画面で［続ける］ボタンをクリックします。**

4. **ポップアップメニューから［アンインストール］を選択します。**

5. **［アンインストール］ボタンをクリックします。**
プリンタドライバの削除が実行されます。

3

用紙について

ここでは、本機で印刷できる用紙の詳細と印刷手順について説明しています。

使用可能な用紙

本機には、プリンタ性能を十分に発揮させるために専用紙が用意されています。

専用紙を使用すれば従来のエプソンプリンタの高画質に加え、プロフェッショナル、業務用途でも利用していただける優れた耐光性を持った印刷を行うことができます。
専用紙には質感の異なった用紙をいくつか用意しており、目的に合わせて選択していただくことができます。

通常、写真やポスターなどの印刷物は照明（光源）の違いなどによって、色の見え方が異なります。本機で印刷した結果につきましても、光源の種類によって色が異なって見える場合がありますのでご注意ください。光源には太陽光、蛍光灯、白熱灯などの種類があります。

● 用紙の種類

用紙の種類と品質は印刷の仕上がりに大きく影響します。ご使用の前に用紙の取扱説明書をお読みいただき、正しい取り扱いをしてください。

- **高品質な印刷結果を得るためには、専用紙を使用する必要があります。普通紙は試し印刷やレイアウト確認などの用途で使用してください。**
- **用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷を行い、印刷の状態を確認してください。**
- **しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのある用紙は使用しないでください。**

エプソン純正専用紙

種別	用紙名称	用紙の特長
普通紙系	普通紙ロール	試し印刷やレイアウト確認などで使用する用紙です。
光沢紙系	MC光沢紙ロール MC光沢紙（単票紙）	写真データの印刷に適した厚手の光沢紙です。 色の再現性が高くカラー校正用紙として使用可能です。 屋内展示物の印刷に適しています。
	MC写真用紙ロール＜光沢＞	ポスターや写真などの印刷に適した薄手の光沢紙です。印刷面が滑らかなためラミネート加工にも適しています。 屋内展示物の印刷に適しています。
	MC写真用紙ロール＜半光沢＞	もっとも写真の風合い（質感）に近い薄手の微光沢紙です。 写真データやポスターなどの印刷に最適です。ラミネート加工には適していません。 屋内展示物の印刷に適しています。
マット紙系	MC厚手マット紙ロール	経済的な一般用途向けの厚手の非光沢紙です。 写真データ、ポスター、グラフィックなどの印刷に適しています。ラミネート加工にも適しています。屋内展示物の印刷に適しています。
フィルム系	光沢フィルムロール	光沢感のあるフィルムです。 屋外展示物の印刷にも適しています。 ただし、ラミネート加工して使用することをお勧めします。

種別	用紙名称	用紙の特長
ファインアート紙系	MC画材用紙ロール MC画材用紙(単票紙)	写真とは異なる質感を持った画材用紙です。新しいアートの世界を表現することができます。 屋内展示物の印刷に適しています。
バナー系	MCマット合成紙ロール	ポスター、バナー(垂れ幕)などの用途に適した非光沢な合成紙(フィルム)です。 屋外展示物として使用可能です。ただし、切れやすいため風の強い場所での使用には適しません。
	MCマット合成紙ロール<のり付>	MCマット合成紙ののり付きタイプです。 扱い易い再剥離可能なのりです。また下地が透けないように加工されています。

ポイント

- **MC マット合成紙ロール、MC マット合成紙ロール<のり付>はハイテンションスピンドル(オプション)にセットして使用することをお勧めします。製品に同梱されているロール紙スピンドルを使用すると連続印刷時に用紙にしわが発生する場合があります。詳しい内容についてはロール紙の取扱説明書をご覧ください。**
- **MC 画材用紙ロールはオプションのハイテンションスピンドル(3 インチ紙管)にセットして使用してください。**

一般の用紙

エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合やラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の、用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはRIPの製造元にお問い合わせください。

● 取り扱い上のご注意

用紙を取り扱う際には、以下の点に注意してください。

- 専用紙は一般室温環境下(温度15〜25℃、湿度40〜60%)でお使いください。
- 用紙を折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- 用紙の印刷面には触れないでください。手に付いた水分や油が、印刷品質に影響します。
- ロール紙は、用紙の端を持って取り扱ってください。または綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- 個装箱や個装袋は、用紙の保管時に使用しますのでなくさないでください。

● 保管時のご注意

用紙を保管する際は、以下の点に注意してください。

- 高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後の単票紙は、袋に戻して水平な状態で保管してください。
- 使用しないロール紙は、スピンドルから取り外し、きちんと巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。
  長期間プリンタにセットしたまま放置すると、用紙品質が低下するおそれがあります。
- 用紙を濡らさないでください。

印刷した用紙を保存する場合は、色合いを保つために、高温、多湿、直射日光を避けて、暗所に保存することをお勧めします。

● 用紙ごとの設定

使用する用紙とプリンタドライバの設定を合わせないと高品質な印刷結果は得られません。用紙ごとの設定項目を示します。

用紙名称	自動カット	プリンタドライバの［用紙種類］
普通紙ロール	可能	普通紙
MC光沢紙ロール	可能	MC光沢紙
MC光沢紙	-	
MC写真用紙ロール＜光沢＞	可能	MC写真用紙＜光沢＞
MC写真用紙ロール＜半光沢＞	可能	MC写真用紙＜半光沢＞
MC厚手マット紙ロール	可能	MC厚手マット紙
光沢フィルムロール	可能	光沢フィルム
MC画材用紙ロール	可能	MC画材用紙
MC画材用紙	-	
MCマッ合成紙ロール	可能	MCマット合成紙
MCマット合成紙ロール＜のり付＞	可能	MCマット合成紙（のり付き）

自動カット：用紙によっては本機の内蔵カッターではカットできないものがあります。このような用紙を使用する場合には、必ずプリンタドライバの［自動カッター］の設定をオフにしてください。印刷終了後にカッターなどでカットしてください。添付の手動カッターはクロス紙のみカットすることができます。

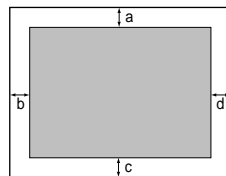
用紙種類　：使用する用紙と、プリンタドライバの［用紙種類］の設置を合わせないと高品質な印刷結果は得られません。用紙ごとに選択する［用紙種類］を示します。

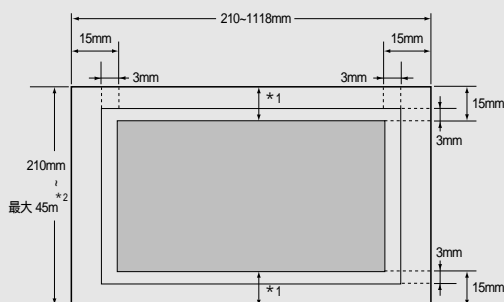
印刷可能領域

本機で印刷できる領域は以下の通りです。

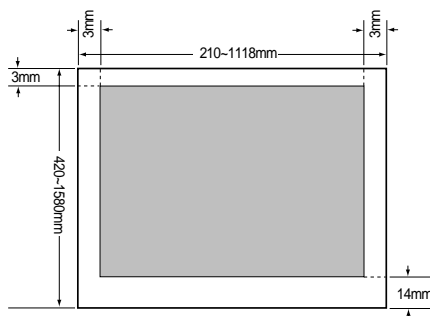
ロール紙

ロール紙の余白は、パネル設定の［ロールシヨハク］の設定値により、異なります。

定値	設定内容	
タテ15mm（初期値）	a=15mm/30mm	
	b=3mm	
	c=15mm	
	d=3mm	
3mm	a, b, c, d=3mm	
15mm	a=15mm/30mm, b, c, d=15mm	

*MC厚手マット紙ロール使用時の用紙先端側の余白（a）は30mmになります。

余白を3mmに設定しても15mmに設定しても、印刷可能領域のサイズは変わりません。余白15mmの設定をすると、余白3mmに設定した場合に比べ、1辺につき12mmずつ余白が広く確保されますので、用紙サイズが大きくなります。ただし、余白15mmの設定で用紙幅いっぱいの印刷や自動回転をした場合は（44インチ幅のロール紙にB0ノビサイズの印刷をする場合など）、印刷領域からはみ出した用紙右端のデータが印刷されなくなりますので、注意してください。

***1プリンタドライバの［ロール紙/単票紙］で［ロール紙 長尺モード］の設定をした場合は、用紙上下の余白が0mmとなります。**

***2プリンタドライバは2300mm（WindowsNT4.0/2000の場合は15000mm）まで対応しています。それ以上の印刷をする場合は［ロール紙 長尺モード］を選択してください（ただし、長尺モードに対応したアプリケーションソフトか2300mm（WindowsNT4.0/2000の場合は15000mm）を超える用紙サイズをサポートしたRIPを使用した場合に有効）。**

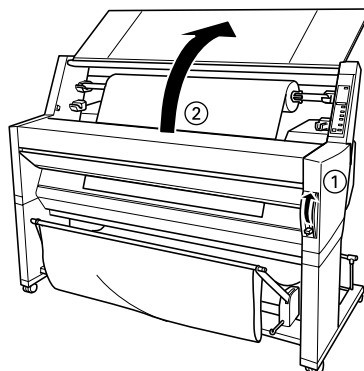
単票紙

ロール紙の使い方

● ロール紙の交換

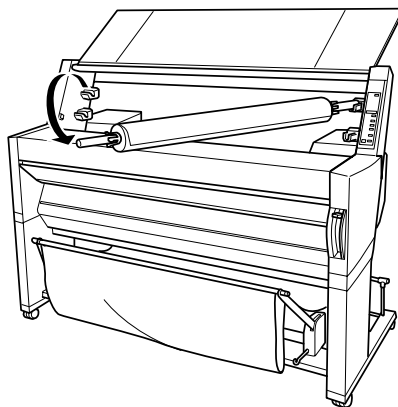
ここでは、ロール紙の取り外し手順と取り付け手順について紙管2インチのロール紙を例に説明します。

紙管3インチのロール紙も同じ手順で取り外しと取り付けができます。この場合は別売の3インチ紙管のロール紙スピンドル（オプション）が必要です。3インチのロール紙は2インチに比べ重いので注意して両端の用紙ストッパを持ってください。

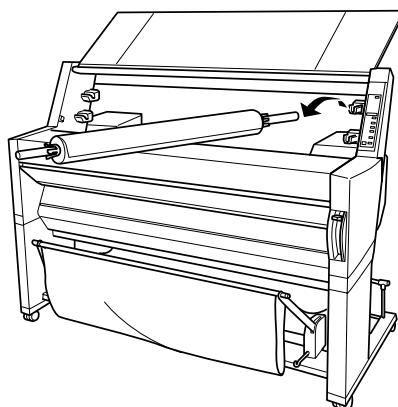
ロール紙の種類によってはハイテンションスピンドル（オプション）を使用しないと正常に印刷できないものがあります。ハイテンションスピンドルを使用する必要があるかについてはロール紙の取扱説明書をご覧ください。また指定のロール紙以外で使用すると印刷品質に影響したり、プリンタが故障する原因になります。

1 用紙セットレバーを上げてから、用紙カバーを開けます。

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

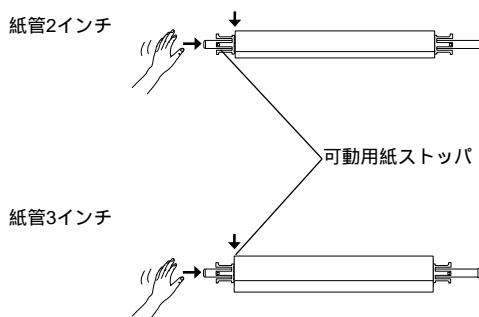
2 ロール紙を巻き戻します。

3 スピンドルの可動用紙ストッパ側をスピンドル受けから外します。

ポイント

紙管3インチのロール紙を持ち上げるときは、両端の用紙ストッパを持ってください。

4 スピンドルの固定用紙ストッパ側をスピンドル受けから外します。

5 スピンドルを水平な場所に置きます。

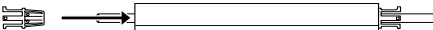
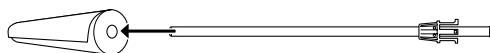
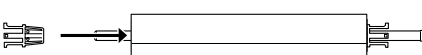
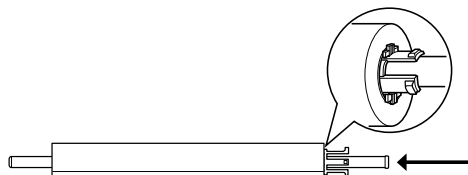
6 **可動用紙ストッパのフランジ部分を押さえ、スピンドルを図のように軽くたたいて可動用紙ストッパを外します。**

スピンドルを軽くたたくとロール紙が動いて可動用紙ストッパがスピンドルから外れます。

ロール紙を取り外す際に、スピンドルの左端(可動用紙ストッパ側)を床に強く突き当てないでください。スピンドル左端部が衝撃によって破壊するおそれがあります。

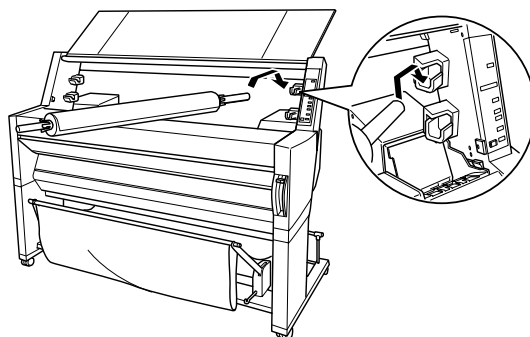
ロール紙の芯だけが残ったような状態で外す場合は、芯を押さえてスピンドルをたたいてください。

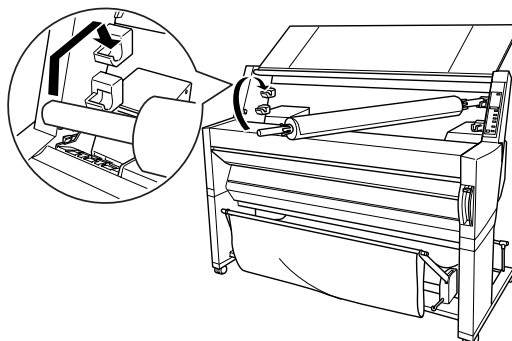
7 **ロール紙からスピンドルを外します。**

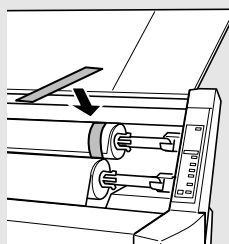
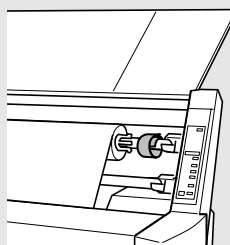
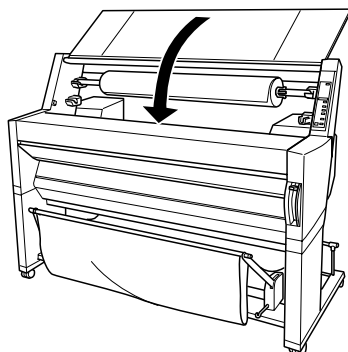
- **取り外したロール紙は、きちんと巻き直してから購入時に梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。専用の個装箱にはロール紙の種類(名称)が記載されておりますので、中に保管してあるロール紙の判別がしやすく便利です。**
- **ロール紙をセットしない場合は、可動用紙ストッパをスピンドルに取り付け、スピンドルをプリンタにセットして、用紙カバーを閉じてください。**

8 **スピンドルにロール紙をセットします。**

①ロール紙を机の上など平らな場所に置き、固定用紙ストッパ方向から見て左巻きになるようにロール紙をセットします。

②固定用紙ストッパの右端にロール紙の芯が突き当たるまで押し込みます。

9 **可動用紙ストッパを取り付けます。**

ロール紙の芯にしっかり固定されるまで押し込みます。

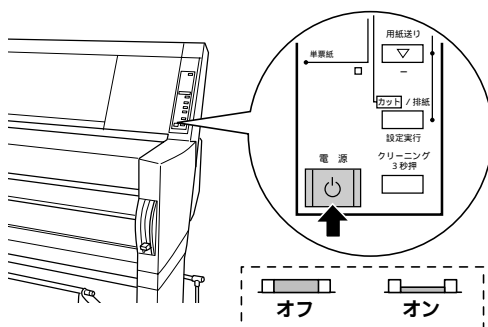
10 **固定用紙ストッパ側を右側にして持ち、プリンタ右側のスピンドル受けにセットします。**

左右のスピンドル受けの色とスピンドル端部の色を合わせてセットしてください。セット方向を間違えると正常な給紙ができません。

11 可動用紙ストッパ側をプリンタ左側のスピンドル受けにセットします。

ポイント

- 本機やオプションのロール紙スピンドルに同梱されているロール紙固定ベルトは、プリンタにセットされた未使用のロール紙の巻きほぐれを防止するためのベルトです。ロール紙を2本取り付けた場合に、未使用のロール紙に固定ベルトをしておくと、巻きほぐれによる事故を防止できます。
  ベルトの端をロール紙に当てて、ロール紙を回しながら巻き付けます。必要に応じてお使いください。

- 固定ベルトの未使用時には、スピンドルの端に巻き付けておくことにより紛失を防止することができます。

⑫ 用紙カバーを閉じます。
カバーが固定されるまでしっかり閉じてください。

次にロール紙のセット方法を説明します。ロール紙をプリンタにセットする場合は、続けてお読みください。

● ロール紙のセット方法

ここでは、ロール紙のセット方法について説明します。
ロール紙の交換・取り付け方法については以下のページを参照してください。
☞ 本書「ロール紙の交換」114 ページ
紙受け用バスケットをお使いになる場合は、排紙する方向に応じて紙受け用バスケットをセットしてください。
☞ 本書「紙受け用バスケットの使い方」133 ページ

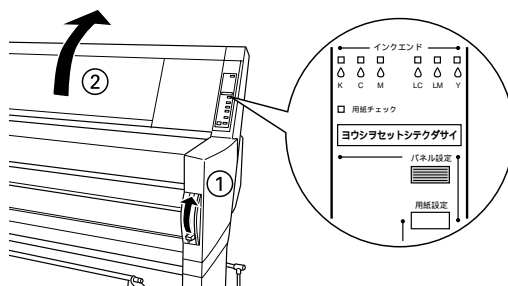
① プリンタの電源をオンにします。
電源ランプが点灯します。

2 操作パネルの［用紙選択］スイッチを押して、［ロール紙自動カット］または［ロール紙カッター OFF］のどちらかを選択します。

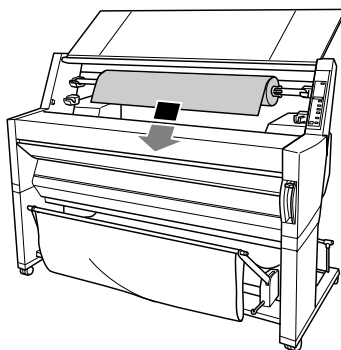
ロール紙自動カット　：1 ページごとにロール紙をカットしながら印刷します。
ロール紙カッター OFF：カットせずに連続して印刷します。

注意

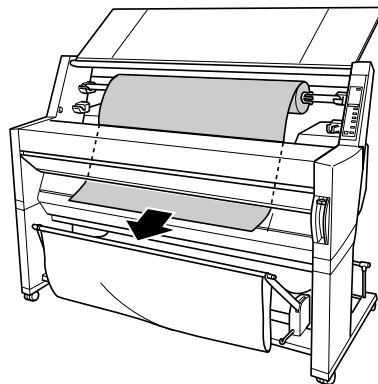
ロール紙の種類によっては、本機の内蔵カッターではカットできないものもあります。ロール紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ（RIP）の製造元にお問い合わせください。このような用紙については、必ず[ロール紙カッターOFF]の設定にしてください。印刷終了後、カッターなどでカットしてください。

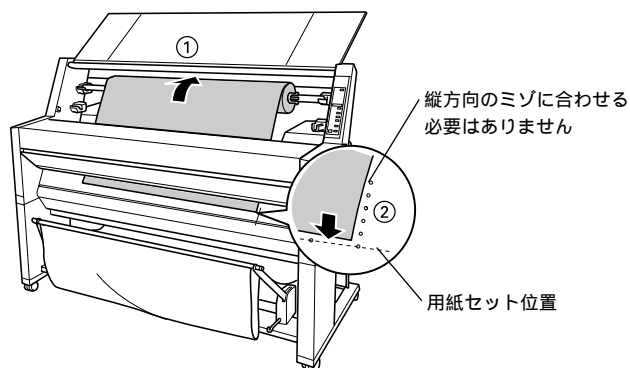
3 用紙セットレバーを上げて、用紙カバーを開けます。

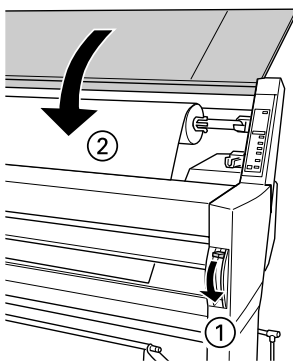
注意

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

4 ロール紙を給紙スロットにセットします。

ポイント

ロール紙端に巻き乱れがある場合は、直してからセットしてください。

5 **フロントカバーの下方からロール紙を引き出します。**

6 **用紙先端を押さえながら、スピンドルを持ってロール紙を少し巻き戻し、用紙のたわみを取り除いてから（①）、ロール紙の先端を用紙セット位置に合わせます（②）。**

用紙の中央を持ち、左右均等の張りを持つようにセットします。

ロール紙の先端が用紙セット位置より長すぎたり短すぎると用紙を巻き上げきれずにエラーとなります。ロール紙先端の用紙セット位置から2cm以内の引き出し量で用紙をセットしてください。カッターガイドには合わせないでください。

7 用紙セットレバーを下に降ろしてから（①）、用紙カバーを閉じます（②）。
「[インサツカ］スイッチヲオシテクダサイ」と表示されます。

［印刷可］スイッチを押すか、そのまましばらく放置すると以下の動作を行います。

ロール紙自動カット　：自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を巻き上げて待機します。パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

ロール紙カッター OFF ：用紙幅のチェックを行い、パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

- **上記の動作を行った後、[ロール紙自動カット]に設定している場合は、[カット/排紙]スイッチで、用紙カット位置でロール紙先端を切り揃えることができます。ロール紙の先端に汚れや折れなどがある場合は、[カット/排紙]スイッチを押して、先端部をきれいに切り揃えてください。**
- **印刷時にプリンタドライバで[用紙種類]、[給紙方法]、[用紙サイズ]を設定してください。**
  Windows：本書「基本設定」17 ページ
  本書「用紙設定」27 ページ
  Macintosh：本書「[用紙設定]ダイアログ」72 ページ
- **印刷途中でロール紙が終わってしまった場合は、一旦印刷をキャンセルしてください。操作パネルの[リセット]スイッチを押してリセット操作を行った後で、再度印刷を実行することをお勧めします。**

● ロール紙のカット

[ロール紙自動カット]、[ロール紙カッターOFF]の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。[用紙設定]スイッチで[ロール紙カッターOFF]が設定されていてもプリンタドライバの[自動カッター]の設定がチェックされていると、印刷後ロール紙は自動的にカットされます。

Windows：本書「用紙設定」27 ページ
Macintosh：本書「[用紙設定] ダイアログ」72 ページ

[ロール紙自動カット]選択時の場合

印刷前に［用紙選択］スイッチで［ロール紙自動カット］を選択すると、1ページ印刷するごとに自動的にカットされます。

[ロール紙カッターOFF]選択時に内蔵カッターでカットする場合

印刷前に［用紙選択］スイッチで［ロール紙カッター OFF］を選択すると、ロール紙は自動的にはカットされません。次の方法で任意の場所でカットすることができます。

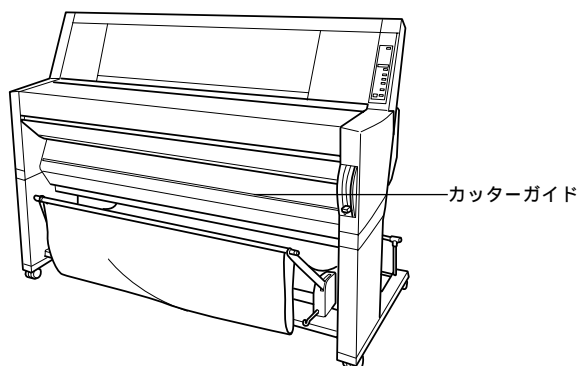
1. **印刷終了後、［用紙送り］スイッチを押して、カットしたい位置まで用紙を送ります。**
   ［用紙選択］スイッチを押さない場合は、最終ページの用紙終端位置でカットされます。

2. **［用紙選択］スイッチで［ロール紙自動カット］に設定します。**

3. **［カット/排紙］スイッチを押します。**
   ロール紙がカットされます。

[ロール紙カッターOFF]選択時にカッターなどでカットする場合

1. **印刷終了後［カット/排紙］スイッチを押します。**
用紙が自動的にカッターガイドの位置まで紙送りされます。パネルに「ポーズ」と表示されます。

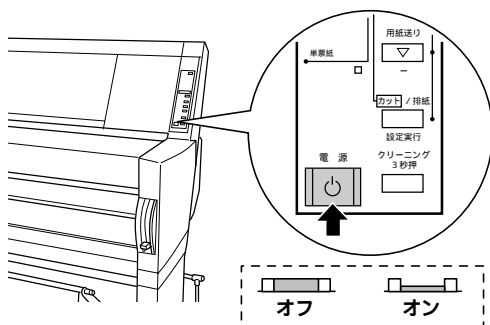
2. **市販のカッターなどでロール紙をカットします。**
同梱の手動カッターはクロス紙をカットするために使用します。カッターガイドの溝に沿って使用してください。

3. **［印刷可］スイッチを押します。**
印刷開始位置までロール紙が戻ります。

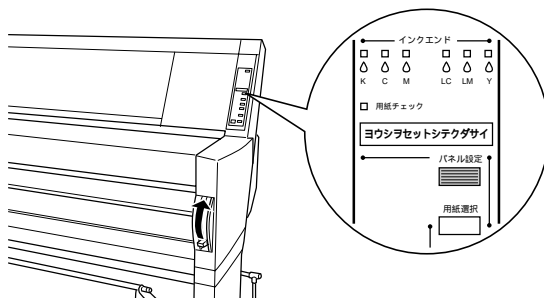
単票紙の使い方

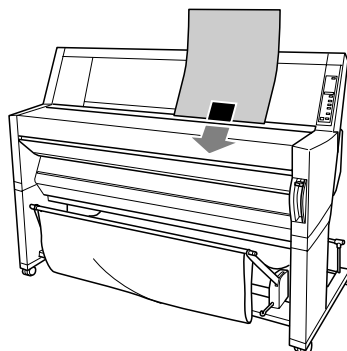
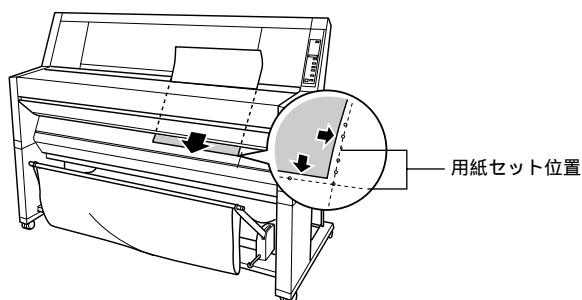
ここでは、単票紙のセット方法について説明します。単票紙と厚紙とで手順が異なります。
紙受け用バスケットをお使いになる場合は、排紙する方向に応じて紙受け用バスケットをセットしてください。
☞ 本書「紙受け用バスケットの使い方」133 ページ

ロール紙がセットされている場合は、ロール紙を巻き戻しておいてから単票紙をセットしてください。

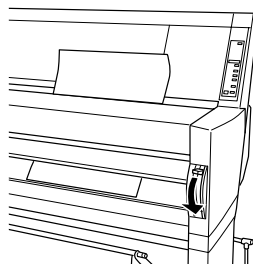
● 単票紙（A3ノビ483mmを超えるサイズ）のセット方法

1 プリンタの電源をオンにします。

2 操作パネルの［用紙選択］スイッチを押して［単票紙］を選択します。

3 用紙セットレバーを上げます。
用紙チェックランプが点灯し、パネルに「ヨウシヲセットシテクダサイ」と表示されていることを確認してから、用紙セットレバーを操作してください。

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

4 **用紙を給紙スロットにセットします。**

5 **用紙の先端と右端を用紙セット位置に合わせます。**

> ポイント
> **用紙の先端が用紙セット位置より長すぎたり短すぎるとエラーになります。用紙セット位置から2cm以内の引き出し量で用紙をセットしてください。**

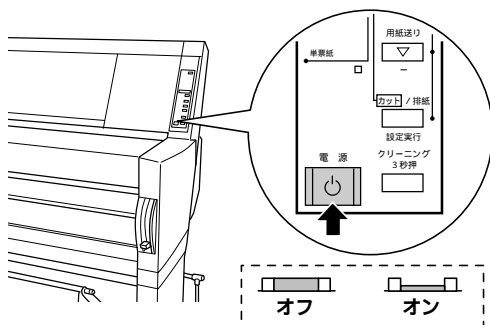
6 **用紙セットレバーを下に降ろします。**

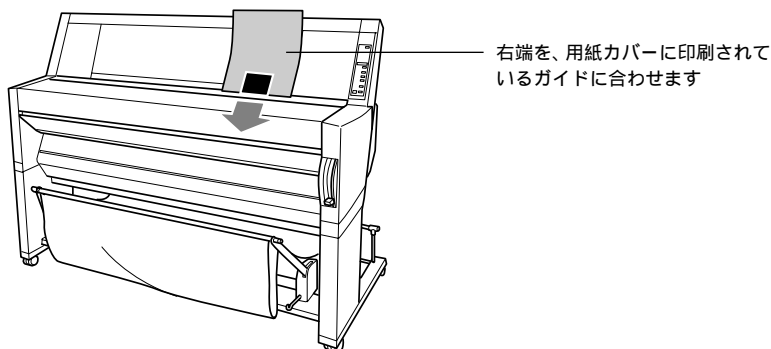
「[インサツカ] スイッチヲオシテクダサイ」と表示されます。

［印刷可］スイッチを押すか、そのまましばらく放置すると、自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を移動させて待機します。パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

ポイント

印刷時にプリンタドライバで[用紙種類]、[給紙方法]、[用紙サイズ]を設定してください。
☞Windows：本書「基本設定」17 ページ
本書「用紙設定」27 ページ
☞Macintosh：本書「[用紙設定]ダイアログ」72 ページ

● 単票紙(A3ノビ483mm以下)のセット方法

1 プリンタの電源をオンにします。

2 操作パネルの［用紙選択］スイッチを押して［単票紙］を選択します。

3 用紙を給紙スロットにセットします。
用紙の右端を用紙カバーに印刷されているガイドに合わせて、先端が突き当たるまで差し込みます。

ポイント

A3ノビ483mm以下の単票紙は、用紙セットレバーを下に降ろした状態で差し込んでください。

4 ［印刷可］スイッチ（または［▼］スイッチ）を押します。
自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を移動させて待機します。パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

印刷時にプリンタドライバで［用紙種類］、［給紙方法］、［用紙サイズ］を設定してください。
☞Windows：本書「基本設定」17 ページ
本書「用紙設定」27 ページ
☞Macintosh：本書「［用紙設定］ダイアログ」72 ページ

● 厚紙のセット方法

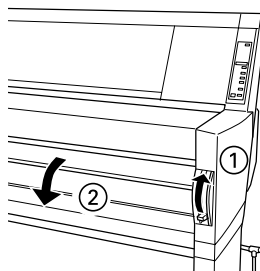
ここでは厚紙（用紙厚0.5mm以上）のセット方法について説明します。

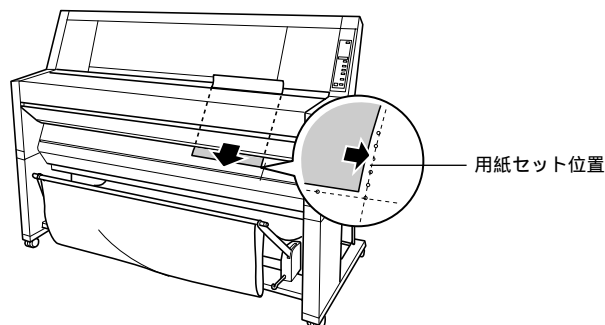
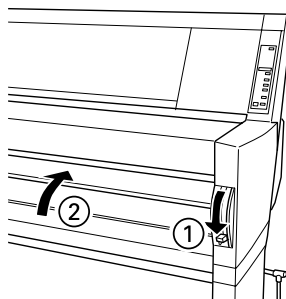
- セット可能な厚紙の用紙長はB1横サイズまでです。
- 用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ（RIP）の製造元にお問い合わせください。

1. **紙受け用バスケットを前方排紙の位置にセットします。**
☞ 本書「紙受け用バスケットの使い方」133 ページ

2. **プリンタの電源をオンにします。**

3. **［用紙選択］スイッチで［単票紙］を選択します。**

4. **用紙セットレバーを上げてから、フロントカバーを開けます。**

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、用紙セットレバーを操作しないでください。

5 **用紙を給紙スロットにセットします。用紙の右端を用紙セット位置に合わせ、用紙の先端がフロントカバーに沿うようにセットします。**

6 **用紙セットレバーを下げてから、フロントカバーを閉じます。**
「インサツカスイッチヲオシテクダサイ」と表示されます。

［印刷可］スイッチを押すか、そのまましばらく放置すると、自動的にプリントヘッドが動いて、用紙幅と用紙先端のチェックを行い、印刷開始位置まで用紙を移動させて待機します。パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

ポイント

印刷時にプリンタドライバで［用紙種類］、［給紙方法］、［用紙サイズ］を設定してください。
Windows：本書「基本設定」17 ページ
本書「用紙設定」27 ページ
Macintosh：本書「［用紙設定］ダイアログ」72 ページ

注 意

- **エプソン純正以外の用紙に印刷する場合は、以下のページを参照してユーザー用紙設定を行ってから印刷をしてください。**
本書「ユーザー用紙設定の方法」131 ページ
- **印刷手順については、用紙の取扱説明書や用紙の購入先または ラスターイメージプロセッサ（RIP）の製造元にお問い合わせください。**

● 排紙方法

印刷が終了した用紙（単票紙または厚紙）は、ローラで保持されています。以下の手順で排紙をしてください。

1. **操作パネルに「ヨウシナシ」と表示されていることを確認します。**
2. **［排紙］スイッチ（または［▼］スイッチ）を押します。**
   保持されていた用紙が送り出されます。

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは、スイッチを操作しないでください。

送り出された用紙が下に落ちることがあります。落下の際に、用紙端に傷が付かないように受け取ることをお勧めします。

エプソン純正以外の用紙へ印刷する前に

エプソン純正用紙以外の用紙をお使いになる場合は、以下の手順でユーザー用紙設定を行ってから印刷をしてください。4種類まで登録することができます。

ユーザー用紙設定した用紙に印刷をしたときに、印刷のムラが発生する場合は、単方向で印刷をしてください。単方向印刷の設定は、プリンタドライバの［双方向印刷］のチェックを外します。
☞ Windows：本書「[手動設定］ダイアログ」21 ページ
☞ Macintosh：本書「[詳細設定］ダイアログ」81 ページ

● ユーザー用紙設定の方法

1 使用したい用紙をプリンタにセットし、[用紙選択] スイッチで用紙を選択します。

ロール紙の種類によっては自動カットできないものやカッターに損傷を与えるものがありますので、このような場合は[ロール紙カッターOFF]を選択してください。詳細は、各用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ（RIP)の製造元にお問い合わせください。

2 パネル設定モードの「ユーザーヨウシセッテイメニュー」に移行します。
［パネル設定］スイッチを 4 回押して「ユーザーヨウシセッテイメニュー」を表示させます。

3 登録する番号を選択します。
［設定項目］スイッチを押すと、パネルに「ヨウシバンゴウ = ヒョウジュン＊」と表示されます。
［＋］または［－］スイッチを押して番号を選択し、［設定実行］スイッチを押して登録番号を確定します。
最大 4 種類まで登録することができます。

4 用紙厚を検出するためのパターン印刷を行います。
①［設定項目］スイッチを 1 回押します。パネルに「ヨウシアツケンシュツパターン＝インサツ」と表示されます。
②［設定実行］スイッチを押します。パネルに「チョウセイパターンインサツチュウ」と表示され、パターンが印刷されます。

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17

印刷が終了するとパネルに「ヨウシアツバンゴウ =1」と表示されます。

5 印刷されたパターンを見て、もっともズレの少ないパターン番号を選択します。
①［＋］または［－］スイッチを押してもっともズレの少ない番号（1 ～ 17）を選択します。
②［設定実行］スイッチを押して番号を確定すると番号の後ろに＊（アスタリスク）マークが付きます。

6 必要に応じて乾燥時間を設定します。

乾燥時間に設定した時間が経過するまで、印刷したページをカットしないようにします。用紙によっては、乾燥しにくい場合があります。このような場合は乾燥時間を長めに設定してください。

用紙の特性については、用紙の取扱説明書や用紙の購入先にお問い合わせください。

用紙の乾燥時間の設定が不要の場合は、7 に進んでください。

①［設定項目］スイッチを 1 回押します。
パネルに「カンソウジカン =0 フン ＊」と表示されたことを確認してください。

②［＋］または［－］スイッチで乾燥時間（分単位）（0 フン～ 30 フン）を選択します。

③［設定実行］スイッチを押して乾燥時間を確定すると時間の後ろに＊（アスタリスク）マークが付きます。

7 必要に応じて吸着力を設定します。

通常は設定する必要はありません（「ヒョウジュン」のままにしてください）。薄い用紙で、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないときのみ「ヨワイ」にします。
ここで設定した吸着力の値は、ユーザー用紙設定すべてに適用されます。

①［設定項目］スイッチを 1 回押します。
パネルに「キュウチャクリョク = ヒョウジュン ＊」と表示されたことを確認してください。

②［＋］または［－］スイッチで「ヨワイ」を選択します。

③［設定実行］スイッチを押して設定を確定すると設定の後ろに＊（アスタリスク）マークが付きます。

8 ［パネル設定］スイッチを押して、設定モードを終了します。

以上でセットした用紙固有の情報が登録されました。セットした用紙に印刷する場合は、続いて印刷を実行してください。
別の用紙を使った後で登録した用紙に印刷をしたいときは、印刷を実行する前に、パネル設定モードの「ユーザーヨウシセッテイメニュー」の「ヨウシバンゴウ」で用紙番号（1 ～ 4）を選択してから印刷を実行してください。

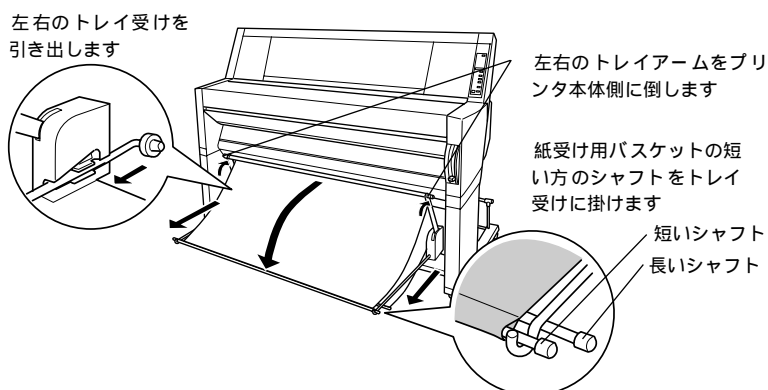
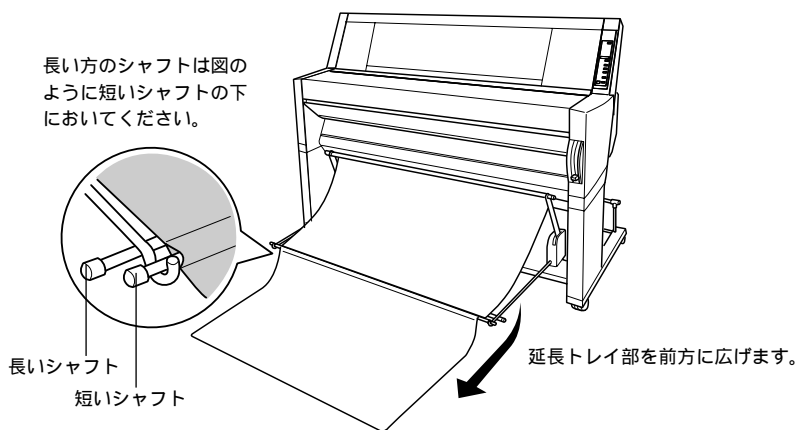
印刷手順については、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはラスターイメージプロセッサ（RIP）の製造元にお問い合わせください。

紙受け用バスケットの使い方

本体脚部についている紙受け用バスケットは、印刷された用紙の汚れや折れなどを防止し、スムーズに排紙されるように必要に応じてお使いください。

● 前方への排紙

プリンタ前方に排紙する場合は、以下のように紙受け用バスケットを手前に向けてセットしてください。

単票紙を排紙する場合など

前方に長く排紙したい場合

ポイント

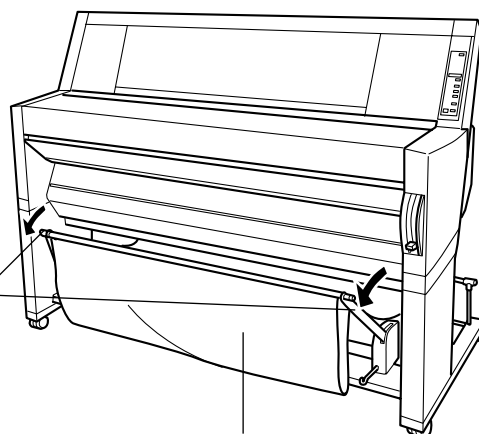
オプションの自動巻き取りユニット装着時でも上記の前方排紙ができます。

● 後方への排紙

プリンタ後方に排紙する場合は、以下のように紙受け用バスケットを後ろに向けてセットしてください。

ポイント

- **後方排紙ができるのはB1サイズまでです。B1サイズを超える長さの用紙は必ず前方排紙をしてください。**
- **用紙厚0.5mm以上の厚紙は、後方排紙できません。**

4

消耗品の交換

ここでは、インクカートリッジやカッターの交換方法について説明しています。

インクカートリッジの交換

インクカートリッジを交換する前に、インクカートリッジの使用上の注意を確認します。

● インクカートリッジの種類

本機で使用できるインクカートリッジの当社純正品は、下記の通りです。

インクカートリッジ(ブラック)	MC1BK02
インクカートリッジ(シアン)	MC1C02
インクカートリッジ(ライトシアン)	MC1LC02
インクカートリッジ(マゼンタ)	MC1M02
インクカートリッジ(ライトマゼンタ)	MC1LM02
インクカートリッジ(イエロー)	MC1Y02

ポイント

本製品に添付のプリンタドライバは、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。
純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるおそれがあります。

● 使用上のご注意

- インクカートリッジは、プリンタに装着後は良好な印刷品質を得るために6ヵ月以内に使い切ってください。
- インクカートリッジを寒い所から暖かい所に移した場合は、3時間以上室温に放置してから使用してください。
- インクカートリッジは、個装箱に印刷されている有効期限までに使用することをお勧めします。期限を過ぎたものをご使用になると印刷品質に影響を与える場合があります。
- インクカートリッジを分解しないでください。
- 一度取り付けたインクカートリッジは強く振らないでください。カートリッジからインクが漏れることがあります。
- インクが手などに付いてしまった場合は、時間がたつと落ちにくくなるので、すぐに石けんや水で洗い流してください。インクが目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。万一、異状がある場合は、直ちに医師にご相談ください。

ポイント

プリンタを輸送・移動する際には、インクカートリッジをプリンタから取り外し、インクの吸引処理を行ってください。
☞本書「プリンタの輸送・移動」156 ページ

● 保管上のご注意

- インクカートリッジは、冷暗所で保管してください。
- インクカートリッジは、子供の手の届かないところに保管してください。また、インクは飲まないでください。

● インク消費について

各色のインクは、印刷時以外に次の場合にも消費されます。

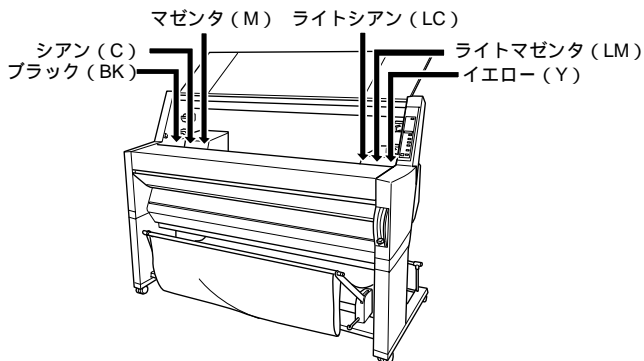
- 電源オンなどのセルフクリーニング[*1]時
- プリントヘッドのクリーニング操作時

*1　セルフクリーニング：プリントヘッドの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能

● インクカートリッジの交換

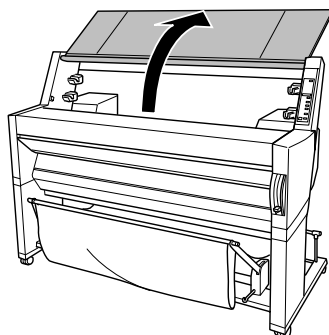
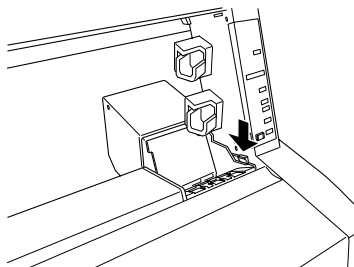
インクエンドランプの点滅は、インクが残り少ないことを示しています。インクがなくなるまで印刷できますが、早めに交換してください。6色のインクカートリッジのうち1色でもインクが終わると印刷ができなくなります。印刷の途中で、インクが終わってしまった場合は、インクエンドランプが点灯しているインクカートリッジを交換することにより、印刷を続行することができます。

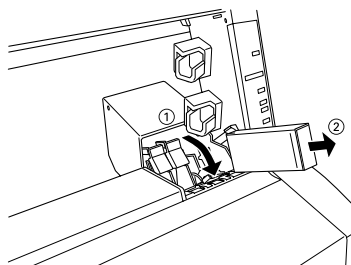
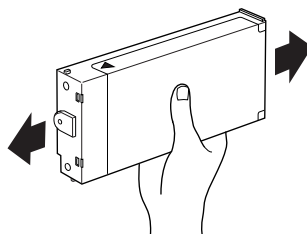
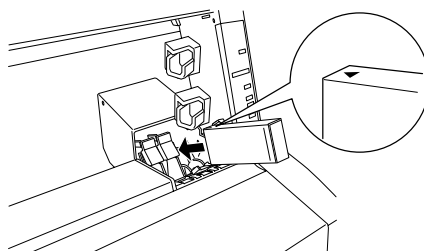
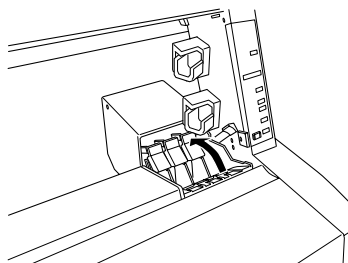
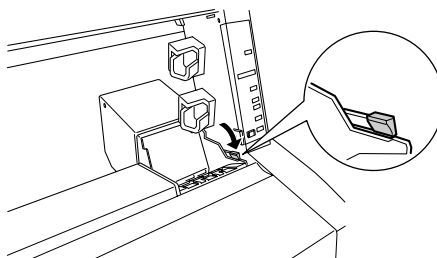
- **インクカートリッジは、6色すべてセットしてください。**
- **交換作業中は、プリンタの電源をオフにしたり、電源コードをコンセントから抜いたりしないでください。**
- **インクカートリッジのインクの補充は、絶対にしないでください。場合によって正常に作動・印刷ができなくなるおそれがあります。**
- **交換用のインクカートリッジがお手元にない場合は、交換するまで使い終わったインクカートリッジを装着したままにしておいてください。インクカートリッジを装着していない状態で放置するとヘッドが目詰まりする原因となります。**
- **使いかけのインクを再度取り付けたり、プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換しないでください。インク残量の検出が正しく行われず正常な印字ができなくなります。**
- **インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。間違った方法でインクカートリッジを交換するとインクエンドランプが消灯しなかったり、インク残量が正しく検知されないため、すぐにインクエンドランプが点灯するなどの問題が発生する場合があります。**

インクカートリッジは色によって装着するスロットが決まっています。スロット手前のマークの色とインクの色、記載されている型番（MC1＊02）とインクカートリッジの型番を合わせて取り付けてください。

インクカートリッジは誤挿入防止構造になっています。スロットにスムーズに挿入できない場合は、誤挿入の可能性があります。無理やり押し込んだりしないでください。

以降の説明は、イエローのインクカートリッジを交換する場合を例にしています。

1 プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

2 用紙カバーを開けます。

3 インクカートリッジを交換する側のインクカートリッジ収納ボックスを開けます。

4 カートリッジ固定レバーを手前に倒し、インクカートリッジを外します。

交換後のインクカートリッジは、インク供給部からインクが漏れることがあります。交換作業後、使用済みのインクカートリッジはビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

5 **新しいインクカートリッジを袋から出し、良好な印刷品質を得るために2、3回軽く振ります。**

6 **カートリッジスロットにインクカートリッジを挿入します。**
インクカートリッジの▲マークを上にして、プリンタ側に向けて挿入します。
インクカートリッジはスロットの奥までしっかり挿入してください。

7 **カートリッジ固定レバーを上げます。**

8 **インクカートリッジ収納ボックスを閉じます。**

9 **用紙カバーを閉じます。**
カバーが固定されるまでしっかり閉じてください。

以上でインクカートリッジ交換作業が終了しました。
印刷の途中でインクカートリッジを交換した場合は、印刷を続行します。

●インクカートリッジのリサイクルについて

弊社では環境保全活動の一環として、使用済みインクカートリッジの回収を行っております。このため「使用済みカートリッジ回収ポスト」を回収協力販売店とエプソン販売（株）の営業拠点に設置し、集まった使用済みカートリッジを定期的に回収して再資源化しております。使用済みカートリッジはぜひ最寄りの回収拠点までお持ちいただき、回収ポストに投函してくださいますようご協力をお願いいたします。

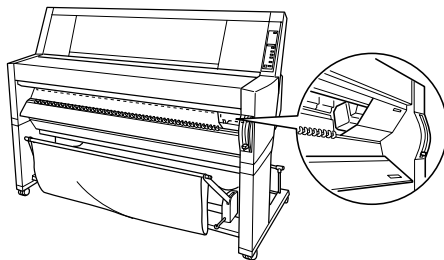
● プリントヘッドの保護

本プリンタには、プリントヘッドを常に良好な状態に保ち、最良の印刷品質を得るための「セルフクリーニング機能」と「キャッピング機能」があります。

セルフクリーニングとは、プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能で、プリンタの電源投入時（ウォーミングアップ時）などに定期的に行われます（6色すべてのインクを微量吸引して、ノズルの乾燥を防ぎます）。

キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために、自動的にプリントヘッドにキャップ(フタ)をする機能です。キャッピングは、次のタイミングで行われます。

- 印刷終了後(印刷データが途絶えて)、数秒経過したとき
- 印刷停止状態になったとき

プリントヘッドが図のように右端にあれば、キャッピングされています。

- キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因になります。プリンタを使用しないときは、プリントヘッドがキャッピングされていることを確認してください。
- 用紙が詰まったときやエラーが起こったときなど、キャッピングされていないまま電源をオフにした場合は、再度電源をオンにしてください。しばらくすると、自動的にキャッピングが行われますので、キャッピングを確認した後で電源をオフにしてください。
- プリントヘッドは絶対に手で動かさないでください。
- プリンタの電源がオンの状態で、電源コードをコンセントから抜かないでください。キャッピングされない場合があります。

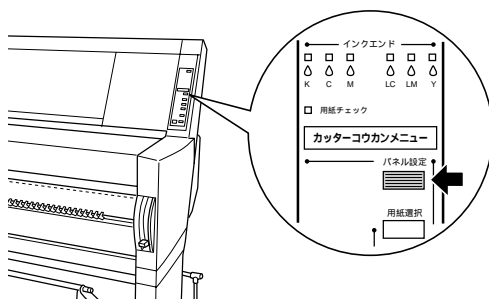
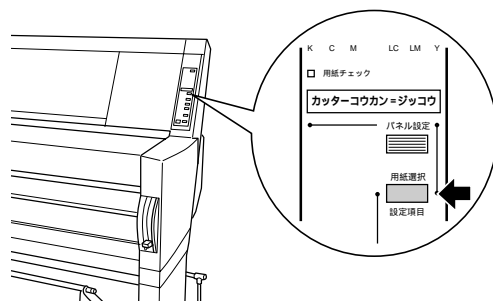
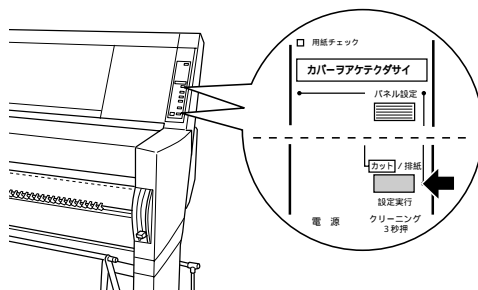
カッターの交換

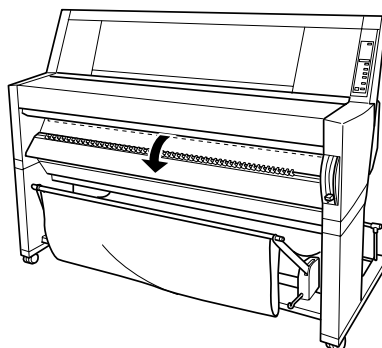
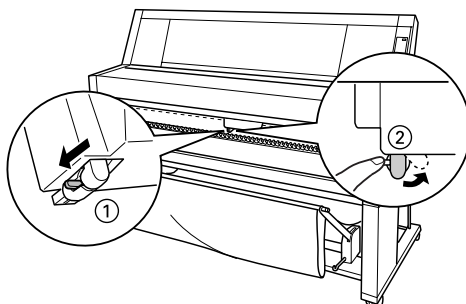
用紙がきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したら、カッターを交換してください。
本機で使用できるカッターの当社純正品は、以下の通りです。

ペーパーカッター替え刃	PM90SPB

- カッター交換作業は短時間で行ってください。プリントヘッドがカッター交換位置にあるままで放置すると、ヘッドが目詰まりする原因となります。
- カッター刃を傷付けないように取り扱ってください。落下や硬い物に当たると刃が欠けることがあります。

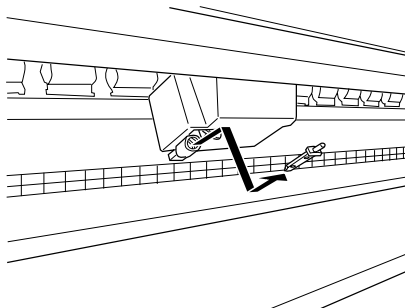
1. プリンタの電源がオンになっていることを確認します。

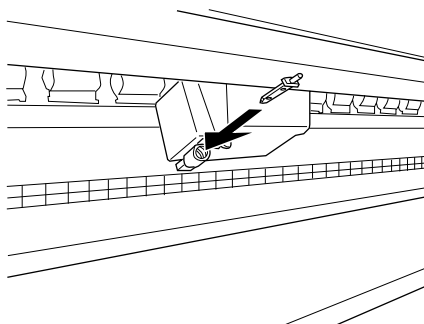
2. [パネル設定] スイッチを「カッターコウカンメニュー」と表示されるまで押し続けます。

3. [設定項目] スイッチを押し、パネルに「カッターコウカン=ジッコウ」と表示されたことを確認します。

4 **［設定実行］を押すと、「シバラクオマチクダサイ」と表示されたあとに「カバーヲアケテクダサイ」と表示されます。**

5 **フロントカバーを開けます。**

カッター交換位置までプリントヘッドが移動し､交換位置で停止しています。パネルに「カッターヲコウカンシテクダサイ」と表示されます。

6 **カッター押さえのツマミを軽く押しながら（①）、カッター押さえのレバーを図の方向に回転させます（②）。**

カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離すとカッターが飛び出すおそれがありますので注意してください。
また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがありますので、軽く押すようにしてください。

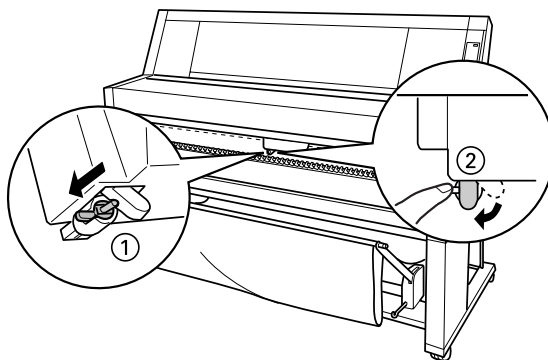
7 **カッターを取り出します。**

⚠注意

カッター取り扱い時には、カッターの刃でけがをしないように十分に注意してください。

使用済みのカッターは、ビニール袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

8 新しいカッターを箱から取り出し、カッターを図のように取り付けます。

ポイント

カッターホルダに組み込まれているバネを飛ばさないように取り付けてください。

9 カッター押さえのツマミを軽く押しながら（①)、カッター押さえのレバーを元の位置に戻します（②)。

注意

カッターホルダにはバネが組み込まれています。カッター押さえのツマミを強く押したり、急に離すとカッターが飛び出すおそれがありますので注意してください。
また、奥まで押し込むとカッターの刃がプリンタ内部を傷付けるおそれがありますので、軽く押すようにしてください。

フロントカバーを閉じます。

プリントヘッドが右端に移動します。

以上でカッター交換作業が終了しました。

ポイント

カッター交換が終了したら、ノズルチェックパターン印刷をして目詰まりしてないことを確認してください。

☞本書「ノズルチェックパターン印刷」148 ページ

5

プリンタのメンテナンス

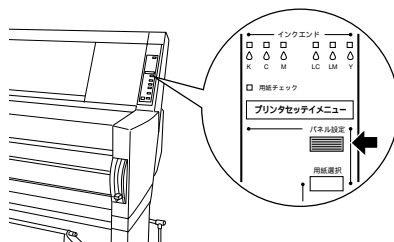
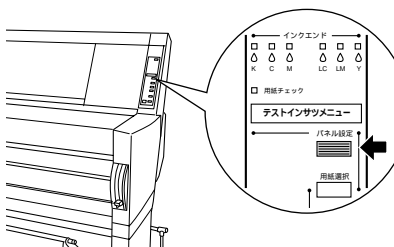
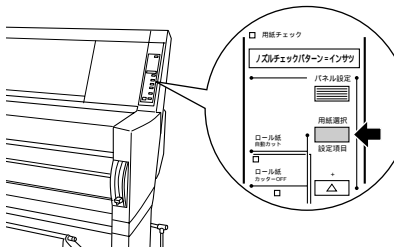
ここでは、プリンタのメンテナンスについて説明をしています。

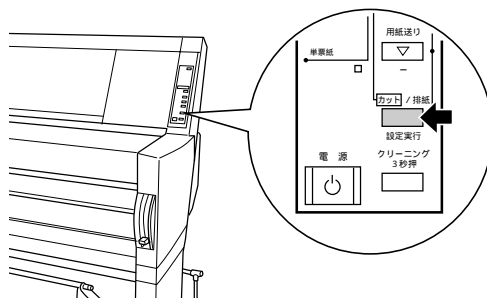
ノズルチェックパターン印刷

ノズルチェックパターン印刷とは、プリントヘッドのノズルが目詰まりしているかを確認するためのパターンを印刷する機能です。ノズルチェックパターンの印刷がかすれたり、すき間があく場合は、ヘッドクリーニングをしてください。

> ポイント
> **ノズルチェックパターン印刷は、ユーティリティからも行えます。**
> **☞Windows:本書「ノズルチェックパターン印刷」39 ページ**
> **☞Macintosh:本書「ノズルチェックパターン印刷」92 ページ**

1 プリンタに用紙をセットします。

2 ［パネル設定］スイッチを押して、パネル設定モードに入ります。
パネルに「プリンタセッテイメニュー」と表示されます。

3 ［パネル設定］スイッチをもう１回押します。
パネルに「テストインサツメニュー」と表示されます。

4 ［設定項目］スイッチを押します。
パネルに「ノズルチェックパターン=インサツ」と表示されます。

5 **［設定実行］スイッチを押します。**

ノズルチェックパターンが印刷されます。

6 **［設定実行］スイッチを押します。**

＜良い例＞　　　　**＜悪い例＞**

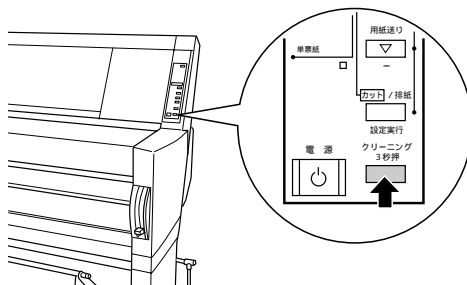
＜悪い例＞のようにノズルチェックパターンが欠けている場合は、ヘッドクリーニングを行ってください。

本書「ヘッドクリーニング」150 ページ

ヘッドクリーニング

ヘッドクリーニングとは、印刷品質を維持するために、プリントヘッドの表面を清掃する機能です。印刷がかすれたり、すき間があくようになったら、次の手順に従ってヘッドクリーニングしてください。

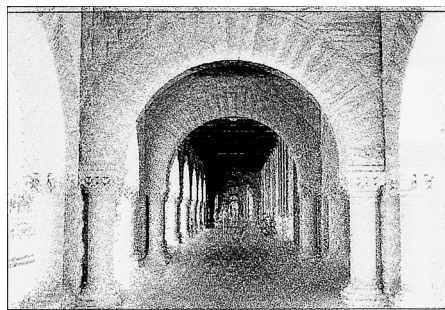
- ヘッドクリーニングはすべてのインクを同時に使います。文字がかすれたり、画像が明らかに変な色で印刷されるなどの症状が出るとき以外は、必要ありません。
- 厚紙をセットした状態でヘッドクリーニングを実行することはできません。パネルメッセージに従って用紙を取り除き、用紙セットレバーを下げると自動的にクリーニングを開始します。
- ヘッドクリーニングをした後は、必ずノズルチェックパターン印刷などで印刷結果を確認してください。
- ヘッドクリーニングは、インクエンドランプが点滅または点灯時には行えません。まずインクカートリッジを交換してください。
  本書「インクカートリッジの交換」136 ページ
- ヘッドクリーニングは、ユーティリティからも行えます。
  Windows：本書「ヘッドクリーニング」40 ページ
  Macintosh：本書「ヘッドクリーニング」94 ページ

1 ［クリーニング］スイッチを3秒間押します。

プリンタの印刷可ランプが点滅し、ヘッドクリーニングが始まります。ヘッドクリーニングは約 1 分続きます。
印刷可ランプの点滅が点灯になれば、クリーニングは終了です。

2 ノズルチェックパターン印刷を実行し、印刷結果を確認します。

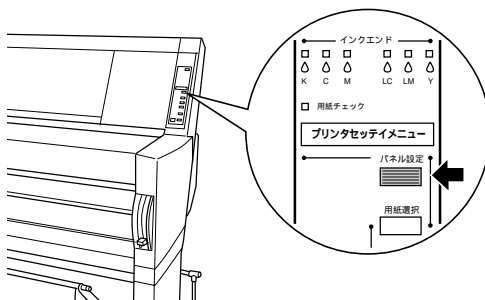
ギャップ調整

双方向印刷をしていて、縦の罫線がずれたり、ぼけたような印刷結果になるときは、プリントヘッドのギャップを調整してください。

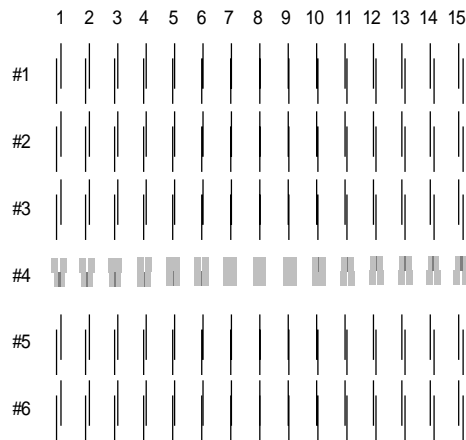
印刷結果がピントがぼけたようになる

ポイント

- ギャップ調整は必ず 44 インチ幅の MC 厚手マット紙ロールをセットして作業を行ってください。
- すべての調整パターン印刷には約 7 分かかります。ロール紙を約 50cm 使用します。
- ギャップ調整は、ユーティリティからも行えます。
  Windows：本書「ギャップ調整」42 ページ
  Macintosh：本書「ギャップ調整」96 ページ

1. プリンタにMC厚手マット紙ロールをセットし、［用紙選択］スイッチを押して［ロール紙自動カット］を選択します（印刷されたシートは数枚にカットされます）。

2. ［パネル設定］スイッチを押して、パネル設定モードに入ります。再度［パネル設定］スイッチを「ギャップチョウセイメニュー」と表示されるまで押します。

3 **すべての調整パターンを印刷してみます。**
印刷された用紙は数枚にカットされます。

①［設定項目］スイッチを押し、「ヨウシアツ＝ヒョウジュン」と表示されたら［設定項目］スイッチを押します。
②「チョウセイ＝ゼンブ」と表示されていることを確認して［設定実行］スイッチを押します。
「チョウセイパターン インサツチュウ」と表示されてすべての調整パターンが印刷されます。

＜印刷例＞
このようなパターンが用紙幅いっぱいに 6 個印刷されます。調整は用紙の中心にある 3 番目または 4 番目のパターンを使って行います。

印刷が終了するとパネルに「＃ 1セッテイ＝ 8　＊」と表示されます。
- 印刷例のようにすべての調整パターンのパターン番号 8 がもっともズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形になっている場合はギャップ調整する必要がありません。［印刷可］スイッチを押してパネル設定モードを終了してください。
- 調整パターンごとにもっともズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形が8以外になっている場合は、❹に進んでください。

4 **印刷されたシートを見て、調整パターンごとにもっともズレの少ないパターン番号を探します。**

5 **［設定項目］スイッチを押すたびに、調整パターン名が以下の順に変わります。調整パターンごとに❹で探したもっともズレの少ないパターン番号（1〜15）を登録します。**

調整パターン（設定項目）	パターン番号（設定値）
#1セッテイ	1〜15（8が初期値）
#2セッテイ	1〜15（8が初期値）
#3セッテイ	1〜15（8が初期値）
#4セッテイ	1〜15（8が初期値）
#5セッテイ	1〜15（8が初期値）
#6セッテイ	1〜15（8が初期値）

パターン番号を変更する場合は、以下の手順に従ってください。

① 設定項目 スイッチを押して設定値を 変更する調整パターン名を選択します。
② ［＋］または［－］スイッチでパターン番号（1～15）を選択します。
［＋］を押すと、設定値の数値が増加します。
［－］を押すと、設定値の数値が減少します。
③［設定実行］スイッチを押すと、設定値の後に＊（アスタリスク）マークが付き、選択した値を登録してから次の調整パターン名を表示します。
④ ①～③の作業を繰り返して、変更が必要なすべてのパターンについて設定をします。

6 設定が終了したら、再度調整パターンの印刷を行い（❷～❸参照）、調整が正しくされたことを確認します。

再印刷した結果、各調整パターンのパターン番号 8 がもっともズレの少ない線または中央の線がめだたない長方形になっていれば調整が正しく行われています。

ポイント

調整したパターンのみを印刷して、再度調整する手順は次の通りです。
①［パネル設定］スイッチを「ギャップチョウセイメニュー」と表示されるまで押します。
②［設定項目］スイッチを押して「ヨウシアツ = ヒョウジュン」と表示されたら、［設定実行］スイッチを押します。パネルに「チョウセイ=ゼンブ」と表示されます。
③［＋］または［－］スイッチで印刷したい調整パターン名を選択して［設定実行］スイッチを押します。パネルに「チョウセイパターン インサツチュウ」と表示されて任意のパターンを印刷します。
④パターン番号8がもっともズレの少ない線、中央の線がめだたない長方形になっているかを確認します。8以外になっている場合は再調整します。

7［印刷可］スイッチを押して、パネル設定モードを終了します。

パネルに「インサツカノウ」と表示されます。

プリンタのお手入れ

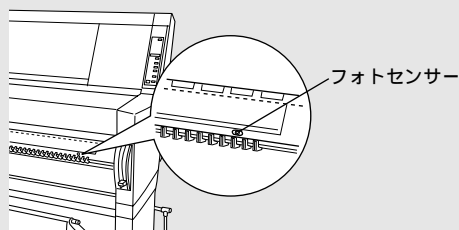
プリンタをいつでも良い状態でご使用できるように、定期的（1年に数回）にプリンタのお手入れをしてください。

1. プリンタから用紙を取り除きます。
2. プリンタの電源をオフにして、電源プラグをコンセントから抜きます。
3. 柔らかいブラシを使って、ホコリや汚れを注意深く払います。

⚠注意

プリンタ内部に水気が入らないように、注意して拭いてください。プリンタ内部が濡れると、電気回路がショートするおそれがあります。

ポイント

フォトセンサーの汚れは、綿棒などの柔らかいものを使って落としてください。

プリンタ内部がインクで汚れた場合は

プリンタの電源がオフになっていることを確認してから、よく絞った布で拭き取ります。

注意

- ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品は使用しないでください。プリンタの表面が変質・変形するおそれがあります。
- プリンタメカニズムや電気部品に水がかからないように、注意深く扱ってください。
- 硬いブラシを使用しないでください。プリンタ表面を傷付けることがあります。
- プリンタ内部に潤滑油などを注油しないでください。プリンタメカニズムが故障するおそれがあります。潤滑油が必要と思われる場合は、エプソンの修理窓口にご相談ください。
  ☞ 本書「サービス・サポートのご案内」219 ページ

ポイント

通常は印刷イメージが用紙幅より大きい場合や用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定の[ヨウシハバケンシュツ]や[シャコウエラーケンシュツ]が[OFF]になっているとそのまま印刷され、印刷領域からはみ出すためプリンタ内部が汚れます。
プリンタ内部を汚さないためにも、パネル設定の[ヨウシハバケンシュツ]や[シャコウエラーケンシュツ]は[ON]に設定してください。

● プリンタを長期間使用しなかった場合は

インクカートリッジを取り外した状態で、プリンタを放置しないでください。プリンタ内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。プリンタを使用しない場合も、インクカートリッジは6色全部を取り付けた状態にしてください。

- プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。
  ヘッドの目詰まりを防ぐために、定期的に印刷していただくことをお勧めします。また、印刷しない場合でも、月に1回はプリンタの電源をオンにして、数分（1〜2分）おいてください。
- 長期間使用していないプリンタを使用する場合は、必ずノズルチェックパターンを印刷して、プリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。ノズルチェックパターンがきれいに印刷できない場合は、ヘッドクリーニングをしてから印刷してください。

本書「ノズルチェックパターン印刷」148 ページ

本書「ヘッドクリーニング」150 ページ

- 長期間使用していないプリンタは、ヘッドクリーニングを数回実行しないと、ノズルチェックパターンが正常に印刷されないことがあります。ヘッドクリーニングを5回繰り返してもノズルチェックパターンの印刷結果がまったく改善されない場合は、プリンタの電源をオフにして一晩以上経過した後、再度ノズルチェックパターン印刷とヘッドクリーニングを実行してください。

- **ヘッドクリーニングを繰り返した後、時間をおくことによって、目詰まりを起こしているインクが溶解し、正常に印刷できるようになることがあります。**
- **上記の手順を実行しても正常に印刷できない場合は、インフォメーションセンターへお問い合わせください。インフォメーションセンターのお問い合わせ先はスタートアップガイドの裏表紙をご覧ください。**

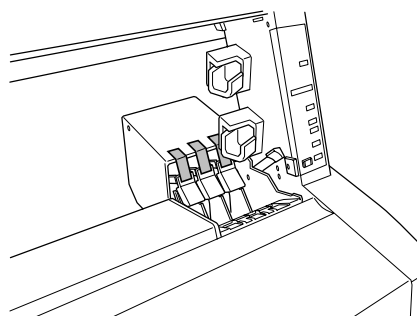
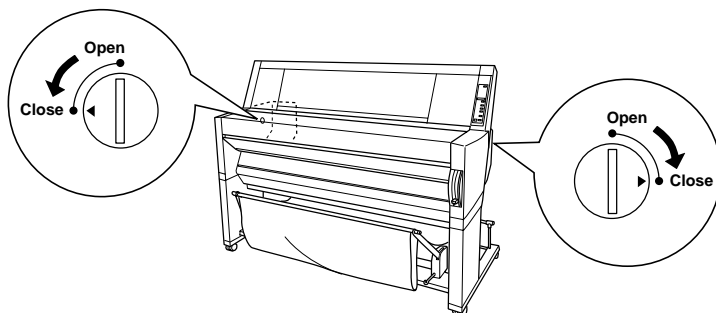
プリンタの輸送・移動

● 輸送の方法

輸送の際は、震動や衝撃からプリンタ本体を守るために、保護材や梱包材を使用して購入時と同じ状態に梱包する必要があります。
輸送する場合は、本機をお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

● 移動の方法

- **水平の状態で移動させてください。プリンタ本体を傾けたり立てかけたり、上下を逆にしないでください。プリンタ内部でインクが漏れるおそれがあります。また、移動後の正常な動作が保証できません。**
- **本機の脚部に付属のキャスターは運搬機器のキャスターとは異なり、屋内の平坦な場所において多少の移動を行う場合のみを想定して作られています。**

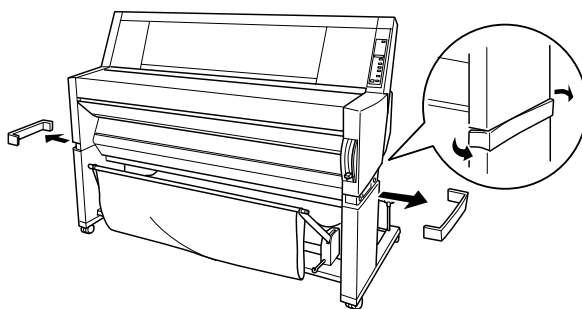
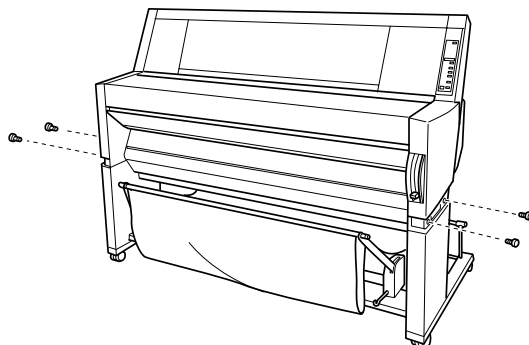
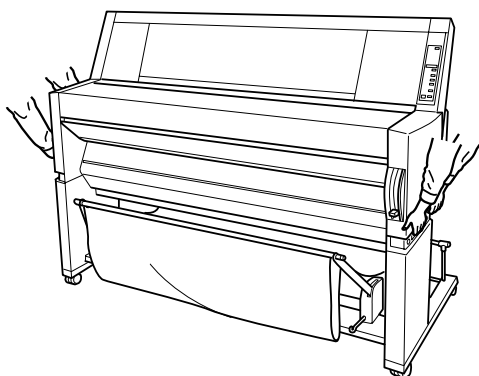
1. **プリントヘッドがキャッピングされていることを確認します。**
   本書「プリントヘッドの保護」141 ページ
2. **スピンドルを取り外します。**
3. **電源がオンになっている状態のまま、すべてのインクカートリッジを取り外します。**
   本書「インクカートリッジの交換」137 ページ
4. **電源をオフにします。**
5. **インクカートリッジ収納ボックスを開けた状態で、カートリッジ固定レバーをテープで固定します。**

6 **インクカートリッジ収納ボックス（左右）にあるインクのバルブを閉じます。**

7 **自動巻き取りユニットなどのオプションを装着している場合は、それらのオプションをプリンタ本体から取り外します。**

8 **電源コードなどのケーブル類をすべて取り外します。**

9 **脚部のキャスターとレベリングスクリューのロックを解除して移動します。**
プリンタ本体と脚部を分離して移動する場合は、次の手順を参照してください。

専用スタンドの取り外し

プリンタ本体と専用スタンドを分離して運ぶ場合は、以下のようにしてください。

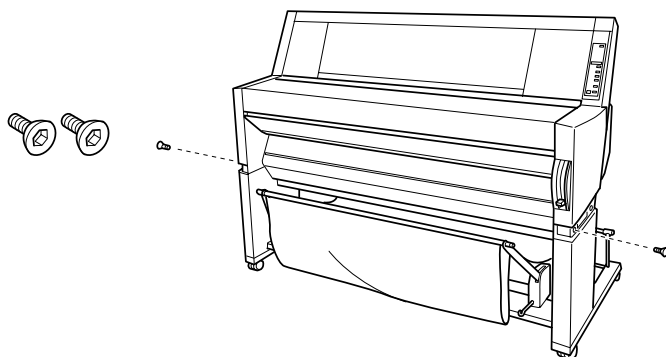
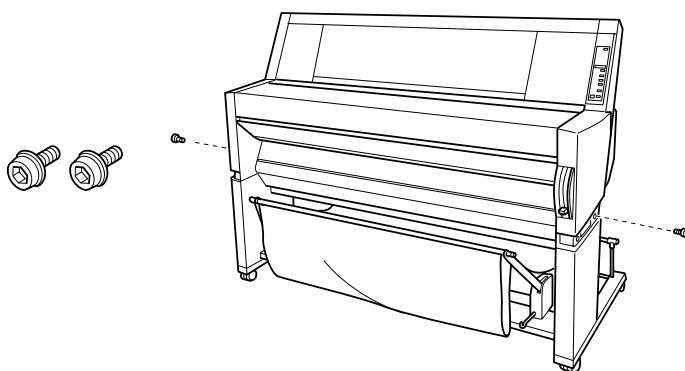
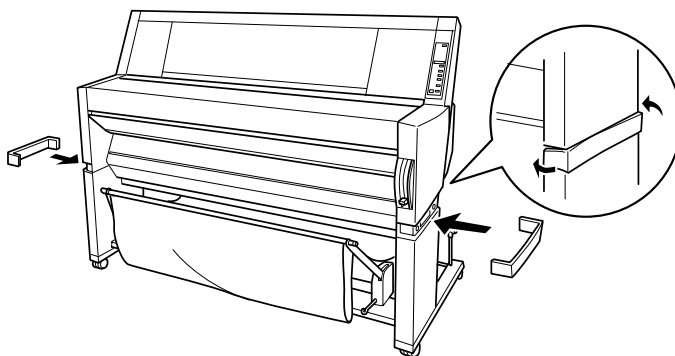
1 **脚部カバー（2個）を取り外します。**
カバーはアーム部分を外側に広げるようにして手前に引いてください。

2 **脚部の固定ボルト（4個）を外します。**

3 **プリンタ本体の左右の白い取っ手部に手をかけて、4人以上で持ち上げます。**

移動後の手順

移動後は以下の手順で本機を使用可能な状態にしてください。

1 **据置場所に適した場所を確認します。**
開梱と据置作業を行われる方へ「据置に適した場所」10 ページ

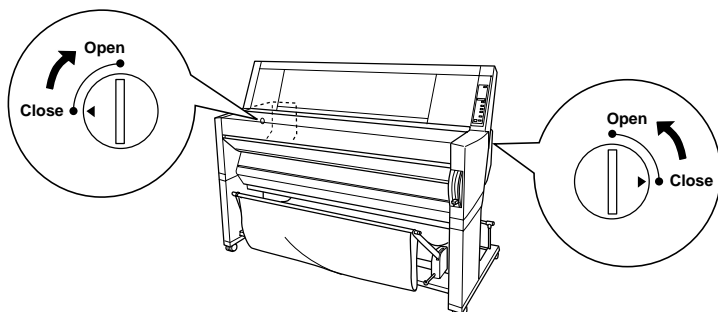
2 **脚部のキャスターとレベリングスクリューをロックします。**

3 **プリンタ本体と脚部を分けて運搬した場合は、取り外したボルト（4 個）でプリンタ本体と脚部を固定します。**

プリンタ本体前面側の固定

プリンタ本体背面側の固定

4 **脚部カバー（2個）を取り付けます。**

5 **電源コードを取り付けます。**

☞ スタートアップガイド「電源コードの接続」26 ページ

6 **取り外したオプション類を元通りに取り付けます。**

7 **インクカートリッジ収納ボックス（左右）のインクのバルブを開けます。**
▲マークを Open の位置まで回します。

8 **インクカートリッジ収納ボックスを固定していたテープを取り外します。**

9 **インクカートリッジを取り付けます。**
☞ スタートアップガイド「インクカートリッジの取り付け」28 ページ

- **必ず新品のインクカートリッジを取り付けてください。使いかけのインクカートリッジを取り付けると、インク残量が正しく把握できなくなります。**
  また、インクカートリッジを外した状態で放置しないでください。プリンタ内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。輸送後すぐにプリンタを使用しない場合も、インクカートリッジは6色全部を取り付けてください。
- **移動後は早めにインクカートリッジを取り付けてください。**

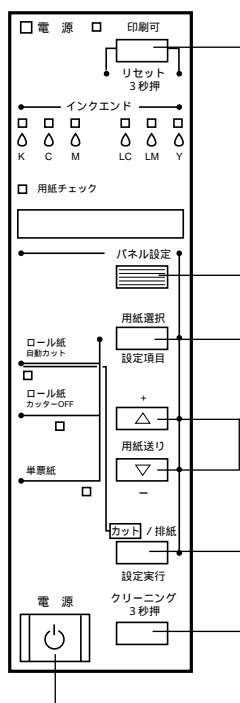
10 **プリントヘッドの目詰まりがないかをチェックします。**
☞ スタートアップガイド「ノズルチェックパターン印刷」36 ページ

11 **ギャップ調整を行います。**
☞ スタートアップガイド「ギャップ調整」38 ページ

6

操作パネルの使い方

ここでは、操作パネルの使い方や設定項目について説明をしています。

スイッチとランプについて

● スイッチ

①[印刷可]スイッチ・[リセット]スイッチ

- 印刷可/不可状態を切り替えます。
- 3 秒押すと［リセット］スイッチとして機能します。この場合、印刷を中止し、現在稼働中のインターフェイスで受信した印刷データを消去（リセット）します。
- パネル設定モード中に押すと、パネル設定を終了し、印刷可能状態にします。

②[パネル設定]スイッチ

パネル設定モードに入ります。パネル設定モード中に押すと、メニュー項目の選択ができます。

③[用紙選択]スイッチ・[設定項目]スイッチ

- 用紙種類の選択と、ロール紙選択時の切り離しの有/無を設定します。
  ロール紙選択時の切り離しはプリンタドライバの設定が優先されます。

Windows：本書「用紙設定」27 ページ

Macintosh：本書「[用紙設定]ダイアログ」72 ページ

ロール紙自動カット　　：1ページごとにカットして印刷します。
ロール紙カッター OFF　：カットせずに連続で印刷します。
単票紙　　　　　　　　：単票紙に印刷します。

- パネル設定モード中は［設定項目］スイッチとして機能します。この場合、メニュー項目内の設定項目の選択ができます。

ポイント

- **オプションの自動巻き取り装置（型番：PM90ARFU）を使用する場合は、必ず[ロール紙カッターOFF]に設定してください。**
- **インクの乾燥時間中にこのスイッチで用紙の種類を変更した場合は、[設定実行]スイッチを押すまで設定内容が有効になりません。**

④[用紙送り]スイッチ

- ロール紙を正方向（▼）または逆方向（▲）に送ります。
- パネル設定モード中は設定値を増加（＋）または減少（－）させます。

⑤[カット/排紙]スイッチ/[設定実行]スイッチ

印刷したページを送り出します。

ロール紙自動カット　　：ロール紙を用紙位置（✂マーク位置）で切り離します。
ロール紙カッター OFF　：用紙カット位置を用紙先端位置としてセットします。
単票紙　　　　　　　　：セットされている用紙を排出します。

- パネル設定モード中は、設定した項目を有効にして設定内容を実行します。

⑥[クリーニング]スイッチ

プリントヘッドのクリーニングを行います。印刷品質が悪くなったときなどに行います。

⑦[電源]スイッチ

プリンタの電源をオン/オフします。

● ランプ

①電源ランプ

点灯　：プリンタ電源オン
点滅　：データの処理中/パワーオフシーケンス実行中など
消灯　：プリンタ電源オフ

②印刷可ランプ

点灯　：印刷可能状態
点滅　：インク乾燥時間中/ヘッドクリーニング中
消灯　：パネル設定モード中/ポーズ中/エラー発生時など

③インクエンドランプ（K:ブラック /C:シアン /M：マゼンタ /LC：ライトシアン/LM：ライトマゼンタ/Y:イエロー）

点灯　：インクエンド/カートリッジ未装着/カートリッジ違いなど
点滅　：インク残量少
消灯　：インク関連の問題が発生していない状態

④用紙チェックランプ

点灯　：用紙なしエラー /用紙セットレバー解除中/用紙設定違いなど
点滅　：用紙詰まりエラー /用紙斜行エラーなど
消灯　：インク関連の問題が発生していない状態

⑤用紙選択ランプ

点灯　：選択された用紙
点滅　：エラー発生時
消灯　：選択されていない状態

操作パネルメッセージ

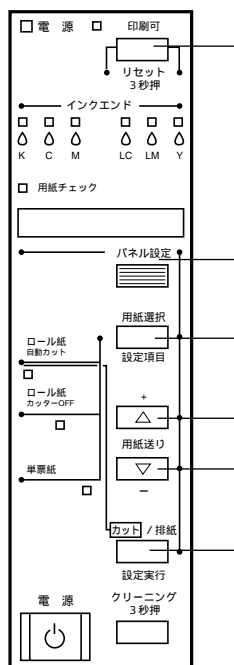
表示されるメッセージには、プリンタ本体の状態に関するメッセージとエラーメッセージの2種類があります。プリンタの状態に関するメッセージとその意味は次の通りです。
エラーメッセージについては以下のページを参照してください。
☞ 本書「操作パネルにエラーメッセージが表示される」174 ページ

メッセージ	内容
インクカンソウチュウxxフン	インク乾燥中です。インク乾燥残り時間xx分です。
インクジュウテンxxx%	インクの初期充てん処理中です。処理がxxx%進んでいます。
[インサツカ] スイッチヲオシテクダサイ	[印刷可]スイッチを押してください。
インサツカノウ	印刷ができます。
インサツチュウ	印刷中です。
シバラクオマチクダサイ	そのまましばらくお待ちください。
パワーオフチュウ	パワーオフ状態です。
ポーズ	ポーズ中です。
リセット	リセット中です。

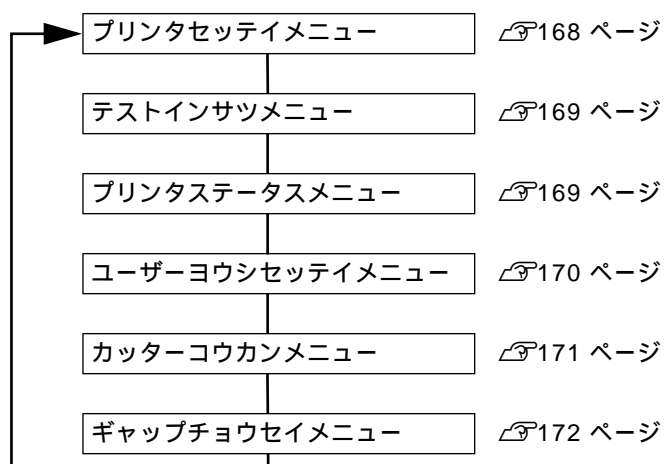
パネル設定モード

通常の印刷に必要なプリンタの設定は、プリンタドライバまたはアプリケーション上で行いますが、それ以外の設定は操作パネル上（パネル設定モード）から実行します。

● パネル設定の操作方法

パネル設定モードへは、［パネル設定］スイッチを押すことで切り替わります。

① パネル設定モードに入ります。パネルにメニュー項目が表示されます。
② メニューの設定項目を選択します。パネルにメニュー項目の下層の設定項目が表示されます。
③ 設定値を順送りに変更します。数値入力時には値を増加させます。
④ 設定値を逆送りに変更します。数値入力時には値を減少させます。
⑤ 設定された値を確定して登録、または設定された動作を実行します。
⑥ パネル設定モードを終了します。

設定項目表示中にパネル設定モードを終了するには、［パネル設定］スイッチを押してください。

パネル設定モードには、以下のメニュー項目があります。メニュー項目の詳細は以下の参照ページをお読みください。

● プリンタ設定メニュー

は工場出荷時の設定（初期値）です。

設定項目	設定値	説明
プラテンギャップ	ジドウ ヒロメ	プラテンギャップの広さを調整します。 通常は[ジドウ]のまま使用します。[ヒロメ]を選択するとパネルに「H」が表示されます。
キリトリセン	ON OFF	用紙選択で[ロール紙カッターOFF]を選択している場合に、ロール紙を排紙する際に、切り取り線(実線)を印刷する(ON)/しない(OFF)の設定をします。[ON]に設定すると、用紙下端に切り取り線(実線)を印刷します。 〈例〉 ロール紙左端　用紙サイズ　ロール紙右端 排紙方向
インターフェイス	ジドウ パラレル MAC オプション	インターフェイスを自動切り替えするか、または単一のインターフェイスだけのデータを受信するかの設定をします。 [ジドウ]以外の設定にすると、指定したインターフェイス(パラレルインターフェイス/Macintosh用シリアルインターフェイス、オプションスロットに装着したインターフェイスカード)からのデータのみを受信します。
パラレルインターフェイス	ゴカン ECP	パラレルインターフェイスの切り替えをします。 通常は[ゴカン]の設定で使用します。使用するソフトやハードの方で「プリンタのパラレルI/FをECPにしてください」と指示されている場合のみ[ECP]に設定してください。
コードページ	PC437 PC850	コードページの切り替えをします。 PC437(拡張グラフィックス)またはPC850(マルチリンガル)の文字コードをセットします。
ロールシヨハク	タテ15mm 3mm 15mm	ロール紙の余白(マージン)を設定します。 [タテ15mm]に設定すると用紙サイズの上下に15mm、左右に3mmの余白を、[3mm]に設定すると用紙サイズの上下左右に3mmの余白を、[15mm]に設定すると用紙サイズの上下左右に15mmの余白を確保します。
ヨウシハバケンシュツ	ON OFF	用紙幅を検出するかどうかを設定します。 [OFF]にすると用紙幅を検出しなくなります。ただし、セットされた用紙より大きなイメージを印刷すると用紙外に印刷してしまいプリンタ内部が汚れますので、通常は[ON]で使用することをお薦めします。
シャコウエラーケンシュツ	ON OFF	用紙の斜行を検出するかどうかを設定します。 [OFF]にすると斜行を検出せず「ヨウシガシャコウシテイマス」エラーが発生しなくなります。ただし、用紙が斜行した状態で印刷すると用紙外に印刷してしまいプリンタ内部が汚れますので、通常は[ON]で使用することをお勧めします。
セッテイショキカ	ジッコウ	パネル設定された項目の内容を初期値に戻します。

● テスト印刷メニュー

設定項目	設定値	内容
ノズルチェックパターン	インサツ	ノズルチェックパターンを印刷します。
ステータスシート	インサツ	プリンタの設定内容(ステータス)を印刷します。

ノズルチェックパターン印刷に関する詳細な説明は以下のページを参照してください。

☞ 本書「ノズルチェックパターン印刷」148 ページ

● プリンタステータスメニュー

プリンタの現在の状態をパネル上で確認することができます。

ステータス項目	内容
バージョン	プリンタのROMバージョンを表示します。
インクザンリョウ(K)	ブラックインクの残量を表示します。*
インクザンリョウ(C)	シアンインクの残量を表示します。*
インクザンリョウ(M)	マゼンタインクの残量を表示します。*
インクザンリョウ(LC)	ライトシアンインクの残量を表示します。*
インクザンリョウ(LM)	ライトマゼンタインクの残量を表示します。*
インクザンリョウ(Y)	イエローインクの残量を表示します。*
カッタージュミョウ	カッターの残り寿命を表示します。*
インサツマイスウ	メンテナンス情報が表示されます。
ハイインク	
CRモーター	
PFモーター	
ヘッドユニット	
クリーニングユニット	

*インク残量とカッター残り寿命の表示の意味は以下の通りです。

E∗∗∗∗∗ F	インク満杯状態(フル)*	残り寿命多(フル)*
E∗∗∗∗ F		
E∗∗∗ F		
E∗∗ F		
E∗ F	インク残量わずか	残り寿命わずか
E F	インクエンド	寿命終了

*インクカートリッジまたはカッター交換を行うとフル状態に戻ります。

● ユーザー用紙設定メニュー

任意の用紙に関する付帯情報をあらかじめ登録して、設定することができます。

<table>
<tr><th>設定項目</th><th>設定値</th><th>内容</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ヨウシバンゴウ</td><td>ヒョウジュン</td><td rowspan="2">エプソン純正専用紙は[ヒョウジュン]の設定でお使いください。
１〜4は、任意に設定した用紙厚の用紙を使う場合に該当番号を選択します。</td></tr>
<tr><td>１〜4</td></tr>
<tr><td>ヨウシアツケンシュツパターン</td><td>インサツ</td><td>セットした用紙の厚みを検出するためのパターン印刷を行います。
この項目は、用紙番号で[ヒョウジュン]を選択している場合には表示されません。</td></tr>
<tr><td>ヨウシアツバンゴウ</td><td>１〜17</td><td>ギャップ調整メニューの[ヨウシアツサ]で設定した用紙の厚さを初期値として番号で表示します。厚さと番号は下表のように対応しています。
<table><tr><th>用紙厚</th><th>番号</th></tr><tr><td>0.0mm
〜
1.6mm</td><td>1
〜
17</td></tr></table>
この項目は、用紙番号で[ヒョウジュン]を選択している場合には表示されません。</td></tr>
<tr><td>カンソウジカン</td><td>0フン 〜 30フン</td><td>インクの乾燥時間（0〜30分の間）を設定します。ロール紙を自動カットする際に、印刷終了後に設定した時間だけ待機します。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">キュウチャクリョク</td><td>ヒョウジュン</td><td>用紙を吸引する力を設定します。通常は[ヒョウジュン]のまま使用してください。</td></tr>
<tr><td>ヨワイ</td><td>薄い用紙で、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないときのみ[ヨワイ]にします。ここで設定した吸着力の値は、ユーザー用紙設定すべてに適用されます。</td></tr>
</table>

ユーザー用紙設定に関する詳細な説明は以下のページを参照してください。

☞ 本書「ユーザー用紙設定の方法」131 ページ

● カッター交換メニュー

ロール紙カッターの交換を行う際に設定します。

設定項目	設定値	内容
カッターコウカン	ジッコウ	カッター交換作業が行えます。
カバーヲアケテクダサイ	-	フロントカバーを開けて、交換作業を開始します。
カッターヲコウカンシテクダサイ	-	カッターを交換します。
カバーヲシメテクダサイ	-	フロントカバーを閉じて、作業を終了します。

カッター交換に関する詳細な説明は以下のページを参照してください。

本書「カッターの交換」142 ページ

● ギャップ調整メニュー

プリントヘッドのギャップ調整ができます。

設定項目	設定値	内容
ヨウシアツ	ヒョウジュン 0.0～1.6mm	用紙の厚さを0.1mm単位で入力します。 通常は［ヒョウジュン］の設定で使用します。標準設定では、以下の用紙厚が適用されます。 • 用紙厚センサーの検出結果が薄紙の場合→0.2mm • 用紙厚センサーの検出結果が厚紙の場合→1.2mm
チョウセイ	ゼンブ #1～#6	印刷する調整パターンの選択をします。 すべてのパターンを印刷する場合は[ゼンブ]を、任意のパターンを印刷する場合は該当するパターン名を選択します。
#1セッテイ	1～8～15	#1の設定をします。
#2セッテイ	1～8～15	#2の設定をします。
#3セッテイ	1～8～15	#3の設定をします。
#4セッテイ	1～8～15	#4の設定をします。
#5セッテイ	1～8～15	#5の設定をします。
#6セッテイ	1～8～15	#6の設定をします。

ギャップ調整に関する詳細な説明は以下のページを参照してください。

本書「ギャップ調整」151 ページ

7

困ったときは

ここでは、トラブル発生時の対処方法を説明をしています。現在の症状がどれに当てはまるのかを以下の項目から選び、該当するページをご覧ください。

操作パネルにエラーメッセージが表示される

プリンタにエラー（正常でない状態）が発生したときは、操作パネルのランプ表示とパネルメッセージで知らせます。メッセージの内容を確認し、処置してください。ランプ表示の詳細については以下のページを参照してください。

☞ 本書「ランプ」164 ページ

エラーメッセージ	内容と処置方法
＊＊＊シヲセットシテクダサイ	＊ ＊＊には用紙名（ロール/タンピョウ）が表示されます。用紙が正しくセットされていません。
	表示された用紙を正しくセットしてください。またプリンタドライバの設定と［用紙選択］スイッチの設定が用紙と合っていることを確認してください。
インクカートリッジコウカン	インクがなくなりました。
	新しいインクカートリッジを取り付けてください。
	本機では使用できないインクカートリッジがセットされています。
	インクの仕様を確認し、本機で使用できるインクカートリッジを正しくセットしてください。
インクガスクナクナリマシタ	インクの残量が残り少なくなりました。
	インクエンドランプが点灯するまで印刷することはできますが、新しいインクカートリッジの用意をしてください。
インクヲセットシテクダサイ	インクカートリッジの交換中です。
	インクカートリッジをセットしてください。
インサツデキマセン	何らかのエラーが発生しているため、テスト印刷ができません。
	一旦パネル設定モードを終了してください。その後表示されたエラーを解除してから再度印刷を実行してください。
オプションI/Fカードエラー	オプションスロットにセットされているインターフェイスカードに問題があります。
	本機で使用できるカードか、カードの設定が間違っていないかを確認し、正しくセットしてください。
カートリッジガアリマセン	インクカートリッジがセットされていません。
	正しいインクカートリッジを正しくセットしてください。
カバーガアイテイマス	フロントカバーが開いています。
	フロントカバーを閉じてください。
サービスコール＊＊	エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生しました（末尾の＊＊はどんなトラブルが発生したかを示すコードです）。
	対処方法は以下のページを参照してください。 ☞ 本書「サービスコールが発生したら」175 ページ
サイキドウシテクダサイ	一旦電源を切り、再度電源をオンにしてください。
シバラクオマチクダサイ	プリンタ内部で、タイマのリセットやバッファのクリアをしています。
	そのまましばらくお待ちください。
メンテナンスコール＊＊	定期交換部品の交換時期が近づきました（末尾の＊＊には交換時期が近づいた部品のコードを示します）。
	対処方法は以下のページを参照してください。 ☞ 本書「メンテナンスコールが発生したら」175 ページ
ヨウシガカットサレマセンデシタ	自動カットの設定で、用紙がカットされませんでした。
	用紙セットレバーを上げて、カットされなかった用紙を切り離してください。
ヨウシガシャコウシテイマス	用紙が斜めに給紙されています。
	用紙を正しくセットし直してください。
ヨウシガツマリマシタ	用紙が詰まりました。
	詰まった用紙を取り除いてください。

エラーメッセージ	内容と処置方法
ヨウシナシ	用紙がセットされていません。
	用紙を正しくセットしてください。
	フォトセンサーが汚れている可能性があります。
	フォトセンサーのホコリを取り除いてください。
ヨウシレバーヲサゲテクダサイ	用紙セットレバーが上がっています（解除状態）。
	用紙セットレバーを下げてください（固定状態）。
ヨウシヲセットシテクダサイ	用紙セットレバーが上がっています（解除状態）。
	用紙セットレバーを下げてください（固定状態）。
ヨウシヲタダシクセットシテクダサイ	用紙が正しくセットされていません。
	正しい手順で用紙をセットし直してください。
	フォトセンサーが汚れている可能性があります。
	フォトセンサーのホコリを取り除いてください。
ヨウシヲトリノゾイテクダサイ	厚紙がセットされているためクリーニングが実行できません。
	厚紙を取り外してから用紙セットレバーを下げてください。

メンテナンスコールが発生したら

メンテナンスコールは、本機の定期交換部品の交換時期が近づいたことを示すワーニングメッセージです。「メンテナンスコール＊＊」と表示された場合は、本機を購入された販売店またはエプソンの修理窓口に連絡し、定期交換部品の交換を依頼してください。定期交換部品は保証期間内外を問わず有償になります。
「メンテナンスコール＊＊」の末尾の＊＊（数字）を必ず伝えてください。
定期交換部品の寿命が終わると「サービスコール」が表示され、自動的に印刷を停止します。「サービスコール＊＊」が発生すると、定期交換部品を交換しない限り印刷の再開はできません。
☞ 本書「サービス・サポートのご案内」219 ページ

サービスコールが発生したら

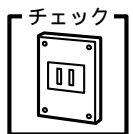
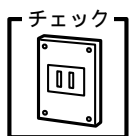
サービスコールは以下の場合に表示されるエラーメッセージです。

- エラー状態の解除が不可能なトラブルが発生した
- 定期交換部品の寿命が尽きた

サービスコールが発生すると、プリンタは自動的に印刷を停止します。一旦電源を切り、再度電源をオンにしたときにサービスコールのメッセージが表示されなくなった場合は、しばらくそのままお使いいただくことができます。再度同じサービスコールのメッセージが表示されてプリンタが使用できなくなった場合は、本機を購入された販売店またはエプソンの修理窓口に連絡してください。
「サービスコール＊＊」の末尾の＊＊（数字）は、どんなトラブルが発生したかを示すコードです。連絡の際には、必ずこのコード番号を伝えてください。
☞ 本書「サービス・サポートのご案内」219 ページ

電源ランプが点灯しない

電源をオンにしても電源のランプが点灯しない場合は、次の3点を確認してください。

電源プラグがコンセントまたはプリンタ本体から抜けていませんか？
差し込みが浅かったり、斜めになっていないか確認し、しっかりと差し込んでください。

電源コンセントに問題があることがあります。
ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

AC電源は規定の電圧になっていますか？
コンセントの電圧を確認し、正しい電圧で使用してください。また、タコ足配線や、テーブルタップへの接続、コンピュータの背面などに設けられているコンセントへの接続はしないでください。

以上の3点を確認の上で電源をオンにしても電源ランプが点灯しない場合は、お買い求めのエプソン販売店かエプソンの修理窓口にご相談ください。
☞本書「サービス・サポートのご案内」219 ページ

● プリンタとコンピュータの接続を確認します

*1 コネクタ：インターフェイスケーブルの先端を差し込むところ。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタ[*1]とコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。
予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
スタートアップガイド「コンピュータとの接続」41 ページ

*2 プリンタバッファ：コンピュータから送られた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

コンピュータとプリンタはケーブルで直結していますか？

プリンタとコンピュータの接続に、プリンタ切替機、プリンタバッファ[*2]および延長ケーブルを使用している場合、組み合わせによっては正常に印刷できません。プリンタとコンピュータをインターフェイスケーブルで直結し、正常に印刷できるか確認してください。

インターフェイスケーブルを交換していませんか？

WindowsでUSB変換ケーブルからパラレルケーブルへ、またパラレルケーブルからUSB変換ケーブルへ交換するときはプリンタドライバの再設定が必要です。
本書「インターフェイスケーブルを交換する方法（Windows98/2000）」216 ページ

チェック

コネクタのピンが折れたりしていませんか？

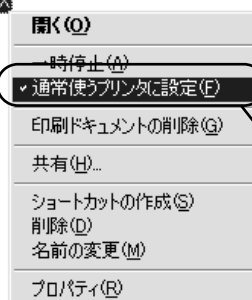
コネクタ部分のピンが折れていたり曲がったりしていると、プリンタとコンピュータの通信が正しく行われない場合があります。

チェック

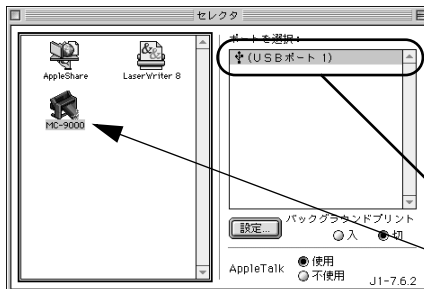
ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。

●プリンタドライバが正しくインストールされているか確認します

本機のWindowsプリンタドライバが、コントロールパネルやアプリケーションで、通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。

確認方法
①[スタート]ボタンをクリックしマウスカーソルを［設定］に合わせ、［プリンタ］をクリックします。
②[MC-9000］アイコンを右クリックし、表示されたメニューを確認します

本機のMacintoshプリンタドライバ「MC-9000」がセレクタ画面で正しく選択されているか、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているかを確認してください。

チェック

Windowsにおいて、プリンタドライバからの印字テストは正常に行えますか？

プリンタドライバからの印字テストを行うことにより、プリンタとコンピュータの接続、およびプリンタドライバの設定が正しいかどうかを確認できます。

①プリンタが印刷可能状態であること（電源ランプのみが点灯）を確認し、プリンタにA4の用紙を複数枚セットします。
②［スタート］から［設定］-［プリンタ］のフォルダを開きます。
③［MC-9000］アイコンを右クリックし、表示されたメニューから［プロパティ］を選択します。
④プロパティ画面でWindows95/98の場合は［情報］または［全般］タブを選択し右下の［印字テスト］をクリック、WindowsNT4.0/2000の場合は［全般］タブを選択し、右下の［テストページの印刷］をクリックします。
しばらくすると、「Windows95PrinterTestPage」、「Windows98プリンタの印字テスト」、「WindowsNTプリンタテストページ」、「Windows 2000プリンタテストページ」の印刷がはじまります。
下図を参考にして印刷結果が正常かどうかを確認してください。
※テストページに記載されている「ドライババージョン」とはWindows内部のドライバのバージョンであり、お客様がインストールされた当社のプリンタドライバのバージョンとは異なります。

Windows98の例　　**WindowsNT4.0の例**

Windows 98
プリンタの印字テスト

EPSON MC-XXXX のインストールが完了しました。

プリンタ ドライバとポートの設定は、次のとおりです。

プリンタ名 : EPSON MC-XXXX
プリンタ モデル : EPSON MC-XXXX
ドライバ名 : EPIJNL30.DRV
ドライバ バージョン : 4.00
カラー印刷 : あり
ポート名 : EPUSB2:
データ フォーマット: RAW

ドライバで使用されるファイル :
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIFLN50.TFA
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIFLN51.DLL (1.0.8)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIFLN52.DLL (1.0.8)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIJNL30.DRV (2.0.5)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIREP30.DLL (2.0.4)
C:¥WINDOWS¥SYSTEM¥EPIBBL10.EXE (1.0.0)

Windows NT
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃｽﾄ ﾍﾟｰｼﾞ

おめでとうございます!

この情報を読めるということは、EPSON MC-2000 (HSAT90 上) が正しくｲﾝｽﾄｰﾙされたことを意味します。

以下の情報は、ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾄﾞﾗｲﾊﾞとﾎﾟｰﾄ設定の説明です。

ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ名: HSAT90
ﾌﾟﾘﾝﾀ名: EPSON MC-XXXX
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾓﾃﾞﾙ: EPSON MC-XXXX
色ｻﾎﾟｰﾄ: 有効
ﾎﾟｰﾄ名: LPT1:
ﾃﾞｰﾀ形式: RAW
共有名: MC-XXXX
場所:
ｺﾒﾝﾄ:
ﾄﾞﾗｲﾊﾞ名: E_DMAI01.DLL
ﾃﾞｰﾀ ﾌｧｲﾙ: E_DM01SJ.VIF
構成ﾌｧｲﾙ: E_DU01SE.DLL
ﾄﾞﾗｲﾊﾞのﾊﾞｰｼﾞｮﾝ: 4.01
環境: Windows NT x86
既定のﾃﾞｰﾀの種類: RAW

このﾄﾞﾗｲﾊﾞが使うﾌｧｲﾙ:
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥E_DMAI01.DLL (0.2.0.8)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥E_DJNL01.DLL (0.1.0.2)
C:¥WINNT¥System32¥spool¥DRIVERS¥W32X86¥2¥E_DKOT01.DLL (0.1.0.2)

※ 印刷されるページは1枚のみです。A4サイズなどの用紙の場合、用紙の下端において印刷が途切れますが、異常ではありません。

テストページが正しく印刷された場合は、プリンタとコンピュータの設定は正常です。続いて本書の次の確認項目へ進んでください。

テストページが正しく印刷されない場合は、本書のここまでの項目を再度確認してください。

本書「印刷しない」177ページ

● エラーが発生していないか確認します

プリンタにエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示とパネルメッセージで確認します。

本書「ランプ」164 ページ
本書「操作パネルにエラーメッセージが表示される」174 ページ

EPSONスプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になっていませんか？

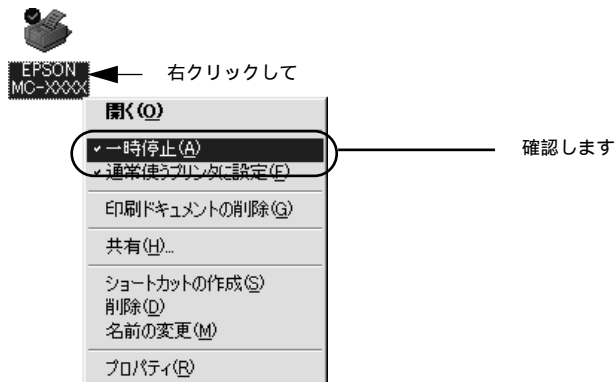
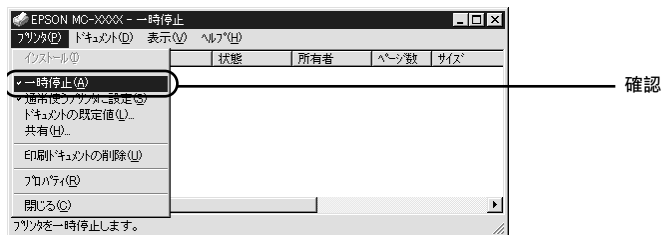
印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、スプールマネージャまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

（Windows95/98 その1）

①タスクバー上の［EPSON MC-9000］をクリックしてスプールマネージャを開きます。

②印刷データの［状態］が［一時停止］になっている場合は、印刷データをクリックして［一時停止/再開］ボタンをクリックしてください。

- 印刷の必要のないデータは削除してください。

（Windows95/98その2）
①スタートメニューの［設定］にカーソルを合わせて［プリンタ］をクリックします。
②［MC-9000］アイコンを右クリックして、表示されたメニューの［一時停止］にチェックが付いている場合は、クリックして「✔」を外します。

（Windows NT4.0/2000）
①スタートメニューの［設定］にカーソルを合わせて［プリンタ］をクリックします。
②［MC-9000］アイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］メニューの［一時停止］をクリックして「✔」を外します。

プリンタを接続したポートと、プリンタドライバのプリンタ接続先の設定が合っていますか？

Windowsでは通常、プリンタの接続先は、パラレルインターフェイスの場合［LPT1］に、USB変換ケーブルの場合は［EPUSBx］（Windows98）/［USBx］（Windows 2000）に設定されています。Windows98をご利用の場合は、ご使用のインターフェイスケーブルに応じて印刷先のポートを変更してください。また、WPS[*1]プリンタをインストールしている場合、接続先が「File：」に変更されていることがあるので注意が必要です。

☞ 本書「プリンタ接続先の設定」52 ページ
☞ 本書「USB変換ケーブル接続時のトラブル」202 ページ

*1 WPS:
Microsoft Windows Printing Systemの略。

Macintoshのシステムメモリの空き容量は十分ですか？

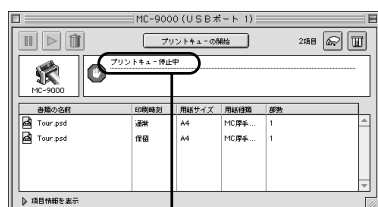
Macintosh用プリンタドライバは、Macintosh本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルのRAMキャッシュを減らしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了して、メモリの空き容量を増やしてください。印刷時に必要な空きメモリ容量については、以下のページを参照してください。

☞ スタートアップガイド「システム条件の確認」53 ページ

- Macintoshでのメモリの設定

①アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し、その中の「メモリ」を起動します。
②メモリのウィンドウで「ディスクキャッシュ」や「仮想メモリ」の設定を変更します。

EPSON Monitor3のステータスが「プリントキュー停止中」になっていませんか？

EPSON Monitor3の［プリンタ］メニューで［プリントキューの停止］を選択すると、停止が解除されるまで印刷は行われません。

①画面右上のアプリケーションメニューから［EPSON Monitor3］を選択します。
②ステータスが「プリントキューの停止中」の場合は、画面上部の［プリンタ］メニューから［プリントキューの開始］を選択します。

コンピュータの画面に「プリンタが接続されていません。」「用紙がありません。」と表示されていませんか？

仕様に合ったインターフェイスケーブルで正しく接続されているか、プリンタのランプがエラーを示していないか確認してください。

● アプリケーションソフトを確認します

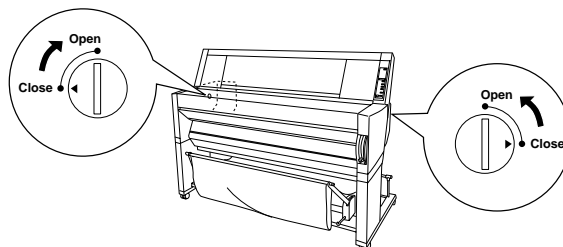
ここでは、トラブルが特定のアプリケーションソフトまたは特定のデータだけで起こるものなのかどうかについて判断します。

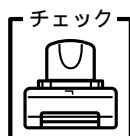
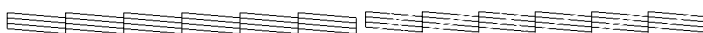
違うデータを印刷した場合、またはデータ量が少ない場合は正常に印刷が可能ですか？
データが壊れているなどの理由により、特定のデータだけ印刷ができないという可能性があります。ほかのデータを印刷することで確認してください。
また、データ量が大きな場合はデータ量を少なくして確認してください。データ量が大きいときにだけ印刷ができない場合は、アプリケーションソフトとメモリの関係、コンピュータのシステムなどに問題がある可能性があります。

アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては適切ですか？
メモリの空き容量を確保した上で、以下の方法で使用するアプリケーションソフトへのメモリの割り当てサイズを増やして、正常な印刷が行えるかどうかを確認してください。

❶ハードディスクの中から、メモリの割り当てサイズの変更を行いたいアプリケーションソフトのフォルダをダブルクリックして開きます。
❷開いたフォルダの中の、アプリケーションソフトを起動させるファイル（起動ファイル）をクリックして選択した状態で、画面左上の［ファイル］から［情報を見る］を選択します。
❸画面上に選択したアプリケーションソフトの情報が表示されますので、そのウィンドウの［メモリ使用条件］の項目の［最小サイズ］と［使用サイズ］を増やしてください。

● インクカートリッジの状態を確認します

インクカートリッジ収納ボックス（左右）のバルブが「Close」になっていませんか？
「Close」のままでは印刷できません。コインなどを使って▲マークを「Open」位置に設定してください。

プリントヘッドは動くが印刷しない場合は、プリンタの動作確認をしてみましょう。
本機は、プリンタ内部で持っているノズルチェックパターンを印刷する機能をもっています。コンピュータと接続していない状態で印刷できるので、プリンタの動作や印刷状態を確認できます。
まず、ノズルチェックパターン印刷をしてください。
本書「ノズルチェックパターン印刷」148 ページ

＜良い例＞　＜悪い例＞

ノズルチェックパターンが正常に印刷されない場合はプリントヘッドのクリーニングを行ってください。
本書「ヘッドクリーニング」150 ページ

- **クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを掲載していますので参照してください。**
  スタートアップガイド「トラブルチェック用印刷サンプル」巻末
- **使いかけのインクを再度取り付けたり、プリンタの電源が入っていない状態で無理にインクカートリッジを交換した場合、インク残量の検出が正しく行われずインクエンドランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印字ができなくなります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。**

プリンタを長期使用せずにいませんでしたか？
プリンタを長期使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。
プリンタを長期使用しなかった場合の処理については、以下のページを参照してください。
本書「プリンタを長期間使用しなかった場合は」155 ページ

● もう一度コンピュータを確認します

チェック

システム条件を確認しましょう。

お使いのコンピュータのシステム条件によっては、MC-9000をご利用になれない場合もあります。もう一度システム条件の確認をしてください。

☞ Windows：スタートアップガイド
「システム条件の確認」46 ページ
☞ Macintosh：スタートアップガイド
「システム条件の確認」53 ページ

BIOSの設定を確認してください。

コンピュータのBIOS[*1]システムセットアップのパラレルポートのモード設定がEPPなどとなっている場合には、Bi-Directional、Compatible、ECPなどに変更してください。

BIOSシステムセットアップの方法は各社、各機種により異なりますので、コンピュータの取扱説明書などを参照して、設定の確認、変更を行ってください。

*1 BIOS：（Basic Input/Output System）コンピュータの基本的な動作を命令するプログラム。

OSは正常に動作していますか？

以下の方法で、簡単なOSのチェック、修復ができます。詳しい方法はそれぞれの取扱説明書などを参照してください。

- Windows95/98の場合
  ［スタート］から［プログラム］-［アクセサリ］-［システムツール］-［スキャンディスク］を起動し、Windows95/98がインストールされているドライブのチェック、修復を行ってください。
- WindowsNT4.0/2000の場合
  ［マイコンピュータ］の中から、WindowsNT4.0/2000がインストールされているドライブを選択し、［プロパティ］-［ツール］-［エラーチェック］を行ってください。
- Macintoshの場合
  Mac OSに添付の［DiskFirstAid］を実行することにより、OSのチェック、修復が行えます。詳しくは、Mac OSの取扱説明書を参照してください。

プリンタドライバを再度インストールしてみましょう。

以上のことを確認しても、まったく印刷が行えない場合、プリンタドライバが正常にインストールされていない可能性があります。

本機のプリンタドライバを再度インストールしてみましょう。

Windowsの場合は、一度削除（アンインストール）してから再度インストールしてください。

以上のことを確認しても印刷しない場合は、お買い求めの販売店またはエプソンの修理窓口にご相談ください。

☞ **本書「サービス・サポートのご案内」219 ページ**

給紙・排紙がうまくできない

給紙がうまくできないときは、まず、用紙を正しくセットし直してください。

プリンタの操作パネルとプリンタドライバの用紙種類の設定がセットされている用紙と合っていますか？

［用紙選択］スイッチで用紙の種類をプリンタにセットしている用紙に合わせてください。
プリンタドライバの［用紙設定］ダイアログの設定をプリンタにセットしている用紙に合わせてください。

用紙セット位置に合わせて用紙をセットしましたか？

以下のページを参照して正しい位置に用紙をセットしてください。

☞ 本書「ロール紙の使い方」114 ページ
☞ 本書「単票紙の使い方」125 ページ
☞ 本書「厚紙のセット方法」17ページ

用紙が正しくセットされている場合は、使用している用紙の状態を確認します。

用紙にシワや折り目がありませんか？

古い用紙や折り目のある用紙は使用しないでください。新しい用紙を使用してください。

用紙に合ったロール紙スピンドルを使用していますか？

用紙によってはオプションのハイテンションスピンドルを使用しないと正常に給紙できないものがあります。用紙の取扱説明書をご覧ください。

例）• MCマット合成紙ロール、MCマット合成紙ロール<のり付>
　用紙にしわが発生します。
• MC画材用紙ロール
　用紙が斜行します。

一般の室温環境下で使用していますか？

専用紙は一般の室温環境下（温度：15～25°C、湿度40～60%）で使用してください。

用紙が湿気を含んでいませんか？

湿気を含んだ用紙は使用しないでください。また、専用紙は、お使いになる分だけ袋から出してください。長期間放置しておくと、用紙が反ったり、湿気を含んで正常に給紙できない原因となります。
未使用のロール紙はプリンタ本体から取り外し、膨らまないように巻き直してから梱包されていた個装袋に戻してください。

チェック PAPER

用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。
エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合や、ラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはRIPの製造元にお問い合わせください。

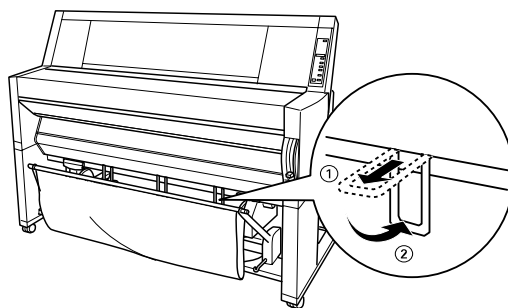
チェック PAPER

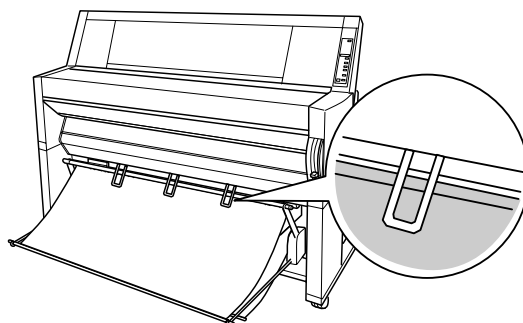
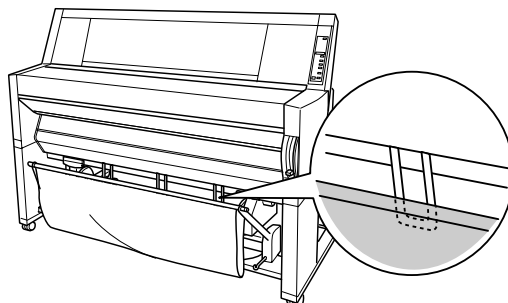
プリンタに用紙が詰まっていませんか？

プリンタのフロントカバーを開き、プリンタに異物が入っていないか、紙詰まりがないかを調べてください。
もし紙詰まりが発生している場合は、以下のページを参照しながら用紙を取り除いてください。

☞ 本書「用紙が詰まった」199 ページ

● ロール紙の巻き込みが発生した

ロール紙の巻きが強すぎませんか？
巻きの強いロール紙を使用すると、排紙時にプリンタ本体側に巻き込まれて正常に排紙できないことがあります。このような場合は、排紙サポート（3個）をプリンタ本体から引き出して使用してください。

排紙サポートは上記の現象が発生した場合にのみ使用します。通常は使用しませんので、必ずプリンタ本体内に収納しておいてください。

前方排紙の場合は排紙サポートを紙受け用バスケットのシャフトに乗せます。

後方排紙の場合は、引き出した排紙サポートをそのまま下に垂らします。

画面表示と印刷結果が異なる

● 印刷される文字が画面表示と異なる

本機のWindowsプリンタドライバが選択されていますか？
本機のWindowsプリンタドライバが、Windowsのプリンタの設定ダイアログボックスやアプリケーションで、通常使うプリンタとして設定されているか確認してください。本機以外のプリンタドライバでは、正常に印刷できない場合があります。
☞ 本書「プリンタドライバが正しくインストールされているか確認します」178 ページ

印刷に失敗したり、中止したデータがスプールマネージャまたはプリントマネージャに残っている可能性があります。
プリンタの電源をオフにして、スプールマネージャまたはプリントマネージャに残っているデータを削除します。
☞ 本書「印刷の中止方法」12 ページ

本機のMacintoshプリンタドライバが選択されていますか？
本機のMacintoshプリンタドライバ「MC-9000」がセレクタ画面で正しく選択されているか、また、選択したポートが実際にプリンタを接続したポートと合っているかを確認してください。
☞ 本書「プリンタドライバが正しくインストールされているか確認します」178 ページ

● 印刷位置が画面表示と異なる

アプリケーションソフトウェアでページレイアウトの設定をしましたか？
ページレイアウトの設定で用紙サイズと余白（マージン）を確認してください。用紙サイズに対して印刷設定が適切か見直してください。

プリンタドライバで設定した用紙サイズと、実際に使用している用紙サイズは同じですか？
プリンタドライバ［用紙設定］ダイアログの設定と実際の用紙サイズが合っていなければ正しい位置に印刷されません。設定と実際に印刷する用紙のサイズは合わせてください。
☞ Windows：本書「用紙設定」27 ページ
☞ Macintosh：本書「[用紙設定］ダイアログ」72 ページ

● カラー印刷ができない

ソフトウェアの設定がカラーデータになっていますか？

ソフトウェア上でカラーデータになっているかどうか確認してください。

例）アプリケーションソフト「Adobe Photoshop」の場合は［モード］メニューをクリックしてモードがカラーになっているかどうかを確認します。

プリンタドライバのインクの設定が［カラー］になっていますか？

プリンタドライバ［基本設定］ダイアログ（Windows）/［印刷］ダイアログ（Macintosh）内のインクの設定が［黒］に設定されていると、カラー印刷ができません。設定が［カラー］になっているか確認してください。

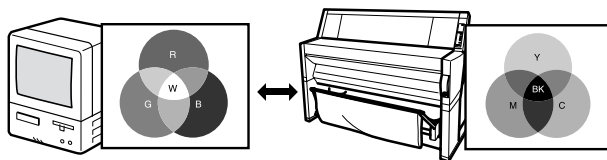
☞ Windows：本書「基本設定」17 ページ
☞ Macintosh：本書「［印刷］ダイアログ」76 ページ

● 画面表示と色合いが異なる

出力装置（ディスプレイとプリンタ）の違いによる差です。

ディスプレイ表示とプリンタで印刷した時の色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

テレビやディスプレイなどでは、赤（R）・緑（G）・青（B）の“光の三原色”と呼ばれる3色の組み合わせで様々な色を表現します。どの色も光っていない状態が黒、3色すべてが光っている状態が白となります。

一方、カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、黄（Y）・マゼンタ（M）・シアン（C）の“色の三原色”を組み合わせています。まったく色を付けないのがもちろん白で、3色を均等に混ぜた状態が黒になります。

スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）の変更が必要になり、さらに一致させることが難しくなります。このような場合の機器間のカラーマッチング（色の合わせこみ）を行うのが、ICM/sRGB（Windows95/98/2000）やColorSync（Macintosh）です。

プリンタドライバのオートフォトファイン!4機能を有効にしていませんか？

オートフォトファイン!4は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのためオートフォトファイン!4を有効にしてあると、表示画面の色合いと異なる場合があります。

☞ Windows：本書「[手動設定］ダイアログ」21 ページ
☞ Macintosh：本書「[詳細設定］ダイアログ」81 ページ

システム特性の設定を行いましたか？（ColorSync）

ColorSyncが正しく動作するためには、入力機器・使用アプリケーションがColorSyncに対応している必要があります。また、お使いのディスプレイのシステム特性を設定する必要があります。

☞ 本書「ColorSyncについて」99 ページ

普通紙を使用していませんか？

カラー印刷の場合は、使用する用紙によって仕上がりイメージがかなり異なります。目的に応じて用紙（専用紙と普通紙など）を使い分けていただくことをお勧めします。

プリンタドライバで設定した用紙種類の設定と実際に使用している用紙種類は同じですか？

プリンタドライバ［基本設定］ダイアログ（Windows）/［印刷］ダイアログ（Macintosh）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響をおよぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

双方向印刷（高速印刷）をしていませんか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。しかし、速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、双方向印刷の設定を解除してください。

［速い］で印刷していませんか？

プリンタドライバで［推奨設定］を［速い］に設定していると速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、［きれい］を選択してください。

ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり色合いが変わる場合があります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

本書「ノズルチェックパターン印刷」132ページ

ノズルチェックパターンが欠けている場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

本書「ヘッドクリーニング」150 ページ

- **クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを掲載していますので参照してください。**
  スタートアップガイド「トラブルチェック用印刷サンプル」巻末
- **使いかけのインクを再度取り付けたり、プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換した場合、インク残量の検出が正しく行われずインクエンドランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印字ができなくなります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。**

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？

古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは、個装箱に記載されている有効期限（プリンタ装着後は6ヵ月以内）までに使用することをお勧めします。

正しいインクカートリッジをセットしていますか？

本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるなどで色合いが変わる場合があります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

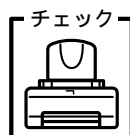
印刷中にフロントカバーを開けませんでしたか？

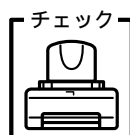
印刷中にフロントカバーを開けると、キャリッジが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はフロントカバーを開けないでください。

● 罫線がずれる

ギャップ調整された状態で双方向印刷（高速印刷）をしていますか？

双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷を行います。このとき、プリントヘッドのずれ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷される場合があります。
双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、ギャップ調整をしてください。
☞ 本書「ギャップ調整」151 ページ

● 一部のデータが印刷されない

ロール紙余白を15mmに設定していませんか？

［ロールシヨハク］を15mmに設定すると、自動回転した場合や用紙幅いっぱいの印刷（44インチ幅のロール紙にB0ノビサイズの印刷をする場合など）をすると、印刷領域からはみ出した用紙右端のデータが印刷されなくなります。
ロール紙余白を3mmに設定して印刷してください。

用紙が斜行していませんか？

通常は用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定の［シャコウエラーケンシュツ］が［OFF］になっていると用紙が斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。
パネル設定の［シャコウエラーケンシュツ］を［ON］に設定してください。
☞ 本書「プリンタ設定メニュー」168 ページ

用紙幅は適切ですか？

印刷イメージが用紙幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、パネル設定の［ヨウシハバケンシュツ］が［OFF］になっていると用紙幅を超えても印刷してしまいます。
パネル設定の［ヨウシハバケンシュツ］を［ON］に設定してください。
☞ 本書「プリンタ設定メニュー」168 ページ

設定と印刷物の用紙サイズが異なる

ロール紙余白を15mmに設定していませんか？

余白を3mmに設定しても15mmに設定しても印刷可能領域のサイズは変わりません。つまり、余白15mmの設定をすると、余白3mmの設定に比べ、1辺につき12mmずつ余白が広く確保されるということです。このためプリンタドライバ上の用紙サイズが同一であっても余白15mmの設定にして印刷した方が印刷物のサイズが大きくなります。

印刷品質が良くない

印刷品質が良くないときは、まず、次の3点を確認してください。

プリンタを、長期間使用せずにいませんでしたか？
プリンタを長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。
プリンタを長期間使用しなかった場合の処置については、以下のページを参照してください。
☞ 本書「プリンタを長期間使用しなかった場合は」155 ページ

ギャップ調整がされていますか？
双方向印刷をしていて画像がぼけたときは、ギャップ調整をしてください。
☞ 本書「ギャップ調整」151 ページ

ギャップ調整が必要な場合の印刷サンプルを掲載していますので参照してください。
☞スタートアップガイド「トラブルチェック用印刷サンプル」巻末

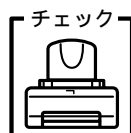
ノズルチェックパターンは正常に印刷されますか？
プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質に影響する場合があります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。
☞ 本書「ノズルチェックパターン印刷」148 ページ

＜良い例＞　　**＜悪い例＞**

ノズルチェックパターンが欠けている場合は、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。
☞ 本書「ヘッドクリーニング」150 ページ

- **クリーニングが必要な場合の印刷サンプルを掲載していますので参照してください。**
  ☞ スタートアップガイド「トラブルチェック用印刷サンプル」巻末
- **使いかけのインクを再度取り付けたり、プリンタの電源が入っていない状態でインクカートリッジを交換した場合、インク残量の検出が正しく行われずインクエンドランプが点灯する前にインクがなくなったり、正常な印字ができなくなります。インクカートリッジの交換は、必ず本書に従って交換してください。**

● 印刷にムラがある、薄い、または濃い

以下のチェック項目が原因だと思われる印刷サンプルを掲載していますので参照してください。
☞スタートアップガイド「トラブルチェック用印刷サンプル」巻末

古くなったインクカートリッジを使用していませんか？
古くなったインクカートリッジを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクカートリッジに交換してください。インクカートリッジは個装箱に記載されている有効期限（プリンタ装着後は6ヵ月以内）までに使用することをお勧めします。

正しいインクカートリッジをセットしていますか？
本製品は、純正インクカートリッジの使用を前提に調整されています。純正品以外をご使用になると、ときに印刷がかすれたり、インクエンドが正常に検出できなくなるなどで印刷品質に影響する場合があります。必ず正しいインクカートリッジを使用してください。

プリンタドライバで設定した用紙種類の設定と実際に使用している用紙種類は同じですか？
プリンタドライバ［基本設定］ダイアログ（Windows）/［印刷］ダイアログ（Macintosh）の用紙種類の設定と実際の用紙種類が合っていなければ印刷品質に影響をおよぼします。設定と実際に印刷する用紙種類は合わせてください。

双方向印刷（高速印刷）をしていませんか？
双方向印刷の場合、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷するので、高速に印刷できます。しかし、速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、双方向印刷の設定を解除してください。

［速い］で印刷していませんか？
プリンタドライバで［推奨設定］を［速い］に設定していると速度と引き替えに印刷品質が多少低下する場合があります。より高品質な印刷を行うときは、プリンタドライバ上で、［きれい］を選択してください。

プリンタドライバでカラー調整をしましたか？
出力装置（この場合はディスプレイとプリンタ）の違いによってカラー出力の色合いが多少違うことがあります。このような場合に、ディスプレイの色をより忠実に再現するためのカラー調整の機能が用意されています。こうした機能を使ってカラー調整をしてみてください。
☞ Windows：本書「［手動設定］ダイアログ」21 ページ
☞ Macintosh：本書「［詳細設定］ダイアログ」81 ページ

印刷中にフロントカバーを開けませんでしたか？
印刷中にフロントカバーを開けると、キャリッジが緊急停止するために色ムラが発生します。印刷中はフロントカバーを開けないでください。

● 印刷がきたない、汚れる、にじむ

以下のチェック項目が原因だと思われる印刷サンプルを掲載していますので参照してください。
☞スタートアップガイド「トラブルチェック用印刷サンプル」巻末

用紙が厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？
本機で使用できる仕様の用紙かどうかを確認してください。
エプソン純正専用紙以外の用紙に印刷する場合やラスターイメージプロセッサ（RIP）を使用して印刷する場合の用紙の種類や適切な設定に関する情報は、用紙の取扱説明書や用紙の購入先またはRIPの製造元にお問い合わせください。

厚い用紙でプリントヘッドが印刷面をこすっていませんか？
厚い用紙を使用するとプリントヘッドが印刷面をこすってしまうことがあります。
このような場合には、パネル設定の［プラテンギャップ］を［ヒロメ］に設定してください。
☞ 本書「プリンタ設定メニュー」168 ページ

薄い用紙で用紙が送れず同じ部分に印刷していませんか？
薄い用紙を使用すると、プリンタ内部に貼り付いてしまって印刷できないことがあります。
このような場合には、パネル設定の［キュウチャクリョク］を［ヨワイ］に設定してください。
☞ 本書「プリンタ設定メニュー」168 ページ

普通紙を使用していませんか？
カラー画像の印刷や、より良い品質で印刷するためには、専用紙のご使用をお勧めします。

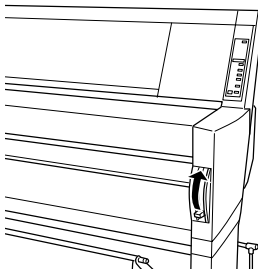
プリンタの内部が汚れていませんか？
用紙の上端および用紙の裏面が汚れる場合は、プリンタ内部の用紙の通過経路が汚れている可能性があります。プリンタの内部の汚れをきれいにしてください。
☞ 本書「プリンタのお手入れ」154 ページ

ロール紙の余白（マージン）を3mmに設定していますか？
使用する用紙や環境によっては印刷が汚れる場合があります。
［ロールシヨハク］の設定を［15mm］または［タテ15mm］に設定して印刷してください。
本書「プリンタ設定メニュー」168 ページ

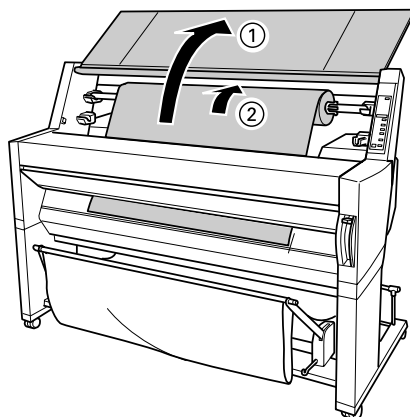
枠線がぼやけていますか？
使用環境の温度あるいは湿度が動作保証以下になっている場合に発生します。動作保証環境下で印刷してください。

用紙が詰まった

以下の手順で詰まった用紙を取り除いてください。

1 用紙セットレバーを上げて解除します。

電源ランプまたは印刷可ランプが点滅しているときは､用紙セットレバーを操作しないでください。

2 用紙カバーを開けて、ロール紙を巻き戻します。

単票紙の場合は、そのまま取り出します。

3 操作パネルに「サイキドウシテクダサイ」と表示されたら、一旦電源を切り、再度電源をオンにします。

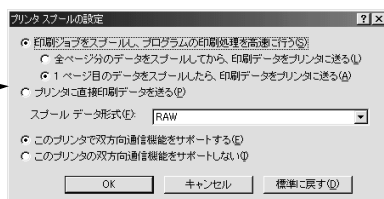
EPSONプリンタウィンドウ!3でのトラブル

●「通信エラーが発生しました」と表示される

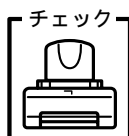
プリンタの電源が入っていますか？
コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオンにします。

インターフェイスケーブルが外れていませんか？
プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。
予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本機の仕様に合っていますか？
インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。
スタートアップガイド「コンピュータとの接続」41 ページ

プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか？
EPSONプリンタウィンドウ!3は、双方向通信機能を利用して動作可能なユーティリティです。通常は、インストールすることで自動的に設定されますが、プリンタが監視できない場合などに確認が必要です。

［このプリンタで双方向通信をサポートする］が選択されていることを確認します。

お使いのコンピュータ（またはケーブル）は、双方向通信に対応していますか？
お使いのコンピュータが双方向通信に対応しているかをコンピュータのメーカーに確認してください。EPSON PCシリーズ全機種、およびNEC PC-9800シリーズ、各社DOS/V系の一部の機種は対応しておりません。また、お使いのケーブルがエプソン製プリンタケーブルPRCB5の場合も双方向通信機能は使用できませんので、PRCB5Nをご使用ください。

Windows98/2000をご利用の場合、接続に使用しているインターフェイスケーブルと印刷先のポートの設定が合っていますか？
パラレルインターフェイスケーブルをご利用の場合は［LPT1］を、USB変換ケーブルをご利用の場合は［EPUSBx］（Windows98）/［USBx］（Windows 2000）を印刷のポートに設定します。
本書「プリンタ接続先の設定」52 ページ

プリンタにエラーが発生していませんか？
プリンタにエラーが発生していると、コンピュータとプリンタが通信できなくなる場合があります。
プリンタにエラーが発生していないか、操作パネルのランプ表示を確認してください。
本書「ランプ」164 ページ

USB変換ケーブル接続時のトラブル

ポイント

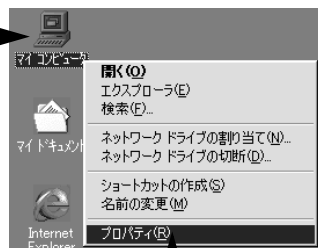
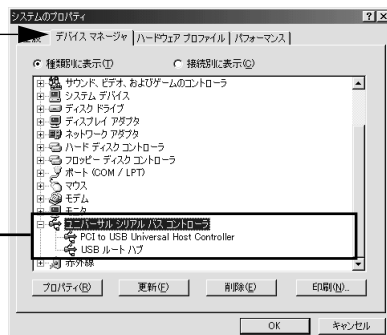
本機をUSB変換ケーブルで接続する場合、プリンタの操作パネルで[プリンタセッテイメニュー]の[パラレルインターフェイス]が[ECP]に設定されていると正常に動作しません。[パラレルインターフェイス]を[ゴカン](初期設定値)にしてください。

●インストールできない(Windows98)

ご利用のコンピュータは、USB接続するためのシステム条件を備えていますか?

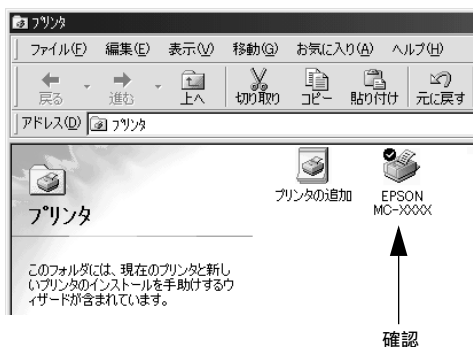
本機をUSB変換ケーブルで接続するためには、以下の条件をすべて満たす必要があります。

- Windows98がプレインストールされているコンピュータ
  (購入時、すでに　Windows98　がインストールされているコンピュータ)
- USBに対応したコンピュータ
- コンピュータメーカーにより USB ポートの動作が保証されているコンピュータ

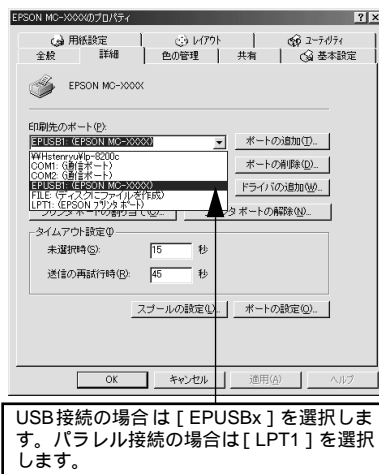
USBに対応したコンピュータであるか確認するには

[ユニバーサルシリアルバスコントローラ]の下にUSBホストコントローラと(USBルートハブ)が表示されていればUSBに対応したコンピュータです。

ご利用のコンピュータがUSBを使用できるかどうかが、各コンピュータメーカーにお問い合わせください。

チェック

[プリンタ]フォルダに[MC-9000]アイコンはありますか？

- **[MC-9000] アイコンがある場合**
  プリンタドライバはインストールされています。
  次項の[印刷先のポート]を確認します。
- **[MC-9000] アイコンがない場合**
  プリンタドライバが正常にインストールされていません。
  プリンタドライバをインストールし直してください。
  ☞ スタートアップガイド「Windowsでのセットアップ」46 ページ

チェック

[印刷先のポート] が [EPUSBx] になっていますか？
プリンタの電源をオンにして、印刷先のポートを確認します。

- **[EPUSBx] の表示がない場合**
  USBデバイスドライバが正しくインストールされていません。
  プリンタドライバを削除してインストールし直してください。
  ☞ 本書「プリンタドライバの削除」64 ページ
  ☞ スタートアップガイド「Windowsでのセットアップ」46 ページ
- **[EPUSBx] の表示がある場合**
  ドライバは正常にインストールされています。
  [EPUSBx：(MC-9000)] を選択してテスト印刷を実行して、印刷できるかご確認ください。

● 印刷先のポートに、使用するプリンタ名が表示されない

プリンタの電源がオンになっていますか？
プリンタの電源がオフの状態では、コンピュータがプリンタを認識できないため、ポートが正しく表示されません。プリンタの電源をオンにしてUSB変換ケーブルを一度抜き差ししてください。

●USBハブに接続すると正常に動作しない

本機はUSBハブの1段目（1台目）までに接続されていますか？
USBは仕様上、USBハブを5段まで縦列接続できますが、本機を接続する場合はコンピュータに直接接続された1段目のUSBハブに接続してください。

USBハブが正しく認識されていますか？
Windowsの［デバイスマネージャ］の〈ユニバーサルシリアルバス〉の下に、USBハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータのUSBポートから、USBハブをすべて外してから、本機のUSBコネクタをコンピュータのUSBポートに直接接続してみてください。
USBハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合わせください。

●印刷できない（Windows98/2000）

プリンタドライバの接続先は正しいですか？
新たにUSB対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートを確認してください。
本書「プリンタ接続先の設定」52 ページ

Windows98使用時は次の点に注意してください。
- **EPUSBx の表示がない場合は、USB デバイスドライバがインストールされていません。USBデバイスドライバをインストールしてください。**
- **USBデバイスドライバをインストールする前に、一旦プリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3を削除してください。**

●インターフェイスカード（オプション）を使用すると印刷できない

インターフェイスカードは正しく取り付けられていますか？
インターフェイスカードがプリンタ内部のコネクタにしっかりと差し込まれているか確認してください。また、カードはネジで必ず固定してください。

インターフェイスカードとコンピュータの設定条件が合っていますか？
インターフェイスカードとコンピュータの取扱説明書を参照して、同じ条件に設定してください。

インターフェイスカードが有効となる設定になっていますか？
インターフェイスカードによってはカード上のディップスイッチなどで有効/無効を選択するものがあります。カードの取扱説明書で確認してください。

パネル設定で［パラレル］または［MAC］固定になっていませんか？
パネル設定の［インターフェイス］が［パラレル］または［MAC］になっているとオプションのインターフェイスカードが使用できません。
パネル設定の［インターフェイス］を［ジドウ］または［オプション］に設定してください。
本書「プリンタ設定メニュー」168 ページ

●ネットワーク環境下で印刷ができない

プリンタとコンピュータを1対1で接続して、印刷を行ってみてください。
1対1の接続で印刷ができる場合は、ネットワークの環境に問題があります。システム管理者にご相談いただくか、お使いのシステムやインターフェイスカードなどの取扱説明書を参照してください。
1対1の接続で印刷ができない場合は、本書の該当項目を参照してください。

● NEC製98版Windows 95を使用して印刷ができない

NEC PC-9821シリーズに変換コネクタ（ハーフピッチ36ピン→14ピン）が装着されていませんか？
変換コネクタ（ハーフピッチ36ピン→14ピン）を取り外して、エプソン製ケーブルPRCB5Nで接続してください。

● Macintoshで印刷に時間がかかる、印刷が始まらない

Macintosh本体のシステムの空きメモリ容量が少ないと、印刷時間がかかる（または印刷がなかなか始まらない）場合があります。この場合は、使用していないアプリケーションソフトを終了するなどしてメモリの空き容量を増やすか、Macintoshのメモリを増設してください。

- システムの空きメモリ容量とは、アップルメニューから［このMacintoshについて...］(Mac OS 7.6以降では［このコンピュータについて...］)を選択したときのウィンドウに表示される「最大未使用ブロック：」の値です。
- 印刷に必要な空きメモリ容量については、以下のページを参照してください。
  ☞ スタートアップガイド「システム条件の確認」53 ページ
- 必要な空きメモリ容量が得られない場合は、暫定的にMacintoshの仮想メモリを使用してください。（［システムが使用するメモリ］+［印刷に必要な空きメモリ容量］以上の値を割り当ててください。）

ご使用の環境にもよりますが、以上の措置により、より快適にご使用になれる場合があります。

● Macintoshのセレクタ画面にプリンタドライバが表示されない

本製品に同梱のプリンタドライバはQuickDraw GXには対応しておりませんので、QuickDraw GXがインストールされているMacintoshのセレクタ画面には、本製品のプリンタドライバは表示されません。

この場合、QuickDraw GXを使用停止にしてから、セレクタ画面を開いてください。

● 印刷した用紙の裏側が汚れる

プリンタ内部が汚れていませんか？

プリンタ内部の汚れを取り除いてください。

☞ 本書「プリンタのお手入れ」154 ページ

通常は印刷イメージが用紙幅より大きい場合や用紙が斜行すると印刷が停止しますが、パネル設定の「ヨウシハバケンシュツ」や「シャコウエラーケンシュツ」が「OFF」になっているとそのまま印刷され、印刷領域からはみ出すためプリンタ内部が汚れます。
プリンタ内部を汚さないためにも、パネル設定の「ヨウシハバケンシュツ」や「シャコウエラーケンシュツ」は「ON」に設定してください。

● Windowsでプリンタドライバのコピーができてしまったら？

Windowsにおいて、MC-9000のプリンタドライバがインストールされている状態で新たにMC-9000のプリンタドライバをインストールすると、プリンタフォルダ（[スタート］から［設定］-［プリンタ］）の中に［EPSON MC-9000（コピー 2）］、[EPSON MC-9000（コピー3)］というように、コピーという名称でアイコンが増えていきます。

この場合は、インストールされたMC-9000のプリンタドライバの中でもっとも新しいバージョンのプリンタドライバがコンピュータに登録されます。プリンタフォルダの中にはコピーも含めていくつかのMC-9000のアイコンが存在することになりますが、どれを使用しても同じく印刷が可能です。

したがって、［EPSON MC-9000］アイコンを残して、コピーのアイコンは削除しても何ら問題はありません。プリンタフォルダ内に［EPSON MC-9000］アイコンが1つでも残っていれば、ほかのMC-9000のアイコンを削除しても、MC-9000のプリンタドライバ自体が削除されることはありません。

● 最新のプリンタドライバを入手したい

通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要な場合があります。
そのような場合は、以下のページを参照し、プリンタドライバを入手してください。
本書「プリンタドライバのバージョンアップ」218 ページ

お問い合わせいただく前に

「困ったときは」の内容を確認しても、現在の症状が改善されない場合は、トラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

プリンタ本体の故障なのか、ソフトウェアのトラブルなのかを判断します。→プリンタの動作確認

本機は、プリンタ内部で持っているノズルチェックパターンを印刷する機能をもっています。コンピュータと接続していない状態で印刷できる

1. **電源をオフにし、プリンタケーブルを外します。**
2. **電源をオンにします。**
3. **プリンタにロール紙をセットし、[用紙選択]スイッチで用紙を選択します。**
4. **[パネル設定]スイッチを2回押します。**
   パネルに「テストインサツメニュー」と表示されます。
5. **[設定項目]スイッチを押します。**
   パネルに「ノズルチェックパターン=インサツ」と表示されます。
6. **[設定実行]スイッチを押します。**
   ノズルチェックパターンの印刷を開始します。印刷しない場合は、1からもう一度やり直してください。

正常に印刷ができない ↓

お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。

☞本書「サービス・サポートのご案内」219 ページ

正常に印刷できる ↓

次ページへ

プリンタドライバ類のトラブルなのか、アプリケーションソフトのトラブルなのかを判断します。

Windows標準添付のワードパッドおよび、Macintosh標準添付のSimpleTextで簡単な印刷が行えるかどうかを確認します。

Windows

［ファイル］メニュー内の［印刷］を実行します。

Macintosh

［ファイル］メニュー内の［プリント］を実行します。

正常に印刷ができない

プリンタドライバのインストール・設定・バージョンに問題があると考えられます。プリンタドライバをインストールし直してください。

正常に印刷できる

- ご使用のアプリケーションソフトでの設定が正しくされていない可能性があります。
  この場合は、各アプリケーションソフトの取扱説明書を確認して、アプリケーションソフトのお問い合せ先へご相談ください。
- プリンタドライバをバージョンアップさせることにより、正常に印刷できるようになる場合があります。プリンタドライバをバージョンアップしてみてください。

本書「プリンタドライバのバージョンアップ」218 ページ

それでもトラブルが解消できない場合は、お買い求めいただいた販売店、またはエプソンの修理窓口へご相談ください。
本書「サービス・サポートのご案内」219 ページ

ポイント

お問い合せの際は、ご使用の環境(コンピュータの型番、アプリケーションソフトウェアの名称やバージョン、その他周辺機器の型番など)と、本機の名称（MC-9000）をご確認のうえ、ご連絡ください。

付録

ここでは、より快適にお使いいただくための提案や、本製品をお使いいただくうえで知っておいていただきたいことなどについて説明しています。

オプションと消耗品の紹介

本機をより幅広くお使いいただくために、以下のオプション（別売品）と消耗品を用意しています。

インターフェイスケーブルについては以下のページを参照してください。
☞ スタートアップガイド「コンピュータとの接続」41 ページ

● 専用紙

用紙名称	サイズ	型番
普通紙ロール	24インチ幅×45m（2本入）	PMSP24R6
	36インチ幅×45m（2本入）	PMSP36R6
	44インチ幅×45m（2本入）	PMSP44R6
MC光沢紙ロール	22インチ幅×20m	MCSP22R3
	44インチ幅×20m	MCSP44R3
MC光沢紙	A3	KA320MK
	A3ノビ	KA3N20MK
MC写真用紙ロール＜光沢＞	24インチ幅×30.5m	MCSP24R1
	36インチ幅×30.5m	MCSP36R1
	44インチ幅×30.5m	MCSP44R1
MC写真用紙ロール＜半光沢＞	24インチ幅×30.5m	MCSP24R2
	36インチ幅×30.5m	MCSP36R2
	44インチ幅×30.5m	MCSP44R2
MC厚手マット紙ロール	24インチ幅×25m	MCSP24R4
	36インチ幅×25m	MCSP36R4
	44インチ幅×25m	MCSP44R4
光沢フィルムロール	24インチ幅×20m	PMSP24R5
	36インチ幅×20m	PMSP36R5
	44インチ幅×20m	PMSP44R5
MC画材用紙ロール	24インチ幅×18m	MCSP24R6
	36インチ幅×18m	MCSP36R6
	44インチ幅×18m	MCSP44R6
MC画材用紙（単票紙）	A3ノビ	KA3N20MG
MCマット合成紙ロール	24インチ幅×40m	MCSP24R5
	36インチ幅×40m	MCSP36R5
	44インチ幅×40m	MCSP44R5
MCマット合成紙ロール＜のり付＞	24インチ幅×30.5m	MCSP24R5N
	36インチ幅×30.5m	MCSP36R5N
	44インチ幅×30.5m	MCSP44R5N

● インクカートリッジ

型番	名称
MC1BK02	インクカートリッジ(ブラック)
MC1Y02	インクカートリッジ (イエロー)
MC1M02	インクカートリッジ (マゼンタ)
MC1LM02	インクカートリッジ (ライトマゼンタ)
MC1C02	インクカートリッジ (シアン)
MC1LC02	インクカートリッジ(ライトシアン)

本書「インクカートリッジの交換」136 ページ

● カッター替え刃

型番	名称
PM90SPB	ペーパーカッター替え刃

本書「カッターの交換」142 ページ

● スピンドル

ロールをセットするスピンドルには標準の2インチ紙管用の他に3インチのものもあります。

型番	名称	説明
PM90RPSD2	ロール紙スピンドル (2インチ紙管)	内径約5cmのロール紙をセットするスピンドルです。
PM90RPSD3	ロール紙スピンドル (3インチ紙管)	内径約7.7cmのロール紙をセットするスピンドルです。
MC90HSD2	ハイテンションスピンドル (2インチ紙管)	内径約5cmのロール紙をセットするハイテンションスピンドルです。
MC90HSD3	ハイテンションスピンドル (3インチ紙管)	内径約7.7cmロール紙をセットするハイテンションスピンドルです。

ロール紙の種類によってはハイテンションスピンドル(オプション)を使用しないと正常に印刷できないものがあります、ハイテンションスピンドルを使用する必要があるかについてはロール紙の取扱説明書をご覧ください。また指定のロール紙以外で使用すると印刷品質に影響したり、プリンタが故障する原因になります。

● 自動巻き取りユニット

本機専用のオプションです。取り付けや使い方については、オプションの取扱説明書を参照してください。

型番	名称	説明
PM90ARFU	自動巻き取りユニット	印刷されたロール紙を自動で巻き取る装置です。
PM90ARFSP	巻き取りユニット用交換紙管	PM90ARFU専用の巻き取り用3インチ紙管です。

● インターフェイスカード

本機に標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。カードの取り付け方は以下のページを、そのほかの設定などについてはカードの取扱説明書を参照してください。

☞ 本書「インターフェイスカードの取り付け」215 ページ

型番	仕様	解説
PRIFNW1S	10BASE-T/2対応 マルチ プロトコル Ethernet I/Fカード	本機をEthernetでネットワーク環境に接続するためのインターフェイスカードです。 IPX/SPX(NetWare,Windows95/98/NT4.0/2000)、TCP/IP(Windows95/98/NT4.0/2000)、NetBEUI (Windows95/98/NT4.0/2000,OS/2 Warp)、AppleTalk(Macintosh)に対応しています。 接続には、次のケーブルが別途必要です。 • PRIFNW1S Ethernet 10 BASE2 シン(THIN)同軸ケーブル Ethernet 10BASE-Tツイストペアケーブル • PRIFNW2S Ethernetシールドツイストペアケーブル(カテゴリー5)
PRIFNW2S	100BASE-TX、10BASE-T マルチプロトコルEthernetI/Fカード	
PRIF14	IEEE1394 I/Fカード	本機をIEEE-1394規格(FireWire)のインターフェイスを装備したコンピュータに接続するためのインターフェイスカードです。

本機をMacintoshシリーズと接続して使用する際は、本製品に添付されているMacintosh用プリンタドライバをお使いください。

● PostScript

PostScriptプリンタとしてお使いいただくためのオプションです。

型番	名称
PS-6300	PostScript® Interpreter搭載プリントサーバ
PSCC	カラーキャリブレータ

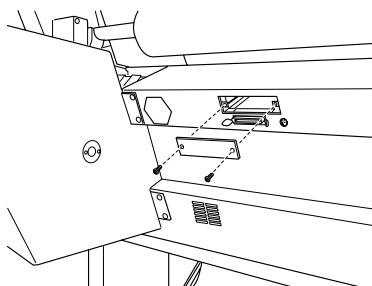
インターフェイスカードの取り付け

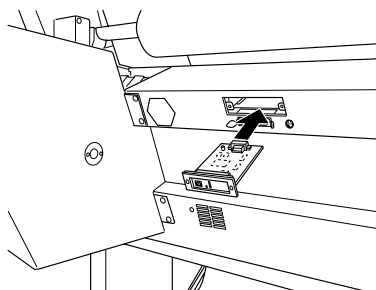
カードの取り付けにはプラスドライバが必要です。あらかじめご用意ください。

インターフェイスカードの取り付けや取り外しは、必ず電源をオフにし、電源プラグをコンセントから抜き、ケーブル類を外してから行ってください。接続したまま作業を行うと、プリンタまたはコンピュータが故障する原因となります。

1. **プリンタの電源をオフにします。**

2. **ケーブル類を外します。**
電源プラグをコンセントから抜き、プリンタに接続しているインターフェイスケーブル を外します。

3. **コネクタカバーのネジをプラスドライバで外します。**

4. **カード上のディップスイッチやジャンパスイッチの設定を確認します。**
詳細は各カードの取扱説明書を参照してください。

5. **カードの左右をプリンタ内部の溝に合わせて差し込みます。**
コネクタが接続されるまで奥にしっかり押し込んでください。

6. **カードの両側をネジで固定します。**

7. **カードにインターフェイスケーブルを接続します。**

8. **外したケーブル類や電源プラグを元通りに取り付けます。**
以上でインターフェイスカードの取り付けは終了です。

インターフェイスケーブルを交換する方法(Windows98/2000)

パラレルケーブルとUSB変換ケーブルでは印刷のために必要なドライバや印刷先の設定が異なります。ケーブルを交換して印刷する場合は以下の手順に従ってください。

● パラレルケーブルをUSB変換ケーブルに交換する場合

1. アプリケーションを起動している場合は終了させます。

2. MC-9000プリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3を一旦削除します。

   本書「プリンタドライバの削除」64 ページ

3. プリンタの電源をオフにしてUSB変換ケーブルをプリンタに接続します。

ポイント
ここではまだUSB変換ケーブルをコンピュータに接続しないでください。プリンタドライバをインストールするときに接続します。

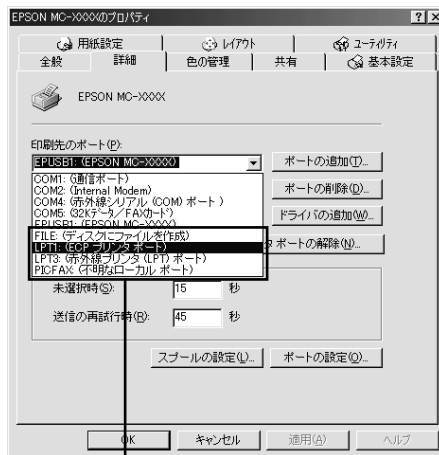
4. スタートアップガイドを参照して、プリンタドライバなどをインストールします。

   スタートアップガイド「プリンタドライバのインストール」47 ページ

ポイント
- パラレルケーブルを外すときは、プリンタ、コンピュータそれぞれの電源をオフにしてから外してください。
- インストールは、必ず「スタートアップガイド」の手順に従って行ってください。それ以外の手順では正しくインストールできません。

● USB変換ケーブルをパラレルケーブルに交換する場合

1 印刷先のポートを［EPUSBx:（MC-9000)］(Windows98）/［USB MC-9000]（Windows 2000）から［LPT1］に変更します。

☞ 本書「プリンタ接続先の設定」52 ページ

選択します

- **印刷先のポートを変更するだけでも印刷できますが、より良い環境でお使いいただくために、一旦プリンタドライバとEPSONプリンタウィンドウ!3を削除してから、プリンタとコンピュータの電源をオフにしてケーブルを接続し直し、「スタートアップガイド」の手順に従って再度プリンタドライバなどのインストールを行っていただくことをお勧めします。**
- **インストールは、必ず「スタートアップガイド」の手順に従って行ってください。それ以外の手順では正常にインストールできません。**

プリンタドライバのバージョンアップ

Win

Mac

通常は本製品に同梱されているプリンタドライバで問題なくご利用いただけますが、アプリケーションソフトなどのバージョンアップに伴い、プリンタドライバのバージョンアップが必要な場合があります。
そのような場合は、下記の方法でプリンタドライバを入手してください。

- パソコン通信をご利用の方は、下記BBSよりダウンロード[*1]が可能です。
  @niftyパソコン通信サービス：EPSON Information Forum
  （コマンド GO□FEPSONI）
  □は、半角スペースです。
  * @nifty（アットニフティ）会員のうち、旧NIFTY SERVE会員のみ利用可能。
- インターネットの場合は、次のホームページからダウンロードできます。
  【アドレス】　http://www.i-love-epson.co.jp
  【サービス名】 ドライバダウンロード
- CD-ROMでの郵送をご希望の場合は、「エプソンディスクサービス」で実費にて承っております。

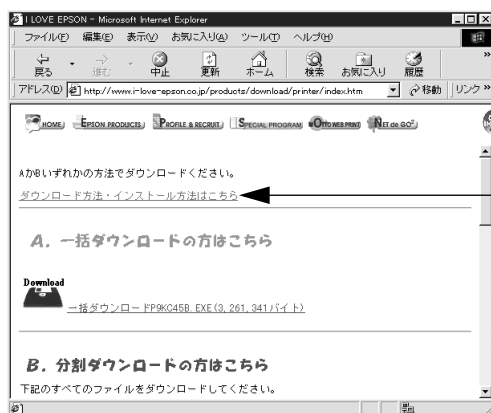
*1 ダウンロード：ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

インストール手順

ダウンロードした最新プリンタドライバは圧縮[*2]ファイルとなっていますので、次の手順でファイルを解凍[*3]してからインストールしてください。

*2 圧縮：1つ、または複数のデータをまとめて、データ容量を小さくすること。

*3 解凍：圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

1. **ドライバをハードディスク内のディレクトリへダウンロードします。**
2. **［ダウンロード方法・インストール方法はこちら］をクリックし、表示されるページを参照して、解凍とインストールを実行してください。**

クリックします

画面はインターネットエクスプローラを使用してエプソン販売のホームページへ接続した場合です。

> **ポイント**
> **インストールを実行する前に、旧バージョンのプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。**
> **☞Windows：本書「プリンタドライバの削除」64 ページ**
> **☞Macintosh：本書「プリンタドライバの削除」108 ページ**

サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス、サポートをご案内いたします。

●エプソンFAXインフォメーション

EPSON製品に関する最新情報を24時間FAXでお引き出しいただけます。
FAX付属の電話機(プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種)からおかけください。
FAX番号：スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
情報内容：製品情報（カタログ、機能概要）
　　　　　技術情報（Q&A他）
　　　　　パソコンスクール、サービスセンター情報など

●エプソンインフォメーションセンター

EPSONプリンタに関するご質問やご相談に電話でお答えします。
受付時間：スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
電話番号：スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
お問い合わせの際には巻末の「お問い合わせ確認票」にご記入の上、お電話をおかけください。

●インターネット・パソコン通信サービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、
インターネット、パソコン通信による情報の提供を行っています。

- インターネット
  【アドレス】　http://www.i-love-epson.co.jp
  【サービス名】ドライバダウンロード
- パソコン通信名
  @niftyパソコン通信サービス　：EPSON information Forum
  (コマンド：GO□FEPSONI)
  □は、半角スペースです。

* @nifty（アット・ニフティ）会員のうち、旧NIFTY SERVE会員のみ利用可能。

●ショールーム

EPSON製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）
受付時間：スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。
所在地　：スタートアップガイド巻末の一覧表をご覧ください。

● パソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。
でも分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。
エプソン・デジタル・カレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせはスタートアップガイド巻末の一覧をご覧ください。

●エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応
  スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心
  万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単
  エプソンサービスパック登録書をFAXするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化
  エプソンサービスパック規約内･期間内であれば､都度修理費用がかからず維持費用の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

●保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをお読みください。接続や設定に間違いがないことを必ず確認してください。

本書「困ったときは」173 ページ

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。
保守サービスに関してのご相談、お申込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンフィールドセンター
  （スタートアップガイド裏表紙の一覧表をご覧ください。）
  受付日時：月曜日～金曜日(土日祝祭日・弊社指定の休日を除く)
  受付時間：9:00～17:30

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスを用意しております。
詳細については、お買い求めの販売店または最寄りのエプソンフィールドセンターまでお問い合わせください。

<table>
<tr><th colspan="2" rowspan="2">種類</th><th rowspan="2">概要</th><th colspan="2">修理代金と支払方法</th></tr>
<tr><th>保証期間内</th><th>保証期間外</th></tr>
<tr><td>年間保守契約</td><td>出張保守</td><td>• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。
• 修理のつど発生する修理代・部品代*が無償になるため予算化ができて便利です。
• 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。
* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。</td><td>無償</td><td>年間一定の保守料金</td></tr>
<tr><td colspan="2">スポット出張修理</td><td>• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。
• 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。</td><td>無償</td><td>出張料＋技術料＋部品代
修理完了後、そのつどお支払いください</td></tr>
</table>

* 定期交換に伴う出張基本料・技術料・部品代が、保証期間内・外を問わず有償となります。
（年間保守契約の場合は、定期交換部品のみ、有償となります。）

* 当機種は、輸送の際に専門業者が必要となりますので持込保守および持込修理はご遠慮願います。

通信販売のご案内

EPSON製品の消耗品・オプション品・マニュアルがお近くの販売店で入手困難な場合は、以下の通信販売をご利用ください。

●お申し込み方法

エプソンOAサプライ株式会社にてお受けしております。

お電話で	フリーダイヤル：0120-251-528 受付時間 AM9:30〜PM6:15（土・日・祝祭日を除く）
FAXで	フリーダイヤル：0120-557-765 24時間受付 巻末の「FAXオーダーシート」をコピーし、必要事項をご記入の上、ご注文ください。
インターネットで	http://www2.i-love-epson.co.jp/eos/home/

*電話番号のかけ間違いにご注意ください。

●お届け方法

当日配送	当日PM4:30までのご注文受付分は、即日配送いたします。（在庫分のみ）
お届け予定日	本州・四国…翌日　北海道・九州…翌々日

● お支払い方法

代金引換	商品お受け取り時に商品と引き換えに宅配便配送員へ代金をお支払ください。
クレジット	UC、JCB、VISA、MC、DC、NICOS （支払回数は、NICOSのみ1・2・3・6・10・15・20回。それ以外は1回のみ）
銀行振込	法人でのお申し込みに限ります（新規お取り引きの場合は、事前にご登録が必要です。下記までご連絡ください）。 0120-251-528

●送料

お買い上げ金額の合計が5,000円以上の場合は、全国どこでも送料は無料
5,000円未満の場合は、全国一律525円（消費税込）

●消耗品カタログのご請求

消耗品のカタログをお送りいたします。上記の電話・FAX・インターネットにてお送り先をご連絡ください。

プリンタの仕様

プリンタの技術的な仕様について記載しています。

● 基本仕様

印字方式	フォトマッハジェット
ノズル配列	黒インク :64ノズル カラー :64ノズル x 5色
印字方向	双方向最短距離印刷
解像度	1440dpix 720dpi(最大)
コントロールコード	ESC/Pラスター
紙送り方式	フリクションフィード
内蔵メモリ	18MB

● インク仕様

形態	専用インクカートリッジ
型番	インクカートリッジ(ブラック) : MC1BK02 インクカートリッジ(イエロー) : MC1Y02 インクカートリッジ(シアン) : MC1C02 インクカートリッジ(ライトシアン) : MC1LC02 インクカートリッジ(マゼンタ) : MC1M02 インクカートリッジ(ライトマゼンタ) : MC1LM02
有効期間	個装箱、カートリッジに記載された期限(常温)
印字品質保証期限	6ヵ月(プリンタに取り付け後)
保存温度	保存時 : -30℃～40℃(個装保存時40℃の場合1ヵ月以内) 輸送時 : -30℃～60℃(個装輸送時60℃の場合120時間以内、40℃の場合1ヵ月以内)
カートリッジ外形寸法	幅25.1mm×奥行き260mm×高さ105.3mm
容量	220ml
重量	約370～385g

ポイント

- インクは-15 ℃以下の環境で長時間放置すると凍結します。万一凍結した場合は、室温(25 ℃)で3時間以上かけて解凍してから使用してください。
- インクカートリッジを分解したり、インクを詰め替えたりしないでください。

● 用紙仕様

用紙	品質	型番	サイズ	備考
ロール紙	普通紙ロール	PMSP24R6	24インチ幅×45m	
		PMSP36R6	36インチ幅×45m	
		PMSP44R6	44インチ幅×45m	
	MC光沢紙ロール	MCSP22R3	22インチ幅×20m	
		MCSP44R3	44インチ幅×20m	
	MC写真用紙ロール＜光沢＞	MCSP24R1	24インチ幅×30.5m	
		MCSP36R1	36インチ幅×30.5m	
		MCSP44R1	44インチ幅×30.5m	
	MC写真用紙ロール＜半光沢＞	MCSP24R2	24インチ幅×30.5m	
		MCSP36R2	36インチ幅×30.5m	
		MCSP44R2	44インチ幅×30.5m	
	MC厚手マット紙ロール	MCSP24R4	24インチ幅×25m	
		MCSP36R4	36インチ幅×25m	
		MCSP44R4	44インチ幅×25m	
	光沢フィルムロール	PMSP24R5	24インチ幅×20m	
		PMSP36R5	36インチ幅×20m	
		PMSP44R5	44インチ幅×20m	
	MC画材用紙ロール	MCSP24R6	24インチ幅×18m	
		MCSP36R6	36インチ幅×18m	
		MCSP44R6	44インチ幅×18m	
	MCマット合成紙ロール	MCSP24R5	24インチ幅×40m	
		MCSP36R5	36インチ幅×40m	
		MCSP44R5	44インチ幅×40m	
	MCマット合成紙ロール＜のり付＞	MCSP24R5N	24インチ幅×30.5m	
		MCSP36R5N	36インチ幅×30.5m	
		MCSP44R5N	44インチ幅×30.5m	
	普通紙 再生紙	幅297mm～1118mm 2インチ芯の場合 　長さ最大45m 3インチ芯に場合 　長さ最大202m ただしロールサイズ内であること。		用紙厚：0.08～0.11mm 用紙重量：64～90g/m^2 2または3インチ芯の場合： 　外径103mm以内（2本セット時） 3インチ芯の場合： 　外径150mm以内（1本セット時）
	その他	幅297mm～1118mm 長さ720mm～45m ただしロールサイズ内であること。		用紙厚：0.08～0.5mm
単票紙	MC光沢紙	KA320MK	A3	
		KA3N20MK	A3ノビ	
	MC画材用紙	KA3N20MG	A3ノビ	
	普通紙 再生紙	A3～B0ノビ		用紙厚：0.08～0.11mm 用紙重量：64～90g/m^2 用紙は必ず縦長にセットしてください。
	その他	A3～B0ノビ		用紙厚 　用紙長さ420～728mm：0.08～1.5mm 　用紙長さ728～1580mm：0.08～0.5mm

しわ、毛羽立ち、破れなどがある用紙は使用しないでください。

厚紙（用紙厚0.5mm以上）は、用紙長さ728mmまでです。

● 電気関係仕様

定格電圧	AC100V
入力電圧範囲	AC90～110V
定格周波数	50～60Hz
入力周波数範囲	49～61Hz
定格電流	1.0A/100V
消費電力	連続印刷時平均約100W以下（ISO10561 レターパターン印刷時）待機時30W以下
絶縁抵抗	10MΩ以上（DC500VにてACラインとシャーシ間）
絶縁耐力	AC1.0kVrms 1分またはAC1.2kVrms 1秒（ACラインとシャーシ間）
漏洩電流	0.25mA以下［社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合］
適合規格、規制	国際エナジースタープログラム、高調波抑制対策ガイドライン、VCCIクラスB

● 総合仕様

プリントヘッド寿命	20億ドット（1ノズルあたり）	
温度	動作時	10℃～35℃
	保存時	－20℃～40℃（40℃の場合1ヵ月以内）
	輸送時	－20℃～60℃（60℃の場合120時間以内、40℃の場合1ヵ月以内）
湿度	動作時	20～80%（非結露）
	保存時	20～85%（非結露）
	輸送時	5～85%（非結露）
プリンタ重量	プリンタ本体74kg、脚部22kg	
プリンタ外形寸法	本体のみ1688（W）×699（D）×1259（H）mm	

● 初期化

プリンタは次の3つの方法で、初期化（イニシャライズ）されます。

初期化の種類	方法
ハードウェア	電源を再投入時の初期化です。 プリンタのメカニズムやソフトウェア設定をすべて初期化し、入力データバッファをクリアします。
ソフトウェア	ソフトウェアにより、ESC @（プリンタ初期化）コマンドが送られたときの初期化です。 コントロールコードにより選択された機能や設定された値を、電源投入時と同じ状態にします。 プリンタのメカニズムは初期化しないで、入力データバッファもクリアしません。
パネル操作	電源スイッチを切断してから10秒以内に再投入したとき、またはプリンタがINIT信号を受信したときの初期化です。 プリントヘッドをキャッピング後に用紙を排紙します。さらに、入力データバッファをクリアします。プリンタのメカニズムは初期化しません。

● パラレルインターフェイス仕様

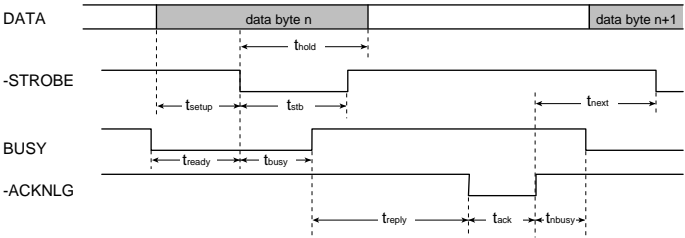
コンパチビリティモード

データ転送方式	8ビットパラレル
同期方式	外部供給部STROBEパルス信号
ハンドシェイク	ACKNLGおよびBUSY信号
ロジックレベル	入力データおよびコントロール信号はTTLレベルコンパチブル
適合コネクタ	57-30360（アンフェノール）の36ピンプラグまたは同等品 （インターフェイスケーブルは必要最短距離とすること）

コネクタ端子の信号配列と信号の説明

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	$\overline{\text{STROBE}}$	コンピュータ	データを読み込むためのストローブパルス。パルス幅は0.5μs以上必要。定常状態はHIGHであり、LOWになった後にデータを読み込む。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	コンピュータ	各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表す。HIGHはデータ1であり、LOWはデータが0であることを示す。
10	28	$\overline{\text{ACKNLG}}$	プリンタ	LOWは、プリンタがデータを受け取る準備ができていることを表すパルス信号。パルス幅は約1μsまたは3μs。
11	29	BUSY	プリンタ	HIGHは、プリンタがデータを受け取れない 状態であることを示す。LOWは、データを受け取れる状態であることを示す。HIGHになるのは次の場合である。 • データエントリー中 • エラー状態
12	28	PE	プリンタ	HIGHは、プリンタに用紙がないことを示す。(ERROR=LOWの場合に有効)
13	28	SLCT	プリンタ	常にHIGH状態。1.0kΩで+5Vにプルアップされている。
14	30	$\overline{\text{AFXT}}$	コンピュータ	未使用
15	—	NC	—	未使用
16	—	GND	—	ツイストペアリターン用グランド
17	—	Chassis	—	プリンタシャーシのグランド
18	—	Logic H	—	常にHIGH状態。3.9kΩで+5Vにプルアップされている。
19〜30	—	GND	—	ツイストペアリターン用グランド
31	30	INIT	コンピュータ	パルス幅50μs以上のLOWパルスの入力でプリンタは初期状態にセットされる。
32	29	$\overline{\text{ERROR}}$	プリンタ	LOWはプリンタがエラー状態であることを示す。
33	—	GND	—	ツイストペアリターン用グランド
34	—	NC	—	未使用
35	—	+5V	—	常にHIGH状態。1.0kΩで+5Vにプルアップされている。
36	30	$\overline{\text{SLCTIN}}$	—	未使用

- リターン側とは、ツイストペアリターンを意味し、信号グランドレベルに接続します。なお、インターフェイスについて、各信号は必ずツイストペア線を使用して、リターン側も必ず結線します。更にこのケーブルにはシールドを行い、コンピュータとプリンタのそれぞれシャーシグランドに接続することがノイズ対策上有利になります。
- インターフェイス条件はすべてTTLレベルを基準とします。各信号の立ち上がり、立ち下がり時間を0.2μs以下とします。
- 各信号のタイミングの詳細は、タイミングチャートを参照してください。
- ACKNLGまたはBUSY信号を無視してデータ転送を行わないでください(プリンタへのデータ転送はACKNLGを確認するか、またはBUSYがLOW状態のときに行う必要があります)。
- LOWアクティブ信号の場合、信号名の上に横棒が入っています。

パラレルインターフェイスタイミングチャート

Parameter	Minimum	Maximum
tsetup	500ns	-
thold	500ns	-
tstb	500ns	-
tready	0	-
tbusy	-	500ns

Parameter	Minimum	Maximum
treply	0	-
tack	500ns	10us
tnbusy	0	-
tnext	0	-

ニブルモード

データ転送方式	IEEE-1284ニブルモード
周期方式	IEEE-1284準拠
ハンドシェイク	IEEE-1284準拠
ロジックレベル	TTLレベル(IEEE-1284 Level 1 device)
データ転送タイミング	IEEE-1284準拠

コネクタ端子の信号配列と信号の説明

ピン番号	リターン側 ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	HostClk	コンピュータ	ホスト側のクロック信号
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	コンピュータ	各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表す。HIGHはデータ1であり、LOWはデータが0であることを示す。
10	28	PtrClk	プリンタ	プリンタ側のクロック信号
11	29	PtrBusy /DataBit3, 7	プリンタ	プリンタ側のBUSY信号およびリバースチャネルでのデータビット3またはデータビット7。
12	28	AckDataReq /DataBit2, 6	プリンタ	Acknowledgeデータ要求信号およびリバースチャネルでのデータビット2またはデータビット6。
13	28	Xflag /DataBit1, 5	プリンタ	X-flag信号およびリバースチャネルでのデータビット1またはデータビット5。
14	30	HostBusy	コンピュータ	ホスト側のBUSY信号
15	─	NC	─	未使用
16	─	GND	─	ツイストペアリターン用グランド
17	─	Chassis	─	プリンタシャーシのグランド
18	─	Logic H	プリンタ	常時HIGHレベル 3.9kΩで+5Vにプルアップされている。
19〜30	─	GND	─	ツイストペアリターン用グランド
31	30	$\overline{\text{INIT}}$	コンピュータ	未使用
32	29	$\overline{\text{Data Avail}}$ /DataBit0, 4	プリンタ	Data available信号およびリバースチャネルでのデータビット0またはデータビット4。
33	─	GND	─	ツイストペアリターン用グランド
34	─	NC	─	未使用
35	─	+5V	プリンタ	常時HIGHレベル 1.0kΩで+5Vにプルアップされている。
36	30	1284-Active	コンピュータ	1284active信号

ECPモード

データ転送方式	IEEE-1284ECPモード
周期方式	IEEE-1284準拠
ハンドシェイク	IEEE-1284準拠
ロジックレベル	TTLレベル(IEEE-1284 Level 1 device)
データ転送タイミング	IEEE-1284準拠

コネクタ端子の信号配列と信号の説明

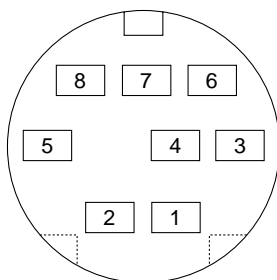
ピン番号	リターン側ピン番号	信号名	発信元	機能
1	19	HostClk	コンピュータ	ホストからプリンタへデータまたはアドレス情報を転送する。
2 3 4 5 6 7 8 9	20 21 22 23 24 25 26 27	DATA1 DATA2 DATA3 DATA4 DATA5 DATA6 DATA7 DATA8	コンピュータ	各信号はパラレルデータの1ビット目から8ビット目までの情報を表す。HIGHはデータ1であり、LOWはデータが0であることを示す。
10	28	PeriphClk	プリンタ	プリンタからホストへデータを転送する。
11	29	PeriphAck	プリンタ	プリンタは本信号をフォワード方向のフロー制御のために使用する。また本信号はリバース方向のデータ信号上に出力されているのがコマンド情報かデータ情報かどうか判断するために使うデータビット9を提供。
12	28	nAckReverse	プリンタ	プリンタはLOWにドライブし、nReverseRequestを承認する。
13	28	Xflag	プリンタ	X-flag信号およびリバースチャネルでのデータビット1またはデータビット5。
14	30	HostAck	コンピュータ	ホストは本信号をリバース方向のフロー制御のために使用する。また本信号はフォワード方向のデータ信号上に出力されているのがコマンド情報かデータ情報かどうか判断するために使うデータビット9を提供。
15	–	NC	–	未使用
16	–	GND	–	ツイストペアリターン用グランド
17	–	Chassis	–	プリンタシャーシのグランド
18	–	PeriphLogicH	プリンタ	常時HIGHレベル 3.9kΩで+5Vにプルアップされている。
19〜30	–	GND	–	ツイストペアリターン用グランド
31	30	nReverseRequest	コンピュータ	チャンネルをリバース方向に切り替えるために、本信号をLOWにする。
32	29	nPeriphRequest	プリンタ	本信号はホスト割り込みを発生させるために使用する。
33	–	GND	–	ツイストペアリターン用グランド
34	–	NC	–	未使用
35	–	+5V	プリンタ	常時HIGHレベル 1.0kΩで+5Vにプルアップされている。
36	30	1284-Active	コンピュータ	1284active信号。ECPモード中はHIGH

● Macintosh用シリアルインターフェイス仕様

シリアルインターフェイスは、RS-423に準拠しています。

通信プロトコル	データ長	8ビット
	パリティ	なし
	スタートビット	1ビット
	ストップビット	1ビット
同期方式	同期転送	
ビットレート	最大約1.8Mbps	
ハンドシェイク	DTRおよびXON/XOFF制御	
適合コネクタ	Mini Din 8pinコネクタ	
推奨ケーブル	Apple社製Mini Din 8pinシステムペリフェラル-8ケーブル（型式:M0197LLB）	

入力信号（コネクタ端子の信号配列と信号）

ピン	信号名	発信元	機能
1	SCLK	プリンタ	同期クロック
2	CTS	コンピュータ	クリアトゥーセンド
3	TxD-	プリンタ	データ送信
4	S.G.	コンピュータ	信号グランド
5	RxD-	コンピュータ	受信データ
6	TxD+	プリンタ	データ送信/バランスト
7	DTR	プリンタ	データターミナルレディ
8	RxD+	コンピュータ	受信データ/バランスト

DTRおよびXON/XOFF　ハンドシェイクのタイミング

状態	入力バッファ空き容量	DTR	XON/XOFF
ビジー	2048バイト以下	オフ	XOFF出力
レディ	4096バイト以上	オン	XON出力

用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

A

AppleTalk（アップルトーク）
Macintoshの、ネットワーク用通信規約とそのソフトウェア。

B

Bit（ビット）
コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位で「2進数（Binary digit」の略。実数を2つの数字（0または1）で表す。

Byte（バイト）
コンピュータやプリンタが扱う情報（データ量）の単位。
1Byte=8 Bit（ビット）で構成され、1Byteで英数カナ文字1文字、2Byteで漢字1文字を表現する。

C

ColorSync（カラーシンク）
アップルコンピュータ社が提供する、Macintosh用のカラーマネジメント機能の1つ。原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色の合わせ込みを行う。ColorSyncの機能を100%発揮させるためには、使用する機器とソフトウェアの全てが、ColorSyncに対応している必要がある。

CPI（Characters Per Inch/シーピーアイ）
25.4mm｛1インチ｝の範囲に印字できる文字数を表す単位。
文字ピッチを示す単位として使う。

D

DPI（Dot Per Inch/ディーピーアイ）
解像度の単位で、25.4mm｛1インチ｝幅に印字できるドット数を示す。

DMA（Direct Memory Access）
CPUを介さずに直接メインメモリと周辺装置、あるいは周辺装置内でデータをやりとりする機能。

E

ESC（Escape/エスケープ）
拡張用の制御コード。次に続くコードと組み合わせて1つの機能を実現する。コードの27（〈1B〉H）。

ESC/P（EPSON Standard Code for Printer/イーエスシーピー）
セイコーエプソンが標準化した、ターミナルプリンタ用コントロールコード体系。

EtherTalk（イーサトーク）
MacintoshをEthernet（イーサネット）に接続するための、AppleTalk の通信規約。LocalTalkより通信速度が速い。

F

FG線
プリンタとコンピュータとの間の電位差をなくし、動作を安定させるために接続するコード。通常、インターフェイスケーブルに用意されている。

J

JIS（Japanese Industrial Standard/ジス）
日本工業規格で規定した、日本国内の文字コードの規格。

K

KB（Kilo Byte/キロバイト）
データ量の単位。1KByte=1024 Byte。

M

MB（Mega Byte/メガバイト）
データ量の単位。1MByte=1024 KByte=1024×1024 Byte。

O

OS
オペレーティングシステム（Operating System）の略。コンピュータのシステムを管理する基本ソフトウェア。

R

RAM(Random Access Memory/ラム)
データなどを読み書きできるメモリ。

ROM (Read Only Memory/ロム)
データなどの読み出し専用のメモリ。

RS-423(アールエス423)
シリアルインターフェイスの規格の1つ。

V

VGA(ヴイジーエー)
もともと、IBM PS/2のグラフィックス制御用チップの名称で、解像度・色数などのディスプレイへの表示能力を示す。VGAを拡張したSVGAという規格もある。
VGA：640× 480ドット16色
SVGA：800× 600ドット256色
　　　1024× 768ドット256色
* コンピュータのグラフィックアクセラレータの性能により、更に高解像度・多色表示が可能。

数字

16進数
16進法で用いる英数字。一般的には、0〜9まではそのままの数字で、10〜15はA〜Fで表す。

アイウエオ

ア

アイコン
コンピュータの画面上に表示される、ファイルや書類,フォルダなどを象徴する図柄。

圧縮(データ圧縮)
1つ、または複数のファイルを1つにまとめて、データ容量を小さくすること。圧縮されたデータは展開して、元のデータに戻して使用する。(これを「解凍」と言う。)

アプリケーションソフトウェア
コンピュータ上で実務処理などを行うためのソフトウェア。
ワープロソフト、表計算ソフト、画像処理ソフトなどがある。

イ

インクカートリッジ
印刷用のインクが入った容器。

インクジェットプリンタ
プリントヘッドのノズル部分からインクを用紙に吹きつけて印刷するプリンタ。

インストーラ
CD-ROMやフロッピーディスクで供給されるデータやソフトなどを自分のコンピュータのハードディスクにコピーし、さらに、使用できる状態に環境を自動的に整えるソフト。

印刷領域
印刷内容が欠落することなく用紙に印刷されることを保証する領域。この領域を超えて作成されたデータは、印刷されないか、2ページにまたがって印刷される。

インターフェイス
異なる機器が接続される接点（境界面)。また、それらの機器間でデータなどをやりとりするためのハードウェアやソフトウェアの接続仕様。

インターフェイスカード
プリンタに標準装備されているインターフェイス（本機の場合は、「パラレル」と「Macintosh用シリアル」）以外に、更にインターフェイスを増やしたい場合にプリンタに取りつけるカード。目的に合わせてさまざまなカードが用意されている。

インターフェイスケーブル
プリンタとコンピュータを接続するケーブル。

インターフェイスコネクタ
インターフェイスケーブルを差し込む端子。

インチ
長さの単位で、1インチは約25.4mm。

オ

オプション
本書では、別売りのプリンタ関連用品を意味する。

カ

改行
印刷位置を次行の左マージン位置に移動すること。

解像度
画質の細かさを表す指標で、一般にDPI（dot per inch; 25.4mm{1インチ}あたりのドット数）の単位で表わす。
解像度が大きければそれだけ画質も良くなるが、データの容量も多くなり印刷に時間がかかる。

解凍
圧縮されたデータを展開して、元のファイルに復元すること。

改頁
印刷位置を次ページ先頭の左マージン位置（印字開始位置）に移動すること。

カラーマッチング
原画（印刷データ）、ディスプレイ上の表示、印刷結果の色を合わせ込む機能。

キ

キャッピング
プリントヘッドの乾燥を防ぐためにプリンタが自動的にプリントヘッドにキャップをする機能。

ギャップ調整
黒/カラーインクの吐出位置を調整する機能。この機能を実行することにより、双方向印刷時の縦罫線のズレや、黒インクとカラーインクの印刷位置のズレを補正する。

キャリッジ
プリントヘッドやインクカートリッジを左右に移動させる部分。

給紙
セットされている用紙をページ先頭位置まで紙送りすること。

ク

グラフィックアクセラレータ
WindowsやMacintoshが動作するパソコンにおいてグラフィックス表示を高速化する専用ビデオアダプタ。

クリック
マウスのボタンを“カチッ”と1回押すこと。

クリーニング
プリントヘッドの表面を清掃し、ノズルの詰まりを解消する機能。

コ

コントロールコード
プリンタの機能を制御するためにコンピュータからプリンタ側へ送られるコード（命令符号）。

シ

充てん
プリントヘッドノズル（インク吐出孔）の先端部分までインクを満たして、印刷できる状態にすること。

初期設定値
電源スイッチをオンしたときに選択される設定。

初期動作
電源スイッチをオンにしたときに行われる、プリンタのウォーミングアップ。

シリアルインターフェイス
データを1ビットずつ転送するインターフェイス。

セ

セルフクリーニング
プリントヘッドのノズルの目詰まりを防ぐために、自動的にプリントヘッドをクリーニングする機能。

タ

ダウンロード
ホストコンピュータに登録されているデータを、ネットワーク通信などを介して自分のコンピュータに取り出す（コピーする）こと。

ダブルクリック
マウスのボタンを、速い操作で2回連続して“カチカチッ”と押すこと。

チ

チェックボックス
ダイアログボックスやウィンドウ内で、項目（機能）の有効/無効を指定するための四角いマーク。クリックで有効⇔無効を切り替える。有効の場合は四角の中に×や4が表示され、無効の場合は四角の中が空白になっている。

テ

ディレクトリ
大量のファイルを整理および管理するために考え出された概念。ディレクトリ名は、記憶装置（ハードディスクやCD-ROMなど）のどこにファイルが記憶されているかを示す「住所」のような働きをする。

デバイス
CPUに接続する全てのハードウェア装置の意味。

ト

ドライブ
CD-ROM、ハードディスク、フロッピーディスクなどの駆動装置。Windowsの場合、管理のために各ドライブにアルファベットを割り振りドライブ名としている。

ノ

ノズル
インクの吐出孔。インクが乾燥したりしてこの孔が詰まると、印刷品質が悪くなる。

ノズルパターン
プリントヘッドのノズル（インク吐出孔）が詰まっていないかどうかを確認するための格子状のパターン（図柄）。格子状のパターンの中に印刷されない箇所（線が途切れている箇所）がある場合は、ノズルが詰まっているので、プリントヘッドのクリーニングを行う必要がある。

ハ

排紙
用紙をプリンタから排出すること。

バッファ
コンピュータから送られてきた印刷データを一時的に蓄えておくメモリ。

パラレルインターフェイス
データ転送を8ビットずつ行う転送方式のインターフェイス。

フ

フォーマット
ハードディスクやフロッピーディスクなどを利用するOSに合わせて初期化すること。

フォルダ
ディレクトリと同義語。画面上ではディレクトリと言わずフォルダと呼ばれる場合が多い。

フォント（書体）
字体のこと。明朝体・ゴシック体などがある。

プラグアンドプレイ
Windows95/98で提供される、コンピュータにハードウェア（プリンタなど）を接続するだけで自動的に動作環境が設定されてすぐに使用可能状態になる機能。

プリンタドライバ
アプリケーションソフトウェアの命令をプリンタのコマンドに変換する、システムの一部に組み込むもの（またはソフトウェアの一部）。

プリントヘッド
用紙にインクを吹きつけて印刷する部分（ノズル先端部分）。外部からは見えない位置にある。

ヘ

ページ先頭位置
用紙の一番初めに印刷される位置。

ホ

ポイント

マウスカーソルをメニューの項目に合わせることで、クリックをしなくてもその先の階層メニューが自動的に表示される。

ポート

プリンタやモデムなどの周辺機器をコンピュータに接続するために使うコネクタやソケット。

マ

マージン

余白のことで、物理的に印刷不可能な用紙上の領域を言う。

マイクロウィーブ機能

行ごとのムラを少なくし、より高品質なグラフィックスイメージを表現する、エプソン独自の機能。

メ

メモリ

情報（データ）を保存する部分。プログラムのような固定された情報を保持するROM（Read Only Memoryー読み出し専用メモリ）や、一時的に情報を格納するRAM（Random Access Memoryー読み書き可能メモリ）などがある。

ラ

ラジオボタン

ディスプレイ上に表示されるダイアログボックスやウィンドウの中で、複数の選択肢の中から1つを選択するための丸いボタン。選択されていない状態は○、選択されて有効になっている状態は◉で表示される。

リ

リセット

バッファをクリアし、各設定値を初期設定値に戻すこと。

ロ

ローカルプリンタ

コンピュータのポートと直接インターフェイスケーブルで接続されているプリンタを意味します。

索引

お問い合わせ確認票

コピーしてお使いください。
電話にてエプソンインフォメーションセンターへお問い合せいただく際にご使用ください。あらかじめご記入のうえ電話をおかけいただくことにより、トラブルの解決がよりスムーズに行えます。

*印については次のページを参照してください。

項目	内容	
プリンタ機種名		
コンピュータメーカー名		
コンピュータOS	□Windows95[*1]	Ver.
	□Windows98[*1]	Ver.
	□WindowsNT4.0	Ver.
	□Windows2000	Ver.
	□MacOS[*2]	Ver.
	□その他	Ver.
接続ケーブル	EPSON製　□USBCB1　□PRCB4N　□PRCB5N　□#8238	
	その他　□メーカー名	型番
	バッファ、切替機など	□有り □無し
セルフテスト印刷	□正常　□正常でない お問い合せの際は念のため、お手元に印刷結果をご用意ください。	
プリンタドライバ	プリンタドライバのバージョン[*3]	Ver.
	CD-ROM（またはFD）のリビジョン[*4]	Rev.
	TestPageの印刷（Windows95/98/NT4.0/2000のみ） □正常 □正常でない	
	プリンタドライバの再インストール □行った □行っていない	
アプリケーションソフト	メーカー名	
	ソフト名	
	バージョン Ver	
	上記アプリケーションソフトで他のデータを印刷した場合 □正常に印刷できる □正常に印刷できない	
	他のアプリケーションから印刷を行った場合 使用アプリケーション名 □正常に印刷できる □正常に印刷できない	
今回のようなトラブルの現象は以前からありましたか？	□以前からあった □以前はなかった	
今回のようなトラブルはどのくらいの頻度で発生しますか？	□毎回必ず発生する □ほとんどの場合に発生する □発生したりしなかったり	
お客様IDコード（取得済みの方のみ）	プリンタの製造番号[*5]	

お問い合わせ確認票記入のために

*1 Windows95/98のバージョン（Ver.）の確認方法

［スタート］から［設定］－［コントロールパネル］を開きます。
［システム］のアイコンをダブルクリックして開き、［情報］（［全般］のタブの画面の［システム］の部分で［Windows95/98］の次に記載されている部分が該当します。

*2 Mac OSバージョン（Ver.）の確認方法

［アップルメニュー］から［このコンピュータについて］を選択します。ウィンドウの右上にバージョンが表示されます。

*3 プリンタドライバのバージョン（Ver.）の確認方法

Windowsの場合
プリンタドライバのプロパティ画面の左下に表示されます。

Macintoshの場合
［印刷］ダイアログや［用紙設定］ダイアログの上部に表示されます。

*4 プリンタドライバのリビジョン（Rev.）の確認方法

お客様がプリンタドライバのインストールに使用されたCD-ROMに記載の「Vol.」が該当します。

*5 プリンタの製造番号の確認方法

プリンタの保証書、もしくはプリンタ本体背面に貼ってあるシールに記載があります。

修理依頼票

お手数をおかけして申し訳ございませんが、迅速・確実な修理をするために、必要事項をご記入の上、必ず製品に添付してください。

☐ 初めての故障
☐ 再修理

機 種 名		製造番号										
お買上店名		お買上日　　　　　年　　月　　日										
修理品への添付	☐ 保証書　☐ケーブル（種類：　　　　　　）☐（　　　　　　　） ☐（　　　　　　）☐（　　　　　　　）☐（　　　　　　　）											

☆発生日時/頻度について、ご記入ください。

初めて故障した日時	年　　月　　日
故障が発生するとき	電源オン時・使用開始直後・使用開始後　分/時間してから・電源オフ時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（　時間/ 日に 回）・まれ（　週間に 回）

☆故障内容について、文字・イラストなど、具体的にご記入ください。

【お願い】 印刷結果の不具合は、必ず“印字サンプル”を添付してください。用紙によって発生する場合は、該当紙の添付をお願いします。また、特定のファイルで現象が発生する場合、差し支えなければ、データの添付をお願いいたします。	
故障発生時の用紙	種類：　　　　　　メーカー：　　　　　規格：
平均使用時間	時間/日（　枚/A4相当）or　　　時間/月（　枚/A4相当）

☆お客様のコンピュータについてご記入ください。

コンピュータ	メーカー名：　　　　　　モデル名：
メモリサイズ	標準（　　　）MB＋増設（　　　）MB
接続インターフェイス	☐パラレル　☐双方向パラレル　☐SCSI　☐シリアル　☐USB　☐その他 ボード（型番：　　　　メーカー：　　　　） ケーブル（型番：　　　　メーカー：　　　　）

☆故障発生時のソフトウェアをご記入ください。

OS	☐MS-DOS　☐Windows 3.1　☐Windows 95　☐Windows 98　☐Windows NT ☐Windows 2000　☐Mac OS（Ver.　　）☐ネットワーク ☐その他（　　　　）（Ver.　　　　メーカー：　　　　　）
プリンタドライバ	ドライバ名　　　　Ver.　　　　メーカー：
アプリケーション	アプリケーション名　　　　Ver.　　　　メーカー：

＊対応しているOSは、ご使用の機種により異なります。取扱説明書にてご確認ください。

フリガナ お名前		電話番号　TEL： FAX：	日中の連絡先 TEL：
ご住所	〒		お客様IDコード （取得済みの方のみ）

＊保証期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。

FAXオーダーシート エプソンOAサプライ株式会社 行

ご発注日　　年　　月　　日

このページをコピーしてお使いください。

オーダーシート枚数 合計　　枚の　　枚目

●個人でのお申し込み

フリガナ	TEL.　（　　）	FAX.　（　　）
お名前	E-mail	
ご住所	〒	

●法人でのお申し込み

フリガナ	
貴社名	部署名
ご担当者名	E-mai
TEL.　　（　　）	FAX.　　（　　）
ご住所	〒

●お申し込み商品

商品名	申込番号	数量	標準価格（単価）	小計（数量×標準単価）

●お支払い方法

ご希望のお支払い方法をチェックしてください。

□クレジット　□代金引換　□銀行振替
（※銀行振込は法人での申し込みに限ります）

クレジットカードでお支払いをご希望の方はご記入ください。

□UC　□JCB　□VISA　□MC　□DC(1回払のみ)

□NICOS(ご希望のお支払い回数をチェックしてください。)

支払回数　□1回　□2回　□3回　□6回　□10回　□15回　□20回　□リボルビング払い

カード会員番号(左詰めでご記入ください)

カード有効期限　（西暦）20□□年□□月

お買上合計金額	
消費税	
送料（税込み）	
お支払い金額合計	

お申し込みFAX番号

0120-557-765

または03-3258-7690/03-3258-1282

★24時間受付★土・日・祝祭日の受付分は翌営業日の手配となります。

夜間指定（PM6:00～8:00）□する□しない　ご希望配達日　月　日
お買い上げ合計金額が5,000円未満の場合は送料525円がかかります。
（標準価格）

No. M9904001